目　　次

1. 情報学研究科の教育理念 …… 1

2. 情報学研究科の教育 …… 1

3. 情報学研究科の専攻及びリーディングプログラム …… 2

4. 授業科目及び修了要件 …… 2

5. 授業科目一覧 …… 6

6. 教育職員免許状の取得 …… 21

7. 学生生活にかかわる心得 …… 23

7－1　各種願・届の提出と各種証明書の発行 …… 23
7－2　奨学金等 …… 24
7－3　授業料の納付と免除 …… 25
7－4　研究助成について …… 26
7－5　健康管理 …… 26
7－6　各種保険制度 …… 28
7－7　自然災害等に伴う授業及び定期試験の取扱い …… 30
7－8　学生の懲戒及び教育的措置について …… 31
7－9　学内の業務に従事する場合の注意事項 …… 32
7－10　伝達事項 …… 32

8. 教員組織，事務組織 …… 33

9. 関係規定 …… 37

名古屋大学大学院情報学研究科規程 …… 37
名古屋大学学位規程 …… 49

10. 付表等

教室等配置図／東山地区配置図 …… 53

１．情報学研究科の基本理念

情報革命は二つの側面を併せ持っている。第一にそれは人類の抱える問題とその解決をより複雑なものにした。人類が直面する問題は、自然・人間・社会・人工物が絡まり合うことで生み出されてきた。これに膨大な情報が加わることで、問題はさらに複雑さと困難さを増した。第二に、情報革命は問題解決手段の大幅な拡充をもたらしている。自然・人間・社会・人工物は「情報の流れ」として統合的に理解することができ、情報科学技術は、その緩やかな統御を通じて、人類が直面する複雑かつ困難な課題に新たな解決方法を与える可能性をもつ。さらに情報革命は、既存の問題の解決手段に留まらず、新しい価値創造のための手段も与えてくれる。

こうした情報科学技術の潜在的可能性を十分に開花させ、問題解決と新たな価値創造を実現するために、本研究科では、分野横断的な知恵としての新しい「情報学」の創造を目指している。自然・人間・社会・人工物を、情報の流れを創出するシステムとして統一的に理解することを目指す。そして、その理解に基づき、新しい情報の流れを総体としてデザインし、狭義の情報処理技術のみならず、法・規範や制度・組織・意思決定までを含む「広い意味での情報システム」を構想・実現することで、人類の生存と幸福に寄与する。

２．情報学研究科の教育

情報革命の進展にともなって、情報処理手法を活用することにより膨大なデータを分析して新規性と価値のある情報を取り出す方法論の開発がアカデミックな優位性を保つためにきわめて重要になっている。さらに、自然・人間・社会・人工物にわたる現象を情報処理過程と捉えてモデル化する見方や、さらには膨大なデータそのものをモデルの代わりとする見方がさまざまな分野に取り込まれ、情報という枠組みを共通言語とすることで分野間の融合が進みつつある。

また、我が国の産業は、情報科学技術を活用した社会イノベーションの創造や業務革新においては、他国に遅れをとっている。そこで、情報科学技術に関する最新の知識に加えて、自然・人間・社会等の実世界についての深い理解をもつ人材が求められている。そして、情報科学技術と実世界を繋いで、価値創造をデザインするとともに、それを実世界で実現していく人材が求められている。

そこで、情報学研究科の博士前期課程では次のような３つの資質を備えた高度情報職業人の養成を目指す。

１）データ・サイエンス、数理科学、複雑系科学の手法を駆使し、シミュレーションを通して自然や社会などの実世界を情報学の視点から統一的に理解し、問題解決に結びつけることができる

２）人間の意思決定プロセスの理解に基づき、情報社会における組織や制度の設計等を通して、情報科学技術を価値創造に結びつけることができる

３）最新の情報科学技術の知識と人間・社会に関する理解を通して情報社会の安全性、快適性の向上に資する知能情報システムを創造できる

情報学研究科の博士後期課程では、各専門領域における研鑽を通して次のような高度研究人材を養成する。

１）新たな情報学の開拓を先導できる情報学関連各分野の研究者

２）情報学の高度な専門知識と能力を駆使して、社会の各場面で新しい価値創造を先導できる国際性とリーダーシップに富む人材

３．情報学研究科の専攻及びリーディングプログラム

情報学研究科は、上記理念に基づいた統合的で質の高い専門教育を実現するために、６つの専攻「数理情報学専攻」、「複雑系科学専攻」、「社会情報学専攻」、「心理・認知科学専攻」、「情報システム学専攻」、「知能システム学専攻」の博士前期課程及び博士後期課程を設けている。

さらに、修了後産業界等で活躍するグローバルリーダー人材育成を行う５年一貫のリーディングプログラム「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」を設けている。

４．授業科目及び修了要件

（１）履修申請及び学修計画

授業科目を履修する者は、各学期の始めの所定の期日までに教務学生係へ「履修科目申請書」を提出しなければならない。

入学後においては、指導教員と相談の上、在学期間中の学修計画をたて、所定の期日までに「学修計画届」を教務学生係へ提出しなければならない。

（２）授業科目の構成

各専攻における授業科目区分は下記のとおりである。

各専攻における授業科目の構成

科目区分	授業形態
共通科目	講義
	演習
主専攻科目	セミナー
	特論
	演習
実践的教育科目	
関連専攻科目	他専攻特論
	他研究科講義・セミナー
	単位互換科目
	学部科目
研究指導	
随意科目	

（３）授業科目の内容

１）主専攻科目は、その専攻の学生が先端的研究遂行能力を習得する上で必要となる知識を習得するための中核的な科目であるセミナー、特論、演習で構成される。

（ⅰ）セミナーは、講座あるいは研究グループ毎に特定のテーマについて発表及び討論を行う科目である。専門的な知識の習得と併せ、それを発表及び討論するスキルを獲得させるために設けられている。

（ⅱ）特論は、その専攻の専門的知識を習得するために設けられた講義形式の科目である。

（ⅲ）演習は、学生が特定の課題について研究及び討論を行う科目である。

２）実践的教育科目は、企業などにおいて実施されたインターンシップ（インターンシップA･B･C）及び企業との連携によって実施された実習（産学連携実習）、あるいは海外の大学への派遣の実績を単位として認める科目である。実際の研究開発の一端を体験することにより、情報学を実践的に活用する力を養成するために設けられている。

３）関連専攻科目は、所属する専攻以外の関連する科目である。他専攻特論、他研究科講義･セミナー、単位互換科目、学部科目で構成される。

（ｉ）他専攻特論は、所属する専攻以外の主専攻科目（特論）である。情報科学を構成する多様な知識を獲得させるために設けられている。

（ii）他研究科講義・セミナーは、他研究科の講義・セミナーを受講して得た単位を修了単位として認める科目である。履修申請する場合は、指導教員の承認を得た上で「他研究科聴講願」を履修登録期間内に提出する。

（iii）単位互換科目は、単位互換協定を結ぶ他の大学院の単位互換対象科目を受講して得た単位を修了単位として認める科目である。教授会の議を経て、研究科長が教育上有益と認めた場合は、10単位を超えない範囲で、本研究科で修得したものとして認定することができる。履修申請する場合は、指導教員の承認を得た上で「大学院特別聴講学生出願票」を履修登録期間内に提出する。

（iv）学部科目は、本研究科が認めた学部科目を受講して得た単位を修了単位として認める科目である。多様なバックグラウンドをもつ学生がそのバックグラウンド以外の分野を学習することを奨励するために設けられている。指導教員から指示がある場合に限り、研究科の承認を得て、修了単位として認められる。履修申請する場合は、「学部授業認定願」を履修登録期間内に提出する。

４）随意科目は、修了単位として認められない科目である。他研究科及び単位互換協定を結ぶ他の大学院、学部の科目は、修了単位として認められる単位数の上限を超えた場合に、随意科目として扱われる。また、大学院共通科目（教養教育院開講）は、随意科目として扱われる。

（４）学位論文の提出

１）前期課程在籍者は、所定の期日までに学位申請の手続きを行い、教務学生係へ「修士論文」を提出し、審査会において合格と判定されなければならない。

２）後期課程在籍者は、別に定める「博士学位 (課程博士) 申請要領」に従って、手続きを行い、教務学生係へ「博士論文」を提出し、所定の審査において合格と判定されなければならない。

（５）修了要件

１）**前期課程修了要件**

原則として課程に２年以上在籍し、各専攻で定める履修基準に従って合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。なお、他専攻が開講する「主専攻科目」の単位は修了単位として取り扱う。

○数理情報学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	1.　共通科目の中から２単位以上 2.　主専攻科目の中から、 一　セミナーを６単位以上 二　特論を14単位以上（ただし , 数理情報学基礎論講座に所属する学生は、数理情報学基礎論概論１及び数理情報学基礎論概論２を、数理情報学モデル論講座に所属する学生は、数理情報学モデル論概論１及び数理情報学モデル論概論２を含むこと。また、他専攻の特論を６単位まで含めることができる。） 三　演習を４単位以上

共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	3.　2. の二には，単位互換協定を結ぶ他の大学院の単位互換科目の単位を含めることできる。 4.　実践的教育科目の単位は，主専攻科目の演習の単位に含めることができる。 5.　他研究科の講義及びセミナーは，4単位を上限として修了要件に含めることができる。
研究指導	専攻において定めるところにより、指導教員の指示による。

○複雑系科学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	1.　共通科目の中から2単位以上 2.　主専攻科目の中から、 一　セミナーを6単位以上 二　特論を12単位以上（他専攻の特論を6単位まで含めることができる。） 三　演習を6単位以上 3.　実践的教育科目の単位は、主専攻科目の演習の単位に含めることができる。 4.　他研究科の講義及びセミナーは、4単位を上限として修了要件に含めることができる。
研究指導	専攻において定めるところにより、指導教員の指示による。

○社会情報学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	1.　共通科目の中から2単位以上 2.　主専攻科目の中から、 一　セミナーを6単位以上 二　特論を12単位以上（他専攻の特論を6単位まで含めることができる。） 三　演習を6単位以上 3.　実践的教育科目の単位は、主専攻科目の演習の単位に含めることができる。 4.　他研究科の講義及びセミナーは、4単位を上限として修了要件に含めることができる。
研究指導	専攻において定めるところにより、指導教員の指示による。

○心理・認知科学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	1.　共通科目の中から2単位以上 2.　主専攻科目の中から、 一　セミナーを6単位以上 二　特論を12単位以上（他専攻の特論を6単位まで含めることができる。） 三　演習を4単位以上 3.　実践的教育科目の単位は、主専攻科目の演習の単位に含めることができる。 4.　他研究科の講義及びセミナーは、4単位を上限として修了要件に含めることができる。
研究指導	専攻において定めるところにより、指導教員の指示による。

○情報システム学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	1.　共通科目の中から２単位以上 2.　主専攻科目の中から、 一　セミナーを６単位以上 二　特論を 14 単位以上（ただし、計算論基礎特論 A、計算論基礎特論 B、システムプログラム特論 A、システムプログラム特論 B、計算機アーキテクチャ特論 A、計算機アーキテクチャ特論 B、ソフトウェア基礎論特論 A、ソフトウェア基礎論特論 B、ソフトウェア工学特論 A、ソフトウェア工学特論 B、大規模計算特論 A、大規模計算特論 B、情報ネットワーク特論 A 又は情報ネットワーク特論 B から８単位以上を含むこと。また、他専攻の特論を６単位まで含めることができる。） 三　演習を４単位 (4 単位を超えて取得した演習の単位は、随意科目の単位として扱う。) 3.　実践的教育科目の単位は、主専攻科目の演習の単位に含めることができる。 4.　他研究科の講義及びセミナーは、４単位を上限として修了要件に含めることができる。
研究指導	専攻において定めるところにより、指導教員の指示による。

○知能システム学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	1.　共通科目の中から２単位以上 2.　主専攻科目の中から、 一　セミナーを６単位以上 二　特論を 14 単位以上（他専攻の特論を６単位まで含めることができる。） 三　演習を４単位以上 3.　実践的教育科目の単位は、主専攻科目の演習の単位に含めることができる。 4.　他研究科の講義及びセミナーは、４単位を上限として修了要件に含めることができる。
研究指導	専攻において定めるところにより、指導教員の指示による。

２）後期課程修了要件

博士後期課程の主専攻科目（セミナー）から６単位以上を含む合計８単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び学位試験に合格すること。

３）リーディングプログラム「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」履修基準

以下の (1)、(2)、(3) を満たすこと。

(1)　所属研究科・専攻の履修規定等に従って、博士前期課程及び博士後期課程の修了に必要な単位を修得すること。

(2)　開講科目表に示す科目を修得すること。なお、表のうち (1) の科目として開講されているものについては、それらの単位を修得した場合、(1) の修得単位として算入してよい。

(3)　実世界データ取得科目群（主領域）に指定された科目群から２単位以上、領域基礎科目群（主領域）に指定された科目群から２単位以上、実世界データ取得科目群（副領域）に指定された科目群から２単位以上取得すること。

(4)　「Data Tools Hands－On」に参加すること。

注：実世界データ循環学リーダー人材養成プログラムは、博士前期･後期一貫教育を前提としており、各学年は２学期制である。これらの学期を入学時より第Ⅰ学期、第Ⅱ学期、･･･、第Ⅹ学期と呼ぶ。

5. 授業科目一覧

数理情報学専攻

博士前期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名							単位数	開講時期		開講年度	
												学年	クォータ	31	32
共通科目	講義	GSI-00-5001-J	情報学特論Ⅰ	村瀬洋	北栄輔	有田隆也	武田浩一	武田一哉			1	1年	春1	○	○
		GSI-00-5002-J	情報倫理Ⅰ	戸田山和久							1	1年	春2	○	○
		GSI-00-5003-J	情報学特別講義Ⅰ	村瀬洋	北栄輔	有田隆也					2	1年	春1	○	○
		GSI-00-5004-J	実世界データ循環システム特論Ⅰ-1	武田一哉	井手一郎	長尾確	村瀬洋				1	2年	春1	○	○
		GSI-00-5005-J	実世界データ循環システム特論Ⅰ-2	武田一哉	森健策	間瀬健二	石川佳治				1	2年	春2	○	○
		GSI-00-5006-J	実世界データ解析学特論A	村瀬洋	間瀬健二						1	1年	秋1	○	○
	演習	GSI-00-5007-J	実世界データ解析学特論B	村瀬洋	間瀬健二						1	1年	秋1	○	○
		GSI-00-5008-J	実世界データ解析学特論C	村瀬洋	間瀬健二						1	1年	秋2	○	○
主専攻科目	セミナー	GSI-11-6001-J	数理情報学基礎論セミナーⅠ-a	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行			1	1年	春1	○	○
		GSI-11-6002-J	数理情報学基礎論セミナーⅠ-b	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行			1	1年	春2	○	○
		GSI-11-6003-J	数理情報学基礎論セミナーⅠ-c	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行			1	1年	秋1	○	○
		GSI-11-6004-J	数理情報学基礎論セミナーⅠ-d	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行			1	1年	秋2	○	○
		GSI-11-6005-J	数理情報学基礎論セミナーⅠ-e	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行			1	2年	春1	○	○
		GSI-11-6006-J	数理情報学基礎論セミナーⅠ-f	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行			1	2年	春2	○	○
		GSI-11-6007-J	数理情報学基礎論セミナーⅠ-g	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行			1	2年	秋1	○	○
		GSI-11-6008-J	数理情報学基礎論セミナーⅠ-h	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行			1	2年	秋2	○	○
		GSI-11-6009-J	数理情報学モデル論セミナーⅠ-a	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	胡艶楠				1	1年	春1	○	○
		GSI-11-6010-J	数理情報学モデル論セミナーⅠ-b	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	胡艶楠				1	1年	春2	○	○
		GSI-11-6011-J	数理情報学モデル論セミナーⅠ-c	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	胡艶楠				1	1年	秋1	○	○
		GSI-11-6012-J	数理情報学モデル論セミナーⅠ-d	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	胡艶楠				1	1年	秋2	○	○
		GSI-11-6013-J	数理情報学モデル論セミナーⅠ-e	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	胡艶楠				1	2年	春1	○	○
		GSI-11-6014-J	数理情報学モデル論セミナーⅠ-f	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	胡艶楠				1	2年	春2	○	○
		GSI-11-6015-J	数理情報学モデル論セミナーⅠ-g	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	胡艶楠				1	2年	秋1	○	○
		GSI-11-6016-J	数理情報学モデル論セミナーⅠ-h	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	胡艶楠				1	2年	秋2	○	○
	特論	GSI-11-6017-J	数理論理学特論1	吉信康夫	松原洋	木原貴行					1	1・2年	春1		○
		GSI-11-6018-J	数理論理学特論2	吉信康夫	松原洋	木原貴行					1	1・2年	春2		○
		GSI-11-6019-J	離散数学特論1	小野廣隆	柳浦睦憲	佐藤潤也					1	1・2年	春1	○	
		GSI-11-6020-J	離散数学特論2	小野廣隆	柳浦睦憲	佐藤潤也					1	1・2年	春2	○	
		GSI-11-6021-J	量子情報特論1	F. Buscemi							1	1・2年	秋1		○
		GSI-11-6022-J	量子情報特論2	F. Buscemi							1	1・2年	秋2		○
		GSI-11-6023-J	数論アルゴリズム特論1	佐藤潤也							1	1・2年	秋1		○
		GSI-11-6024-J	数論アルゴリズム特論2	佐藤潤也							1	1・2年	秋2		○
		GSI-11-6025-J	計算可能性理論特論1	木原貴行	松原洋	吉信康夫					1	1・2年	秋1	○	
		GSI-11-6026-J	計算可能性理論特論2	木原貴行	松原洋	吉信康夫					1	1・2年	秋2	○	
		GSI-11-6027-J	最適化特論1	柳浦睦憲	小野廣隆						1	1・2年	春1		○
		GSI-11-6028-J	最適化特論2	柳浦睦憲	小野廣隆						1	1・2年	春2		○
		GSI-11-6029-J	計算量理論特論1	西村治道							1	1・2年	春1	○	
		GSI-11-6030-J	計算量理論特論2	西村治道							1	1・2年	春2	○	
		GSI-11-6031-J	数学基礎論特論1	松原洋	吉信康夫	木原貴行					1	1・2年	秋1	○	
		GSI-11-6032-J	数学基礎論特論2	松原洋	吉信康夫	木原貴行					1	1・2年	秋2	○	
		GSI-11-6033-J	＊数理情報学基礎論概論1	松原洋	佐藤潤也						1	1・2年	春1	○	○
		GSI-11-6034-J	＊数理情報学基礎論概論2	吉信康夫	木原貴行						1	1・2年	春2	○	○
		GSI-11-6035-J	＊数理情報学モデル論概論1	柳浦睦憲	小野廣隆						1	1・2年	春1	○	○
		GSI-11-6036-J	＊数理情報学モデル論概論2	西村治道	F. Buscemi						1	1・2年	春2	○	○
	演習	GSI-11-6037-J	数理情報学演習a	専攻の全教員							1	1年	春1	○	○
		GSI-11-6038-J	数理情報学演習b	専攻の全教員							1	1年	春2	○	○
		GSI-11-6039-J	数理情報学演習c	専攻の全教員							1	1年	秋1	○	○
		GSI-11-6040-J	数理情報学演習d	専攻の全教員							1	1年	秋2	○	○
		GSI-11-6041-J	数理情報学演習e	専攻の全教員							1	2年	春1	○	○
		GSI-11-6042-J	数理情報学演習f	専攻の全教員							1	2年	春2	○	○
		GSI-11-6043-J	数理情報学演習g	専攻の全教員							1	2年	秋1	○	○
		GSI-11-6044-J	数理情報学演習h	専攻の全教員							1	2年	秋2	○	○
実践的教育科目		GSI-20-6001-J	インターンシップⅠ-A	村瀬洋							2	1年	通年	○	○
		GSI-20-6002-J	インターンシップⅠ-B	村瀬洋							1	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6003-J	インターンシップⅠ-C	村瀬洋							2	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6004-J	産学連携実習A	高田広章	本田晋也	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮		2	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6005-J	産学連携実習B	高田広章	本田晋也	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮		4	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6006-J	★グローバルチャレンジⅠ	武田一哉	井手一郎						2	1・2年	通年	○	○
他専攻科目				本研究科の他専攻の主専攻科目											
研究指導															
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目												

＊は選択必修科目、どちらかの講座の概論1と2を必ず履修すること。
★は「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」参加者のみ履修可

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

数理情報学専攻

博士後期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名					単位数	開講時期		開講年度	
										学年	クォータ	31	32
共通科目	講義	GSI-00-7001-J	情報学特論Ⅱ	武田一哉	戸田山和久	長岡正隆	三輪和久	安田孝美	1	1年	春1	○	○
				村瀬洋	北栄輔								
		GSI-00-7002-J	情報倫理Ⅱ	戸田山和久					1	1年	春2	○	○
		GSI-00-7003-J	リーダーシップ特論	安田孝美	村瀬洋	北栄輔			1	1年	春1	○	○
		GSI-00-7004-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-1	武田一哉					1	1年	秋1	○	○
		GSI-00-7005-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-2	武田一哉					1	1年	秋2	○	○
主専攻科目	セミナー	GSI-11-7001-J	数理情報学基礎論セミナーⅡ-a	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行	1	1年	春1	○	○
		GSI-11-7002-J	数理情報学基礎論セミナーⅡ-b	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行	1	1年	春2	○	○
		GSI-11-7003-J	数理情報学基礎論セミナーⅡ-c	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行	1	1年	秋1	○	○
		GSI-11-7004-J	数理情報学基礎論セミナーⅡ-d	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行	1	1年	秋2	○	○
		GSI-11-7005-J	数理情報学基礎論セミナーⅡ-e	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行	1	2年	春1	○	○
		GSI-11-7006-J	数理情報学基礎論セミナーⅡ-f	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行	1	2年	春2	○	○
		GSI-11-7007-J	数理情報学基礎論セミナーⅡ-g	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行	1	2年	秋1	○	○
		GSI-11-7008-J	数理情報学基礎論セミナーⅡ-h	松原洋	吉信康夫	小野廣隆	佐藤潤也	木原貴行	1	2年	秋2	○	○
		GSI-11-7009-J	数理情報学モデル論セミナーⅡ-a	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	胡艶楠		1	1年	春1	○	○
		GSI-11-7010-J	数理情報学モデル論セミナーⅡ-b	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	胡艶楠		1	1年	春2	○	○
		GSI-11-7011-J	数理情報学モデル論セミナーⅡ-c	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	胡艶楠		1	1年	秋1	○	○
		GSI-11-7012-J	数理情報学モデル論セミナーⅡ-d	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	胡艶楠		1	1年	秋2	○	○
		GSI-11-7013-J	数理情報学モデル論セミナーⅡ-e	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	胡艶楠		1	2年	春1	○	○
		GSI-11-7014-J	数理情報学モデル論セミナーⅡ-f	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	胡艶楠		1	2年	春2	○	○
		GSI-11-7015-J	数理情報学モデル論セミナーⅡ-g	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	胡艶楠		1	2年	秋1	○	○
		GSI-11-7016-J	数理情報学モデル論セミナーⅡ-h	柳浦睦憲	西村治道	F. Buscemi	胡艶楠		1	2年	秋2	○	○
実践的教育科目		GSI-20-7001-J	インターンシップⅡ-A	村瀬洋					2	1･2年	通年	○	○
		GSI-20-7002-J	インターンシップⅡ-B	村瀬洋					1	1･2･3年	通年	○	○
		GSI-20-7003-J	インターンシップⅡ-C	村瀬洋					2	1･2･3年	通年	○	○
		GSI-20-7004-J	★グローバルチャレンジII－A	武田一哉	井手一郎				2	1･2年	通年	○	○
		GSI-20-7005-J	★グローバルチャレンジII－B	武田一哉	井手一郎				3	1･2年	通年	○	○
		GSI-20-7006-J	★グローバルチャレンジII－C	武田一哉	井手一郎				4	1･2年	通年	○	○
		GSI-20-7007-J	★グローバルチャレンジII－D	武田一哉	井手一郎				5	1･2年	通年	○	○
		GSI-20-7008-J	★グローバルチャレンジII－E	武田一哉	井手一郎				6	1･2年	通年	○	○
研究指導													
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目										

★は「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」参加者のみ履修可

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

複雑系科学専攻

博士前期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名							単位数	開講時期		開講年度	
												学年	クォータ	31	32
共通科目	講義	GSI-00-5001-J	情報学特論Ⅰ	村瀬洋	北栄輔	有田隆也	武田浩一	武田一哉			1	1年	春1	○	○
		GSI-00-5002-J	情報倫理Ⅰ	戸田山和久							1	1年	春2	○	○
		GSI-00-5003-J	情報学特別講義Ⅰ	村瀬洋	北栄輔	有田隆也					2	1年	春1	○	○
		GSI-00-5004-J	実世界データ循環システム特論Ⅰ-1	武田一哉	井手一郎	長尾確	村瀬洋				1	2年	春1	○	○
		GSI-00-5005-J	実世界データ循環システム特論Ⅰ-2	武田一哉	森健策	間瀬健二	石川佳治				1	2年	春2	○	○
		GSI-00-5006-J	実世界データ解析学特論A	村瀬洋	間瀬健二						1	1年	秋1	○	○
	演習	GSI-00-5007-J	実世界データ解析学特論B	村瀬洋	間瀬健二						1	1年	秋1	○	○
		GSI-00-5008-J	実世界データ解析学特論C	村瀬洋	間瀬健二						1	1年	秋2	○	○
主専	セミナー	GSI-12-6001-J	多自由度システム情報論セミナーⅠ-a	杉山雄規	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之	泉田勇輝			1	1年	春1	○	○
		GSI-12-6002-J	多自由度システム情報論セミナーⅠ-b	杉山雄規	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之	泉田勇輝			1	1年	春2	○	○
		GSI-12-6003-J	多自由度システム情報論セミナーⅠ-c	杉山雄規	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之	泉田勇輝			1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-6004-J	多自由度システム情報論セミナーⅠ-d	杉山雄規	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之	泉田勇輝			1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-6005-J	多自由度システム情報論セミナーⅠ-e	杉山雄規	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之	泉田勇輝			1	2年	春1	○	○
		GSI-12-6006-J	多自由度システム情報論セミナーⅠ-f	杉山雄規	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之	泉田勇輝			1	2年	春2	○	○
		GSI-12-6007-J	多自由度システム情報論セミナーⅠ-g	杉山雄規	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之	泉田勇輝			1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-6008-J	多自由度システム情報論セミナーⅠ-h	杉山雄規	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之	泉田勇輝			1	2年	秋2	○	○
		GSI-12-6009-J	生命情報論セミナーⅠ-a	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	1年	春1	○	○
		GSI-12-6010-J	生命情報論セミナーⅠ-b	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	1年	春2	○	○
		GSI-12-6011-J	生命情報論セミナーⅠ-c	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-6012-J	生命情報論セミナーⅠ-d	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-6013-J	生命情報論セミナーⅠ-e	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	2年	春1	○	○
		GSI-12-6014-J	生命情報論セミナーⅠ-f	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	2年	春2	○	○
		GSI-12-6015-J	生命情報論セミナーⅠ-g	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-6016-J	生命情報論セミナーⅠ-h	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	2年	秋2	○	○
		GSI-12-6017-J	物質情報論セミナーⅠ-a	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	1年	春1	○	○
		GSI-12-6018-J	物質情報論セミナーⅠ-b	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	1年	春2	○	○
		GSI-12-6019-J	物質情報論セミナーⅠ-c	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-6020-J	物質情報論セミナーⅠ-d	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-6021-J	物質情報論セミナーⅠ-e	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	2年	春1	○	○
		GSI-12-6022-J	物質情報論セミナーⅠ-f	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	2年	春2	○	○
		GSI-12-6023-J	物質情報論セミナーⅠ-g	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-6024-J	物質情報論セミナーⅠ-h	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	2年	秋2	○	○
		GSI-12-6025-J	創発システム論セミナーⅠ-a	有田隆也	北栄輔	鈴木麗璽	永峰康一郎	笹原和俊			1	1年	春1	○	○
		GSI-12-6026-J	創発システム論セミナーⅠ-b	有田隆也	北栄輔	鈴木麗璽	永峰康一郎	笹原和俊			1	1年	春2	○	○
		GSI-12-6027-J	創発システム論セミナーⅠ-c	有田隆也	北栄輔	鈴木麗璽	永峰康一郎	笹原和俊			1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-6028-J	創発システム論セミナーⅠ-d	有田隆也	北栄輔	鈴木麗璽	永峰康一郎	笹原和俊			1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-6029-J	創発システム論セミナーⅠ-e	有田隆也	北栄輔	鈴木麗璽	永峰康一郎	笹原和俊			1	2年	春1	○	○
		GSI-12-6030-J	創発システム論セミナーⅠ-f	有田隆也	北栄輔	鈴木麗璽	永峰康一郎	笹原和俊			1	2年	春2	○	○
		GSI-12-6031-J	創発システム論セミナーⅠ-g	有田隆也	北栄輔	鈴木麗璽	永峰康一郎	笹原和俊			1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-6032-J	創発システム論セミナーⅠ-h	有田隆也	北栄輔	鈴木麗璽	永峰康一郎	笹原和俊			1	2年	秋2	○	○
		GSI-12-6033-J	複雑系計算論セミナーⅠ-a	大岡昌博	畔上秀幸	渡邉崇	鈴木泰博				1	1年	春1	○	○
		GSI-12-6034-J	複雑系計算論セミナーⅠ-b	大岡昌博	畔上秀幸	渡邉崇	鈴木泰博				1	1年	春2	○	○
		GSI-12-6035-J	複雑系計算論セミナーⅠ-c	大岡昌博	畔上秀幸	渡邉崇	鈴木泰博				1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-6036-J	複雑系計算論セミナーⅠ-d	大岡昌博	畔上秀幸	渡邉崇	鈴木泰博				1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-6037-J	複雑系計算論セミナーⅠ-e	大岡昌博	畔上秀幸	渡邉崇	鈴木泰博				1	2年	春1	○	○
		GSI-12-6038-J	複雑系計算論セミナーⅠ-f	大岡昌博	畔上秀幸	渡邉崇	鈴木泰博				1	2年	春2	○	○
		GSI-12-6039-J	複雑系計算論セミナーⅠ-g	大岡昌博	畔上秀幸	渡邉崇	鈴木泰博				1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-6040-J	複雑系計算論セミナーⅠ-h	大岡昌博	畔上秀幸	渡邉崇	鈴木泰博				1	2年	秋2	○	○
		GSI-12-6041-J	情報可視化論セミナーⅠ-a	内山知実	安田耕二						1	1年	春1	○	○
		GSI-12-6042-J	情報可視化論セミナーⅠ-b	内山知実	安田耕二						1	1年	春2	○	○
		GSI-12-6043-J	情報可視化論セミナーⅠ-c	内山知実	安田耕二						1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-6044-J	情報可視化論セミナーⅠ-d	内山知実	安田耕二						1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-6045-J	情報可視化論セミナーⅠ-e	内山知実	安田耕二						1	2年	春1	○	○
		GSI-12-6046-J	情報可視化論セミナーⅠ-f	内山知実	安田耕二						1	2年	春2	○	○
		GSI-12-6047-J	情報可視化論セミナーⅠ-g	内山知実	安田耕二						1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-6048-J	情報可視化論セミナーⅠ-h	内山知実	安田耕二						1	2年	秋2	○	○

攻科目		GSI-12-6051-J	多自由度システム特論A	杉山雄規	時田恵一郎	谷村省吾	中村泰之				1	1･2年	春1	○	○
		GSI-12-6052-J	多自由度システム特論B	中村泰之	時田恵一郎	谷村省吾	杉山雄規				1	1･2年	春2	○	○
		GSI-12-6055-J	物質情報ダイナミクス特論1	長岡正隆							1	1･2年	春1	○	○
		GSI-12-6056-J	物質情報ダイナミクス特論2	長岡正隆							1	1･2年	春2	○	○
		GSI-12-6066-J	バイオインフォマティクス特論1	太田元規							1	1･2年	春2	○	○
		GSI-12-6067-J	バイオインフォマティクス特論2	太田元規							1	1･2年	秋1	○	○
		GSI-12-6068-J	人工生命特論1	有田隆也							1	1･2年	春1	○	○
		GSI-12-6069-J	人工生命特論2	有田隆也							1	1･2年	春2	○	○
		GSI-12-6080-J	最適設計特論1	畔上秀幸							1	1･2年	春1	○	○
		GSI-12-6081-J	最適設計特論2	畔上秀幸							1	1･2年	春2	○	○
		GSI-12-6084-J	可視化情報特論1	内山知実							1	1･2年	春1	○	○
		GSI-12-6085-J	可視化情報特論2	安田耕二							1	1･2年	春2	○	○
		GSI-12-6049-J	複雑系科学特論1	吉田久美	古賀伸明	長岡正隆	太田元規	谷村省吾	青木摂之		1	1･2年	秋1	○	○
		GSI-12-6050-J	複雑系科学特論2	渡邉崇	鈴木泰博	内山知実	安田耕二	有田隆也	畔上秀幸		1	1･2年	秋2	○	○
		GSI-12-6053-J	現代数学と力学特論	谷村省吾	中村泰之	杉山雄規	時田恵一郎				1	1･2年	秋1	○	○
		GSI-12-6054-J	情報物理学特論	時田恵一郎	中村泰之	杉山雄規	谷村省吾				1	1･2年	秋2	○	○
		GSI-12-6057-J	計算量子物質情報特論1	古賀伸明							1	1･2年	秋1	○	○
		GSI-12-6058-J	計算量子物質情報特論2	古賀伸明							1	1･2年	秋2	○	○
		GSI-12-6059-J	マイクロ・ナノ物質情報特論1	張賀東							1	1･2年	春1	○	○
		GSI-12-6060-J	マイクロ・ナノ物質情報特論2	張賀東							1	1･2年	春2	○	○
		GSI-12-6061-J	生物有機科学特論A	吉田久美							1	1･2年	春1	○	○
		GSI-12-6062-J	生物有機科学特論B	吉田久美							1	1･2年	春2	○	○
		GSI-12-6063-J	化学情報学特論	安田耕二	吉田久美						1	1･2年	秋1	○	○
		GSI-12-6064-J	遺伝情報システム特論1	青木摂之							1	1･2年	春1	○	○
		GSI-12-6065-J	遺伝情報システム特論2	青木摂之							1	1･2年	春2	○	○
		GSI-12-6070-J	創発コンピューティング特論1	北栄輔							1	1･2年	春1	○	○
		GSI-12-6071-J	創発コンピューティング特論2	北栄輔							1	1･2年	春2	○	○
		GSI-12-6072-J	環境情報特論1	永峰康一郎							1	1･2年	秋1	○	○
		GSI-12-6073-J	環境情報特論2	永峰康一郎							1	1･2年	秋2	○	○
		GSI-12-6074-J	複雑系プログラミング特論1	鈴木麗璽							1	1･2年	春1	○	○
		GSI-12-6075-J	複雑系プログラミング特論2	鈴木麗璽							1	1･2年	春2	○	○
		GSI-12-6076-J	複雑系計算特論1	鈴木泰博							1	1･2年	春1	○	○
		GSI-12-6077-J	複雑系計算特論2	鈴木泰博							1	1･2年	春2	○	○
		GSI-12-6078-J	生体センシング特論	大岡昌博							1	1･2年	秋1	○	○
		GSI-12-6079-J	感覚情報処理特論	大岡昌博							1	1･2年	秋2	○	○
		GSI-12-6082-J	流体移動現象特論	渡邉崇							1	1･2年	春1	○	○
		GSI-12-6083-J	流体情報学特論	渡邉崇							1	1･2年	春2	○	○
		GSI-12-6086-J	大規模複雑系計算特論1	古賀伸明	安田耕二						1	1･2年	春1	○	○
		GSI-12-6087-J	大規模複雑系計算特論2	長岡正隆	太田元規						1	1･2年	春2	○	○
		GSI-12-6088-J	計算科学フロンティア連続講義	計算科学フロンティア担当教員							2	1･2年	秋1～秋2	○	○
		GSI-12-6089-J	大規模並列数値計算特論	畝山多加志	片桐孝洋	吉井範行					2	1･2年	春1～春2	○	○
	演習	GSI-12-6090-J	複雑系科学演習a	専攻の全教員							1	1年	春1	○	○
		GSI-12-6091-J	複雑系科学演習b	専攻の全教員							1	1年	春2	○	○
		GSI-12-6092-J	複雑系科学演習c	専攻の全教員							1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-6093-J	複雑系科学演習d	専攻の全教員							1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-6094-J	複雑系科学演習e	専攻の全教員							1	2年	春1	○	○
		GSI-12-6095-J	複雑系科学演習f	専攻の全教員							1	2年	春2	○	○
		GSI-12-6096-J	複雑系科学演習g	専攻の全教員							1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-6097-J	複雑系科学演習h	専攻の全教員							1	2年	秋2	○	○
実践的教育科目		GSI-20-6001-J	インターンシップⅠ-A	村瀬洋							2	1年	通年	○	○
		GSI-20-6002-J	インターンシップⅠ-B	村瀬洋							1	1･2年	通年	○	○
		GSI-20-6003-J	インターンシップⅠ-C	村瀬洋							2	1･2年	通年	○	○
		GSI-20-6004-J	産学連携実習A	高田広章	本田晋也	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮		2	1･2年	通年	○	○
		GSI-20-6005-J	産学連携実習B	高田広章	本田晋也	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮		4	1･2年	通年	○	○
		GSI-20-6006-J	★グローバルチャレンジⅠ	武田一哉	井手一郎						2	1･2年	通年	○	○
他専攻科目				本研究科の他専攻の主専攻科目											
研究指導															
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目												

★は「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」参加者のみ履修可

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

複雑系科学専攻

博士後期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名							単位数	開講時期		開講年度	
												学年	クォータ	31	32
共通科目	講義	GSI-00-7001-J	情報学特論Ⅱ	武田一哉	戸田山和久	長岡正隆	三輪和久	安田孝美	村瀬洋	北栄輔	1	1年	春1	○	○
		GSI-00-7002-J	情報倫理Ⅱ	戸田山和久							1	1年	春2	○	○
		GSI-00-7003-J	リーダーシップ特論	安田孝美	村瀬洋	北栄輔					1	1年	春1	○	○
		GSI-00-7004-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-1	武田一哉							1	1年	秋1	○	○
		GSI-00-7005-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-2	武田一哉							1	1年	秋2	○	○
主専攻科目	セミナー	GSI-12-7001-J	多自由度システム情報論セミナーⅡ-a	杉山雄規	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之	泉田勇輝			1	1年	春1	○	○
		GSI-12-7002-J	多自由度システム情報論セミナーⅡ-b	杉山雄規	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之	泉田勇輝			1	1年	春2	○	○
		GSI-12-7003-J	多自由度システム情報論セミナーⅡ-c	杉山雄規	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之	泉田勇輝			1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-7004-J	多自由度システム情報論セミナーⅡ-d	杉山雄規	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之	泉田勇輝			1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-7005-J	多自由度システム情報論セミナーⅡ-e	杉山雄規	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之	泉田勇輝			1	2年	春1	○	○
		GSI-12-7006-J	多自由度システム情報論セミナーⅡ-f	杉山雄規	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之	泉田勇輝			1	2年	春2	○	○
		GSI-12-7007-J	多自由度システム情報論セミナーⅡ-g	杉山雄規	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之	泉田勇輝			1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-7008-J	多自由度システム情報論セミナーⅡ-h	杉山雄規	谷村省吾	時田恵一郎	中村泰之	泉田勇輝			1	2年	秋2	○	○
		GSI-12-7009-J	生命情報論セミナーⅡ-a	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	1年	春1	○	○
		GSI-12-7010-J	生命情報論セミナーⅡ-b	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	1年	春2	○	○
		GSI-12-7011-J	生命情報論セミナーⅡ-c	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-7012-J	生命情報論セミナーⅡ-d	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-7013-J	生命情報論セミナーⅡ-e	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	2年	春1	○	○
		GSI-12-7014-J	生命情報論セミナーⅡ-f	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	2年	春2	○	○
		GSI-12-7015-J	生命情報論セミナーⅡ-g	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-7016-J	生命情報論セミナーⅡ-h	太田元規	吉田久美	青木摂之	塚本眞幸	小池亮太郎			1	2年	秋2	○	○
		GSI-12-7017-J	物質情報論セミナーⅡ-a	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	1年	春1	○	○
		GSI-12-7018-J	物質情報論セミナーⅡ-b	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	1年	春2	○	○
		GSI-12-7019-J	物質情報論セミナーⅡ-c	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-7020-J	物質情報論セミナーⅡ-d	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-7021-J	物質情報論セミナーⅡ-e	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	2年	春1	○	○
		GSI-12-7022-J	物質情報論セミナーⅡ-f	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	2年	春2	○	○
		GSI-12-7023-J	物質情報論セミナーⅡ-g	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-7024-J	物質情報論セミナーⅡ-h	古賀伸明	長岡正隆	張賀東	井内哲				1	2年	秋2	○	○
		GSI-12-7025-J	創発システム論セミナーⅡ-a	有田隆也	北栄輔	鈴木麗璽	永峰康一郎	笹原和俊			1	1年	春1	○	○
		GSI-12-7026-J	創発システム論セミナーⅡ-b	有田隆也	北栄輔	鈴木麗璽	永峰康一郎	笹原和俊			1	1年	春2	○	○
		GSI-12-7027-J	創発システム論セミナーⅡ-c	有田隆也	北栄輔	鈴木麗璽	永峰康一郎	笹原和俊			1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-7028-J	創発システム論セミナーⅡ-d	有田隆也	北栄輔	鈴木麗璽	永峰康一郎	笹原和俊			1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-7029-J	創発システム論セミナーⅡ-e	有田隆也	北栄輔	鈴木麗璽	永峰康一郎	笹原和俊			1	2年	春1	○	○
		GSI-12-7030-J	創発システム論セミナーⅡ-f	有田隆也	北栄輔	鈴木麗璽	永峰康一郎	笹原和俊			1	2年	春2	○	○
		GSI-12-7031-J	創発システム論セミナーⅡ-g	有田隆也	北栄輔	鈴木麗璽	永峰康一郎	笹原和俊			1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-7032-J	創発システム論セミナーⅡ-h	有田隆也	北栄輔	鈴木麗璽	永峰康一郎	笹原和俊			1	2年	秋2	○	○
		GSI-12-7033-J	複雑系計算論セミナーⅡ-a	大岡昌博	畔上秀幸	渡邉崇	鈴木泰博				1	1年	春1	○	○
		GSI-12-7034-J	複雑系計算論セミナーⅡ-b	大岡昌博	畔上秀幸	渡邉崇	鈴木泰博				1	1年	春2	○	○
		GSI-12-7035-J	複雑系計算論セミナーⅡ-c	大岡昌博	畔上秀幸	渡邉崇	鈴木泰博				1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-7036-J	複雑系計算論セミナーⅡ-d	大岡昌博	畔上秀幸	渡邉崇	鈴木泰博				1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-7037-J	複雑系計算論セミナーⅡ-e	大岡昌博	畔上秀幸	渡邉崇	鈴木泰博				1	2年	春1	○	○
		GSI-12-7038-J	複雑系計算論セミナーⅡ-f	大岡昌博	畔上秀幸	渡邉崇	鈴木泰博				1	2年	春2	○	○
		GSI-12-7039-J	複雑系計算論セミナーⅡ-g	大岡昌博	畔上秀幸	渡邉崇	鈴木泰博				1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-7040-J	複雑系計算論セミナーⅡ-h	大岡昌博	畔上秀幸	渡邉崇	鈴木泰博				1	2年	秋2	○	○
		GSI-12-7041-J	情報可視化論セミナーⅡ-a	内山知実	安田耕二						1	1年	春1	○	○
		GSI-12-7042-J	情報可視化論セミナーⅡ-b	内山知実	安田耕二						1	1年	春2	○	○
		GSI-12-7043-J	情報可視化論セミナーⅡ-c	内山知実	安田耕二						1	1年	秋1	○	○
		GSI-12-7044-J	情報可視化論セミナーⅡ-d	内山知実	安田耕二						1	1年	秋2	○	○
		GSI-12-7045-J	情報可視化論セミナーⅡ-e	内山知実	安田耕二						1	2年	春1	○	○
		GSI-12-7046-J	情報可視化論セミナーⅡ-f	内山知実	安田耕二						1	2年	春2	○	○
		GSI-12-7047-J	情報可視化論セミナーⅡ-g	内山知実	安田耕二						1	2年	秋1	○	○
		GSI-12-7048-J	情報可視化論セミナーⅡ-h	内山知実	安田耕二						1	2年	秋2	○	○
実践的教育科目		GSI-20-7001-J	インターンシップⅡ-A	村瀬洋							2	1･2年	通年	○	○
		GSI-20-7002-J	インターンシップⅡ-B	村瀬洋							1	1･2･3年	通年	○	○
		GSI-20-7003-J	インターンシップⅡ-C	村瀬洋							2	1･2･3年	通年	○	○
		GSI-20-7004-J	★グローバルチャレンジⅡ－A	武田一哉	井手一郎						2	1･2年	通年	○	○
		GSI-20-7005-J	★グローバルチャレンジⅡ－B	武田一哉	井手一郎						3	1･2年	通年	○	○
		GSI-20-7006-J	★グローバルチャレンジⅡ－C	武田一哉	井手一郎						4	1･2年	通年	○	○
		GSI-20-7007-J	★グローバルチャレンジⅡ－D	武田一哉	井手一郎						5	1･2年	通年	○	○
		GSI-20-7008-J	★グローバルチャレンジⅡ－E	武田一哉	井手一郎						6	1･2年	通年	○	○
研究指導															
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目												

★は「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」参加者のみ履修可

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

社会情報学専攻

博士前期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名							単位数	開講時期		開講年度	
												学年	クォータ	31	32
共通科目	講義	GSI-00-5001-J	情報学特論Ⅰ	村瀬洋	北栄輔	有田隆也	武田浩一	武田一哉			1	1年	春1	○	○
		GSI-00-5002-J	情報倫理Ⅰ	戸田山和久							1	1年	春2	○	○
		GSI-00-5003-J	情報学特別講義Ⅰ	村瀬洋	北栄輔	有田隆也					2	1年	春1	○	○
		GSI-00-5004-J	★実世界データ循環システム特論Ⅰ-1	武田一哉	井手一郎	長尾確	村瀬洋				1	2年	春1	○	○
		GSI-00-5005-J	★実世界データ循環システム特論Ⅰ-2	武田一哉	森健策	間瀬健二	石川佳治				1	2年	春2	○	○
		GSI-00-5006-J	実世界データ解析学特論A	村瀬洋	間瀬健二						1	1年	秋1	○	○
	演習	GSI-00-5007-J	実世界データ解析学特論B	村瀬洋	間瀬健二						1	1年	秋1	○	○
		GSI-00-5008-J	実世界データ解析学特論C	村瀬洋	間瀬健二						1	1年	秋2	○	○
主専攻科目	セミナー	GSI-13-6001-J	情報哲学セミナーⅠ-a	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子			1	1年	春1	○	○
		GSI-13-6002-J	情報哲学セミナーⅠ-b	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子			1	1年	春2	○	○
		GSI-13-6003-J	情報哲学セミナーⅠ-c	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子			1	1年	秋1	○	○
		GSI-13-6004-J	情報哲学セミナーⅠ-d	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子			1	1年	秋2	○	○
		GSI-13-6005-J	情報哲学セミナーⅠ-e	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子			1	2年	春1	○	○
		GSI-13-6006-J	情報哲学セミナーⅠ-f	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子			1	2年	春2	○	○
		GSI-13-6007-J	情報哲学セミナーⅠ-g	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子			1	2年	秋1	○	○
		GSI-13-6008-J	情報哲学セミナーⅠ-h	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子			1	2年	秋2	○	○
		GSI-13-6009-J	情報社会設計論セミナーⅠ-a	遠藤守	浦田真由	安田孝美					1	1年	春1	○	○
		GSI-13-6010-J	情報社会設計論セミナーⅠ-b	遠藤守	浦田真由	安田孝美					1	1年	春2	○	○
		GSI-13-6011-J	情報社会設計論セミナーⅠ-c	遠藤守	浦田真由	安田孝美					1	1年	秋1	○	○
		GSI-13-6012-J	情報社会設計論セミナーⅠ-d	遠藤守	浦田真由	安田孝美					1	1年	秋2	○	○
		GSI-13-6013-J	情報社会設計論セミナーⅠ-e	遠藤守	浦田真由	安田孝美					1	2年	春1	○	○
		GSI-13-6014-J	情報社会設計論セミナーⅠ-f	遠藤守	浦田真由	安田孝美					1	2年	春2	○	○
		GSI-13-6015-J	情報社会設計論セミナーⅠ-g	遠藤守	浦田真由	安田孝美					1	2年	秋1	○	○
		GSI-13-6016-J	情報社会設計論セミナーⅠ-h	遠藤守	浦田真由	安田孝美					1	2年	秋2	○	○
		GSI-13-6017-J	グローバルメディア論セミナーⅠ-a	中村登志哉	井原伸浩	小川明子	山本竜大				1	1年	春1	○	○
		GSI-13-6018-J	グローバルメディア論セミナーⅠ-b	中村登志哉	井原伸浩	小川明子	山本竜大				1	1年	春2	○	○
		GSI-13-6019-J	グローバルメディア論セミナーⅠ-c	中村登志哉	井原伸浩	小川明子	山本竜大				1	1年	秋1	○	○
		GSI-13-6020-J	グローバルメディア論セミナーⅠ-d	中村登志哉	井原伸浩	小川明子	山本竜大				1	1年	秋2	○	○
		GSI-13-6021-J	グローバルメディア論セミナーⅠ-e	中村登志哉	井原伸浩	小川明子	山本竜大				1	2年	春1	○	○
		GSI-13-6022-J	グローバルメディア論セミナーⅠ-f	中村登志哉	井原伸浩	小川明子	山本竜大				1	2年	春2	○	○
		GSI-13-6023-J	グローバルメディア論セミナーⅠ-g	中村登志哉	井原伸浩	小川明子	山本竜大				1	2年	秋1	○	○
		GSI-13-6024-J	グローバルメディア論セミナーⅠ-h	中村登志哉	井原伸浩	小川明子	山本竜大				1	2年	秋2	○	○
	特論	GSI-13-6025-J	社会情報学A	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子			1	1・2年	春1	○	○
		GSI-13-6026-J	社会情報学B	遠藤守	浦田真由	安田孝美	中村登志哉	井原伸浩	小川明子	後藤明史	1	1・2年	春2	○	○
		GSI-13-6027-J	科学技術社会論特論	戸田山和久							1	1・2年	春2	○	○
		GSI-13-6028-J	道徳科学特論	久木田水生							1	1・2年	秋2	○	○
		GSI-13-6034-J	公共性変容特論	小池直人							1	1・2年	春1	○	○
		GSI-13-6030-J	社会システムデザイン論特論	安田孝美							1	1・2年	秋1	○	○
		GSI-13-6031-J	オープンデータ特論	遠藤守							1	1・2年	秋2	○	○
		GSI-13-6033-J	メディア制度論特論	山本竜大							1	1・2年	春2	○	○
		GSI-13-6035-J	グローバル・コミュニケーション特論	中村登志哉							1	1・2年	春1	○	○
		GSI-13-6036-J	アジア・コミュニケーション特論	井原伸浩							1	1・2年	春1	○	○
		GSI-13-6037-J	メディア・リテラシー特論	小川明子							1	1・2年	秋1	○	○
		GSI-13-6029-J	芸術コミュニケーション論特論	秋庭史典							1	1・2年	秋2	○	○
		GSI-13-6032-J	ソーシャルメディアと社会制度設計	浦田真由							1	1・2年	秋1	○	○
		GSI-13-6038-J	メディア・コンテンツ制作特論	後藤明史							1	1・2年	秋1	○	○
		GSI-13-6039-J	文化情報学特論	新美倫子							1	1・2年	春1	○	○
	演習	GSI-13-6040-J	社会情報学演習a	専攻の全教員							1	1年	春1	○	○
		GSI-13-6041-J	社会情報学演習b	専攻の全教員							1	1年	春2	○	○
		GSI-13-6042-J	社会情報学演習c	専攻の全教員							1	1年	秋1	○	○
		GSI-13-6043-J	社会情報学演習d	専攻の全教員							1	1年	秋2	○	○
		GSI-13-6044-J	社会情報学演習e	専攻の全教員							1	2年	春1	○	○
		GSI-13-6045-J	社会情報学演習f	専攻の全教員							1	2年	春2	○	○
		GSI-13-6046-J	社会情報学演習g	専攻の全教員							1	2年	秋1	○	○
		GSI-13-6047-J	社会情報学演習h	専攻の全教員							1	2年	秋2	○	○
実践的教育科目		GSI-20-6001-J	インターンシップⅠ-A	村瀬洋							2	1年	通年	○	○
		GSI-20-6002-J	インターンシップⅠ-B	村瀬洋							1	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6003-J	インターンシップⅠ-C	村瀬洋							2	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6004-J	産学連携実習A	高田広章	本田晋也	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮		2	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6005-J	産学連携実習B	高田広章	本田晋也	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮		4	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6006-J	★グローバルチャレンジⅠ	武田一哉	井手一郎						2	1・2年	通年	○	○
他専攻科目				本研究科の他専攻の主専攻科目											
研究指導															
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目												

★は「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」参加者のみ履修可

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

社会情報学専攻

博士後期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名						単位数	開講時期		開講年度	
											学年	クォータ	31	32
共通科目	講義	GSI-00-7001-J	情報学特論Ⅱ	武田一哉	戸田山和久	長岡正隆	三輪和久	安田孝美	村瀬洋	1	1年	春1	○	○
				北栄輔										
		GSI-00-7002-J	情報倫理Ⅱ	戸田山和久						1	1年	春2	○	○
		GSI-00-7003-J	リーダーシップ特論	安田孝美	村瀬洋	北栄輔				1	1年	春1	○	○
		GSI-00-7004-J	★実世界データ循環システム特論Ⅱ-1	武田一哉						1	1年	秋1	○	○
		GSI-00-7005-J	★実世界データ循環システム特論Ⅱ-2	武田一哉						1	1年	秋2	○	○
主専攻科目	セミナー	GSI-13-7001-J	情報哲学セミナーⅡ-a	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子		1	1年	春1	○	○
		GSI-13-7002-J	情報哲学セミナーⅡ-b	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子		1	1年	春2	○	○
		GSI-13-7003-J	情報哲学セミナーⅡ-c	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子		1	1年	秋1	○	○
		GSI-13-7004-J	情報哲学セミナーⅡ-d	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子		1	1年	秋2	○	○
		GSI-13-7005-J	情報哲学セミナーⅡ-e	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子		1	2年	春1	○	○
		GSI-13-7006-J	情報哲学セミナーⅡ-f	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子		1	2年	春2	○	○
		GSI-13-7007-J	情報哲学セミナーⅡ-g	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子		1	2年	秋1	○	○
		GSI-13-7008-J	情報哲学セミナーⅡ-h	秋庭史典	久木田水生	小池直人	戸田山和久	新美倫子		1	2年	秋2	○	○
		GSI-13-7009-J	情報社会設計論セミナーⅡ-a	遠藤守	浦田真由	安田孝美				1	1年	春1	○	○
		GSI-13-7010-J	情報社会設計論セミナーⅡ-b	遠藤守	浦田真由	安田孝美				1	1年	春2	○	○
		GSI-13-7011-J	情報社会設計論セミナーⅡ-c	遠藤守	浦田真由	安田孝美				1	1年	秋1	○	○
		GSI-13-7012-J	情報社会設計論セミナーⅡ-d	遠藤守	浦田真由	安田孝美				1	1年	秋2	○	○
		GSI-13-7013-J	情報社会設計論セミナーⅡ-e	遠藤守	浦田真由	安田孝美				1	2年	春1	○	○
		GSI-13-7014-J	情報社会設計論セミナーⅡ-f	遠藤守	浦田真由	安田孝美				1	2年	春2	○	○
		GSI-13-7015-J	情報社会設計論セミナーⅡ-g	遠藤守	浦田真由	安田孝美				1	2年	秋1	○	○
		GSI-13-7016-J	情報社会設計論セミナーⅡ-h	遠藤守	浦田真由	安田孝美				1	2年	秋2	○	○
		GSI-13-7017-J	グローバルメディア論セミナーⅡ-a	中村登志哉	井原伸浩	小川明子	山本竜大			1	1年	春1	○	○
		GSI-13-7018-J	グローバルメディア論セミナーⅡ-b	中村登志哉	井原伸浩	小川明子	山本竜大			1	1年	春2	○	○
		GSI-13-7019-J	グローバルメディア論セミナーⅡ-c	中村登志哉	井原伸浩	小川明子	山本竜大			1	1年	秋1	○	○
		GSI-13-7020-J	グローバルメディア論セミナーⅡ-d	中村登志哉	井原伸浩	小川明子	山本竜大			1	1年	秋2	○	○
		GSI-13-7021-J	グローバルメディア論セミナーⅡ-e	中村登志哉	井原伸浩	小川明子	山本竜大			1	2年	春1	○	○
		GSI-13-7022-J	グローバルメディア論セミナーⅡ-f	中村登志哉	井原伸浩	小川明子	山本竜大			1	2年	春2	○	○
		GSI-13-7023-J	グローバルメディア論セミナーⅡ-g	中村登志哉	井原伸浩	小川明子	山本竜大			1	2年	秋1	○	○
		GSI-13-7024-J	グローバルメディア論セミナーⅡ-h	中村登志哉	井原伸浩	小川明子	山本竜大			1	2年	秋2	○	○
実践的教育科目		GSI-20-7001-J	インターンシップⅡ-A	村瀬洋						2	1･2年	通年	○	○
		GSI-20-7002-J	インターンシップⅡ-B	村瀬洋						1	1･2･3年	通年	○	○
		GSI-20-7003-J	インターンシップⅡ-C	村瀬洋						2	1･2･3年	通年	○	○
		GSI-20-7004-J	★グローバルチャレンジII－A	武田一哉	井手一郎					2	1･2年	通年	○	○
		GSI-20-7005-J	★グローバルチャレンジII－B	武田一哉	井手一郎					3	1･2年	通年	○	○
		GSI-20-7006-J	★グローバルチャレンジII－C	武田一哉	井手一郎					4	1･2年	通年	○	○
		GSI-20-7007-J	★グローバルチャレンジII－D	武田一哉	井手一郎					5	1･2年	通年	○	○
		GSI-20-7008-J	★グローバルチャレンジII－E	武田一哉	井手一郎					6	1･2年	通年	○	○
研究指導														
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目											

★は「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」参加者のみ履修可

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

心理・認知科学専攻

博士前期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名								単位数	開講時期		開講年度	
													学年	クォータ	31	32
共通科目	講義	GSI-00-5001-J	情報学特論Ⅰ	村瀬洋	北栄輔	有田隆也	武田浩一	武田一哉				1	1年	春1	○	○
		GSI-00-5002-J	情報倫理Ⅰ	戸田山和久								1	1年	春2	○	○
		GSI-00-5003-J	情報学特別講義Ⅰ	村瀬洋	北栄輔	有田隆也						2	1年	春1	○	○
		GSI-00-5004-J	実世界データ循環システム特論Ⅰ-1	武田一哉	井手一郎	長尾確	村瀬洋					1	2年	春1	○	○
		GSI-00-5005-J	実世界データ循環システム特論Ⅰ-2	武田一哉	森健策	間瀬健二	石川佳治					1	2年	春2	○	○
		GSI-00-5006-J	実世界データ解析学特論A	村瀬洋	間瀬健二							1	1年	秋1	○	○
	演習	GSI-00-5007-J	実世界データ解析学特論B	村瀬洋	間瀬健二							1	1年	秋1	○	○
		GSI-00-5008-J	実世界データ解析学特論C	村瀬洋	間瀬健二							1	1年	秋2	○	○
主専攻科目	セミナー	GSI-14-6001-J	認知科学セミナーⅠ-a	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生					1	1年	春1	○	○
		GSI-14-6002-J	認知科学セミナーⅠ-b	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生					1	1年	春2	○	○
		GSI-14-6003-J	認知科学セミナーⅠ-c	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生					1	1年	秋1	○	○
		GSI-14-6004-J	認知科学セミナーⅠ-d	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生					1	1年	秋2	○	○
		GSI-14-6005-J	認知科学セミナーⅠ-e	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生					1	2年	春1	○	○
		GSI-14-6006-J	認知科学セミナーⅠ-f	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生					1	2年	春2	○	○
		GSI-14-6007-J	認知科学セミナーⅠ-g	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生					1	2年	秋1	○	○
		GSI-14-6008-J	認知科学セミナーⅠ-h	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生					1	2年	秋2	○	○
		GSI-14-6009-J	心理学セミナーⅠ-a	唐沢穣	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子			1	1年	春1	○	○
		GSI-14-6010-J	心理学セミナーⅠ-b	唐沢穣	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子			1	1年	春2	○	○
		GSI-14-6011-J	心理学セミナーⅠ-c	唐沢穣	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子			1	1年	秋1	○	○
		GSI-14-6012-J	心理学セミナーⅠ-d	唐沢穣	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子			1	1年	秋2	○	○
		GSI-14-6013-J	心理学セミナーⅠ-e	唐沢穣	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子			1	2年	春1	○	○
		GSI-14-6014-J	心理学セミナーⅠ-f	唐沢穣	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子			1	2年	春2	○	○
		GSI-14-6015-J	心理学セミナーⅠ-g	唐沢穣	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子			1	2年	秋1	○	○
		GSI-14-6016-J	心理学セミナーⅠ-h	唐沢穣	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子			1	2年	秋2	○	○
	特論	GSI-14-6017-J	情報意味論	三輪和久	川合伸幸	齋藤洋典(非)						1	1・2年	集中	○	○
		GSI-14-6018-J	認知モデル論	三輪和久								1	1・2年	春1	○	○
		GSI-14-6019-J	認知行動論	川合伸幸								1	1・2年	秋2	○	○
		GSI-14-6020-J	認知心理学A	川口潤(非)								1	1・2年	集中	○	○
		GSI-14-6021-J	認知心理学B	北神慎司	石井敬子							1	1・2年	春2	○	○
		GSI-14-6022-J	社会的認知論A	唐沢穣								1	1・2年	春1	○	○
		GSI-14-6023-J	社会的認知論B	石井敬子								1	1・2年	春2	○	○
		GSI-14-6024-J	社会・感情過程論	鈴木敦命(非)								1	1・2年	集中	○	○
		GSI-14-6025-J	認知神経科学A	大平英樹								1	1・2年	秋1	○	○
		GSI-14-6026-J	認知神経科学B	田邊宏樹								1	1・2年	春1	○	○
		GSI-14-6027-J	知覚・学習機構論A	非常勤講師								1	1・2年	秋1		未定
		GSI-14-6028-J	知覚・学習機構論B	片平健太郎								1	1・2年	春1	○	○
	演習	GSI-14-6029-J	心理・認知科学演習a	専攻の全教員								1	1年	春1	○	○
		GSI-14-6030-J	心理・認知科学演習b	専攻の全教員								1	1年	春2	○	○
		GSI-14-6031-J	心理・認知科学演習c	専攻の全教員								1	1年	秋1	○	○
		GSI-14-6032-J	心理・認知科学演習d	専攻の全教員								1	1年	秋2	○	○
		GSI-14-6033-J	心理・認知科学演習e	専攻の全教員								1	2年	春1	○	○
		GSI-14-6034-J	心理・認知科学演習f	専攻の全教員								1	2年	春2	○	○
		GSI-14-6035-J	心理・認知科学演習g	専攻の全教員								1	2年	秋1	○	○
		GSI-14-6036-J	心理・認知科学演習h	専攻の全教員								1	2年	秋2	○	○
実践的教育科目		GSI-20-6001-J	インターンシップⅠ-A	村瀬洋								2	1年	通年	○	○
		GSI-20-6002-J	インターンシップⅠ-B	村瀬洋								1	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6003-J	インターンシップⅠ-C	村瀬洋								2	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6004-J	産学連携実習A	高田広章	本田晋也	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮			2	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6005-J	産学連携実習B	高田広章	本田晋也	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮			4	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6006-J	★グローバルチャレンジⅠ	武田一哉	井手一郎							2	1・2年	通年	○	○
他専攻科目				本研究科の他専攻の主専攻科目												
研究指導																
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目													

★は「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」参加者のみ履修可

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

心理・認知科学専攻

博士後期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名							単位数	開講時期		開講年度	
												学年	クォータ	31	32
共通科目	講義	GSI-00-7001-J	情報学特論Ⅱ	武田一哉	戸田山和久	長岡正隆	三輪和久	安田孝美	村瀬洋	北栄輔	1	1年	春1	○	○
		GSI-00-7002-J	情報倫理Ⅱ	戸田山和久							1	1年	春2	○	○
		GSI-00-7003-J	リーダーシップ特論	安田孝美	村瀬洋	北栄輔					2	1年	春1	○	○
		GSI-00-7004-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-1	武田一哉							1	1年	秋1	○	○
		GSI-00-7005-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-2	武田一哉							1	1年	秋2	○	○
主専攻科目	セミナー	GSI-14-7001-J	認知科学セミナーⅡ-a	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生				1	1年	春1	○	○
		GSI-14-7002-J	認知科学セミナーⅡ-b	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生				1	1年	春2	○	○
		GSI-14-7003-J	認知科学セミナーⅡ-c	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生				1	1年	秋1	○	○
		GSI-14-7004-J	認知科学セミナーⅡ-d	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生				1	1年	秋2	○	○
		GSI-14-7005-J	認知科学セミナーⅡ-e	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生				1	2年	春1	○	○
		GSI-14-7006-J	認知科学セミナーⅡ-f	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生				1	2年	春2	○	○
		GSI-14-7007-J	認知科学セミナーⅡ-g	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生				1	2年	秋1	○	○
		GSI-14-7008-J	認知科学セミナーⅡ-h	三輪和久	川合伸幸	光松秀倫	小林哲生				1	2年	秋2	○	○
		GSI-14-7009-J	心理学セミナーⅡ-a	唐沢穣	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子		1	1年	春1	○	○
		GSI-14-7010-J	心理学セミナーⅡ-b	唐沢穣	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子		1	1年	春2	○	○
		GSI-14-7011-J	心理学セミナーⅡ-c	唐沢穣	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子		1	1年	秋1	○	○
		GSI-14-7012-J	心理学セミナーⅡ-d	唐沢穣	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子		1	1年	秋2	○	○
		GSI-14-7013-J	心理学セミナーⅡ-e	唐沢穣	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子		1	2年	春1	○	○
		GSI-14-7014-J	心理学セミナーⅡ-f	唐沢穣	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子		1	2年	春2	○	○
		GSI-14-7015-J	心理学セミナーⅡ-g	唐沢穣	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子		1	2年	秋1	○	○
		GSI-14-7016-J	心理学セミナーⅡ-h	唐沢穣	大平英樹	田邊宏樹	北神慎司	片平健太郎	石井敬子		1	2年	秋2	○	○
実践的教育科目		GSI-20-7001-J	インターンシップⅡ-A	村瀬洋							2	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-7002-J	インターンシップⅡ-B	村瀬洋							1	1・2・3年	通年	○	○
		GSI-20-7003-J	インターンシップⅡ-C	村瀬洋							2	1・2・3年	通年	○	○
		GSI-20-7004-J	★グローバルチャレンジⅡ－A	武田一哉	井手一郎						2	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-7005-J	★グローバルチャレンジⅡ－B	武田一哉	井手一郎						3	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-7006-J	★グローバルチャレンジⅡ－C	武田一哉	井手一郎						4	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-7007-J	★グローバルチャレンジⅡ－D	武田一哉	井手一郎						5	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-7008-J	★グローバルチャレンジⅡ－E	武田一哉	井手一郎						6	1・2年	通年	○	○
研究指導															
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目												

★は「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」参加者のみ履修可

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

情報システム学専攻

博士前期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名										単位数	開講時期		開講年度	
															学年	クォータ	31	32
共通科目	講義	GSI-00-5001-J	情報学特論Ⅰ	村瀬洋	北栄輔	有田隆也	武田浩一	武田一哉						1	1年	春1	○	○
		GSI-00-5002-J	情報倫理Ⅰ	戸田山和久										1	1年	春2	○	○
		GSI-00-5003-J	情報学特別講義Ⅰ	村瀬洋	北栄輔	有田隆也								2	1年	春1	○	○
		GSI-00-5004-J	実世界データ循環システム特論Ⅰ-1	武田一哉	井手一郎	長尾確	村瀬洋							1	2年	春1	○	○
		GSI-00-5005-J	実世界データ循環システム特論Ⅰ-2	武田一哉	森健策	間瀬健二	石川佳治							1	2年	春2	○	○
		GSI-00-5006-J	実世界データ解析学特論A	村瀬洋	間瀬健二									1	1年	秋1	○	○
	演習	GSI-00-5007-J	実世界データ解析学特論B	村瀬洋	間瀬健二									1	1年	秋1	○	○
		GSI-00-5008-J	実世界データ解析学特論C	村瀬洋	間瀬健二									1	1年	秋2	○	○
主専攻科目	セミナー	GSI-15-6001-J	計算論セミナーⅠ-a	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二							1	1年	春1	○	○
		GSI-15-6002-J	計算論セミナーⅠ-b	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二							1	1年	春2	○	○
		GSI-15-6003-J	計算論セミナーⅠ-c	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二							1	1年	秋1	○	○
		GSI-15-6004-J	計算論セミナーⅠ-d	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二							1	1年	秋2	○	○
		GSI-15-6005-J	計算論セミナーⅠ-e	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二							1	2年	春1	○	○
		GSI-15-6006-J	計算論セミナーⅠ-f	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二							1	2年	春2	○	○
		GSI-15-6007-J	計算論セミナーⅠ-g	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二							1	2年	秋1	○	○
		GSI-15-6008-J	計算論セミナーⅠ-h	酒井正彦	番原睦則	西田直樹	橋本健二							1	2年	秋2	○	○
		GSI-15-6009-J	情報プラットフォーム論セミナーⅠ-a	枝廣正人	高田広章	石原亨	本田晋也	吉田則裕	松原豊	渡邉陽介	倉地亮	山本雅基	非常勤講師	1	1年	春1	○	○
		GSI-15-6010-J	情報プラットフォーム論セミナーⅠ-b	枝廣正人	高田広章	石原亨	本田晋也	吉田則裕	松原豊	渡邉陽介	倉地亮	山本雅基	非常勤講師	1	1年	春2	○	○
		GSI-15-6011-J	情報プラットフォーム論セミナーⅠ-c	枝廣正人	高田広章	石原亨	本田晋也	吉田則裕	松原豊	渡邉陽介	倉地亮	山本雅基	非常勤講師	1	1年	秋1	○	○
		GSI-15-6012-J	情報プラットフォーム論セミナーⅠ-d	枝廣正人	高田広章	石原亨	本田晋也	吉田則裕	松原豊	渡邉陽介	倉地亮	山本雅基	非常勤講師	1	1年	秋2	○	○
		GSI-15-6013-J	情報プラットフォーム論セミナーⅠ-e	枝廣正人	高田広章	石原亨	本田晋也	吉田則裕	松原豊	渡邉陽介	倉地亮	山本雅基	非常勤講師	1	2年	春1	○	○
		GSI-15-6014-J	情報プラットフォーム論セミナーⅠ-f	枝廣正人	高田広章	石原亨	本田晋也	吉田則裕	松原豊	渡邉陽介	倉地亮	山本雅基	非常勤講師	1	2年	春2	○	○
		GSI-15-6015-J	情報プラットフォーム論セミナーⅠ-g	枝廣正人	高田広章	石原亨	本田晋也	吉田則裕	松原豊	渡邉陽介	倉地亮	山本雅基	非常勤講師	1	2年	秋1	○	○
		GSI-15-6016-J	情報プラットフォーム論セミナーⅠ-h	枝廣正人	高田広章	石原亨	本田晋也	吉田則裕	松原豊	渡邉陽介	倉地亮	山本雅基	非常勤講師	1	2年	秋2	○	○
		GSI-15-6017-J	ソフトウェア論セミナーⅠ-a	関浩之	山本修一郎	結縁祥治	楫勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅				1	1年	春1	○	○
		GSI-15-6018-J	ソフトウェア論セミナーⅠ-b	関浩之	山本修一郎	結縁祥治	楫勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅				1	1年	春2	○	○
		GSI-15-6019-J	ソフトウェア論セミナーⅠ-c	関浩之	山本修一郎	結縁祥治	楫勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅				1	1年	秋1	○	○
		GSI-15-6020-J	ソフトウェア論セミナーⅠ-d	関浩之	山本修一郎	結縁祥治	楫勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅				1	1年	秋2	○	○
		GSI-15-6021-J	ソフトウェア論セミナーⅠ-e	関浩之	山本修一郎	結縁祥治	楫勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅				1	2年	春1	○	○
		GSI-15-6022-J	ソフトウェア論セミナーⅠ-f	関浩之	山本修一郎	結縁祥治	楫勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅				1	2年	春2	○	○
		GSI-15-6023-J	ソフトウェア論セミナーⅠ-g	関浩之	山本修一郎	結縁祥治	楫勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅				1	2年	秋1	○	○
		GSI-15-6024-J	ソフトウェア論セミナーⅠ-h	関浩之	山本修一郎	結縁祥治	楫勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅				1	2年	秋2	○	○
		GSI-15-6025-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅠ-a	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	非常勤講師							1	1年	春1	○	○
		GSI-15-6026-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅠ-b	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	非常勤講師							1	1年	春2	○	○
		GSI-15-6027-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅠ-c	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	非常勤講師							1	1年	秋1	○	○
		GSI-15-6028-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅠ-d	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	非常勤講師							1	1年	秋2	○	○
		GSI-15-6029-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅠ-e	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	非常勤講師							1	2年	春1	○	○
		GSI-15-6030-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅠ-f	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	非常勤講師							1	2年	春2	○	○
		GSI-15-6031-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅠ-g	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	非常勤講師							1	2年	秋1	○	○
		GSI-15-6032-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅠ-h	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	非常勤講師							1	2年	秋2	○	○
	特論	GSI-15-6056-J	＊計算論基礎特論A	酒井正彦	西田直樹									1	1・2年	春1	○	○
		GSI-15-6057-J	＊計算論基礎特論B†	番原睦則										1	1・2年	春2	○	○
		GSI-15-6035-J	＊システムプログラム特論A	高田広章	本田晋也									1	1・2年	春1	○	○
		GSI-15-6036-J	＊システムプログラム特論B	高田広章	本田晋也									1	1・2年	春2	○	○
		GSI-15-6047-J	＊計算機アーキテクチャ特論A	枝廣正人	石原亨									1	1・2年	秋1	○	○
		GSI-15-6048-J	＊計算機アーキテクチャ特論B	石原亨	枝廣正人									1	1・2年	秋2	○	○
		GSI-15-6041-J	＊ソフトウェア基礎論特論A	関浩之	楫勇一									1	1・2年	秋1	○	○
		GSI-15-6042-J	＊ソフトウェア基礎論特論B	結縁祥治	楫勇一									1	1・2年	秋2	○	○
		GSI-15-6043-J	＊ソフトウェア工学特論A	山本修一郎	森崎修司									1	1・2年	春1	○	○
		GSI-15-6044-J	＊ソフトウェア工学特論B	山本修一郎	森崎修司									1	1・2年	春2	○	○
		GSI-15-6049-J	＊大規模計算特論A	片桐孝洋										1	1・2年	春1	○	○
		GSI-15-6050-J	＊大規模計算特論B	片桐孝洋										1	1・2年	春2	○	○
		GSI-15-6037-J	＊情報ネットワーク特論A	村瀬勉	嶋田創									1	1・2年	春1	○	○
		GSI-15-6038-J	＊情報ネットワーク特論B	村瀬勉	嶋田創									1	1・2年	春2	○	○
		GSI-15-6033-J	情報セキュリティ特論1	松原豊	嶋田創	倉地亮								1	1・2年	秋1		○
		GSI-15-6034-J	情報セキュリティ特論2	松原豊	嶋田創	倉地亮								1	1・2年	秋2		○
		GSI-15-6039-J	プログラミング言語特論1	中澤巧爾										1	1・2年	春1	○	
		GSI-15-6040-J	プログラミング言語特論2	中澤巧爾										1	1・2年	春2	○	
		GSI-15-6045-J	情報システム開発実践特論1	非常勤講師	非常勤講師									1	1・2年	春1	○	○
		GSI-15-6046-J	情報システム開発実践特論2	非常勤講師	非常勤講師									1	1・2年	春2		
		GSI-15-6051-J	並行分散計算特論1	結縁祥治										1	1・2年	秋1		○
		GSI-15-6052-J	並行分散計算特論2	結縁祥治										1	1・2年	秋2		○
		GSI-15-6053-J	オートマトン・形式言語特論	酒井正彦										1	1・2年	秋1	○	
		GSI-15-6054-J	計算モデル特論	西田直樹										1	1・2年	秋1	○	
		GSI-15-6055-J	知識表現・推論特論1	番原睦則										1	1・2年	秋1		○
		GSI-15-6058-J	知識表現・推論特論2	番原睦則										1	1・2年	秋2		○
		GSI-15-6067-J	暗号学特論	楫勇一										1	1・2年	春2	○	○
	演習	GSI-15-6059-J	情報システム学演習a	専攻の全教員										1	1年	春1	○	○
		GSI-15-6060-J	情報システム学演習b	専攻の全教員										1	1年	春2	○	○
		GSI-15-6061-J	情報システム学演習c	専攻の全教員										1	1年	秋1	○	○
		GSI-15-6062-J	情報システム学演習d	専攻の全教員										1	1年	秋2	○	○
		GSI-15-6063-J	情報システム学演習e	専攻の全教員										1	2年	春1	○	○
		GSI-15-6064-J	情報システム学演習f	専攻の全教員										1	2年	春2	○	○
		GSI-15-6065-J	情報システム学演習g	専攻の全教員										1	2年	秋1	○	○
		GSI-15-6066-J	情報システム学演習h	専攻の全教員										1	2年	秋2	○	○
実践的教育科目		GSI-20-6001-J	インターンシップⅠ-A	村瀬洋										2	1年	通年	○	○
		GSI-20-6002-J	インターンシップⅠ-B	村瀬洋										1	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6003-J	インターンシップⅠ-C	村瀬洋										2	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6004-J	産学連携実習A	高田広章	本田晋也	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮					2	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6005-J	産学連携実習B	高田広章	本田晋也	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮					4	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6006-J	★グローバルチャレンジⅠ	武田一哉	井手一郎									2	1・2年	通年	○	○
他専攻科目				本研究科の他専攻の主専攻科目														
研究指導																		
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目															

＊は選択必修科目、選択必修科目から8単位以上を履修すること。
★は「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」参加者のみ履修可
† 平成30年度については開講時期に注意すること

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

情報システム学専攻

博士後期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名											単位数	開講時期		開講年度	
																学年	クォータ	31	32
共通科目	講義	GSI-00-7001-J	情報学特論Ⅱ	武田一哉	戸田山和久	長岡正隆	三輪和久	安田孝美	村瀬洋	北栄輔					1	1年	春1	○	○
		GSI-00-7002-J	情報倫理Ⅱ	戸田山和久											1	1年	春2	○	○
		GSI-00-7003-J	リーダーシップ特論	安田孝美	村瀬洋	北栄輔									2	1年	春1	○	○
		GSI-00-7004-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-1	武田一哉											1	1年	秋1	○	○
		GSI-00-7005-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-2	武田一哉											1	1年	秋2	○	○
主専攻科目	セミナー	GSI-15-7001-J	計算論セミナーⅡ-a	酒井正彦	番原陸則	西田直樹	橋本健二								1	1年	春1	○	○
		GSI-15-7002-J	計算論セミナーⅡ-b	酒井正彦	番原陸則	西田直樹	橋本健二								1	1年	春2	○	○
		GSI-15-7003-J	計算論セミナーⅡ-c	酒井正彦	番原陸則	西田直樹	橋本健二								1	1年	秋1	○	○
		GSI-15-7004-J	計算論セミナーⅡ-d	酒井正彦	番原陸則	西田直樹	橋本健二								1	1年	秋2	○	○
		GSI-15-7005-J	計算論セミナーⅡ-e	酒井正彦	番原陸則	西田直樹	橋本健二								1	2年	春1	○	○
		GSI-15-7006-J	計算論セミナーⅡ-f	酒井正彦	番原陸則	西田直樹	橋本健二								1	2年	春2	○	○
		GSI-15-7007-J	計算論セミナーⅡ-g	酒井正彦	番原陸則	西田直樹	橋本健二								1	2年	秋1	○	○
		GSI-15-7008-J	計算論セミナーⅡ-h	酒井正彦	番原陸則	西田直樹	橋本健二								1	2年	秋2	○	○
		GSI-15-7009-J	情報プラットフォーム論セミナーⅡ-a	枝廣正人	高田広章	石原亨	本田晋也	吉田則裕	松原豊	渡邉陽介	倉地亮	山本雅基	非常勤講師		1	1年	春1	○	○
		GSI-15-7010-J	情報プラットフォーム論セミナーⅡ-b	枝廣正人	高田広章	石原亨	本田晋也	吉田則裕	松原豊	渡邉陽介	倉地亮	山本雅基	非常勤講師		1	1年	春2	○	○
		GSI-15-7011-J	情報プラットフォーム論セミナーⅡ-c	枝廣正人	高田広章	石原亨	本田晋也	吉田則裕	松原豊	渡邉陽介	倉地亮	山本雅基	非常勤講師		1	1年	秋1	○	○
		GSI-15-7012-J	情報プラットフォーム論セミナーⅡ-d	枝廣正人	高田広章	石原亨	本田晋也	吉田則裕	松原豊	渡邉陽介	倉地亮	山本雅基	非常勤講師		1	1年	秋2	○	○
		GSI-15-7013-J	情報プラットフォーム論セミナーⅡ-e	枝廣正人	高田広章	石原亨	本田晋也	吉田則裕	松原豊	渡邉陽介	倉地亮	山本雅基	非常勤講師		1	2年	春1	○	○
		GSI-15-7014-J	情報プラットフォーム論セミナーⅡ-f	枝廣正人	高田広章	石原亨	本田晋也	吉田則裕	松原豊	渡邉陽介	倉地亮	山本雅基	非常勤講師		1	2年	春2	○	○
		GSI-15-7015-J	情報プラットフォーム論セミナーⅡ-g	枝廣正人	高田広章	石原亨	本田晋也	吉田則裕	松原豊	渡邉陽介	倉地亮	山本雅基	非常勤講師		1	2年	秋1	○	○
		GSI-15-7016-J	情報プラットフォーム論セミナーⅡ-h	枝廣正人	高田広章	石原亨	本田晋也	吉田則裕	松原豊	渡邉陽介	倉地亮	山本雅基	非常勤講師		1	2年	秋2	○	○
		GSI-15-7017-J	ソフトウェア論セミナーⅡ-a	関浩之	山本修一郎	結縁祥治	楫勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅					1	1年	春1	○	○
		GSI-15-7018-J	ソフトウェア論セミナーⅡ-b	関浩之	山本修一郎	結縁祥治	楫勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅					1	1年	春2	○	○
		GSI-15-7019-J	ソフトウェア論セミナーⅡ-c	関浩之	山本修一郎	結縁祥治	楫勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅					1	1年	秋1	○	○
		GSI-15-7020-J	ソフトウェア論セミナーⅡ-d	関浩之	山本修一郎	結縁祥治	楫勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅					1	1年	秋2	○	○
		GSI-15-7021-J	ソフトウェア論セミナーⅡ-e	関浩之	山本修一郎	結縁祥治	楫勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅					1	2年	春1	○	○
		GSI-15-7022-J	ソフトウェア論セミナーⅡ-f	関浩之	山本修一郎	結縁祥治	楫勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅					1	2年	春2	○	○
		GSI-15-7023-J	ソフトウェア論セミナーⅡ-g	関浩之	山本修一郎	結縁祥治	楫勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅					1	2年	秋1	○	○
		GSI-15-7024-J	ソフトウェア論セミナーⅡ-h	関浩之	山本修一郎	結縁祥治	楫勇一	森崎修司	中澤巧爾	濱口毅					1	2年	秋2	○	○
		GSI-15-7025-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅡ-a	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	非常勤講師								1	1年	春1	○	○
		GSI-15-7026-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅡ-b	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	非常勤講師								1	1年	春2	○	○
		GSI-15-7027-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅡ-c	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	非常勤講師								1	1年	秋1	○	○
		GSI-15-7028-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅡ-d	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	非常勤講師								1	1年	秋2	○	○
		GSI-15-7029-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅡ-e	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	非常勤講師								1	2年	春1	○	○
		GSI-15-7030-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅡ-f	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	非常勤講師								1	2年	春2	○	○
		GSI-15-7031-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅡ-g	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	非常勤講師								1	2年	秋1	○	○
		GSI-15-7032-J	情報ネットワークシステム論セミナーⅡ-h	村瀬勉	片桐孝洋	嶋田創	非常勤講師								1	2年	秋2	○	○
実践的教育科目		GSI-20-7001-J	インターンシップⅡ-A	村瀬洋											2	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-7002-J	インターンシップⅡ-B	村瀬洋											1	1・2・3年	通年	○	○
		GSI-20-7003-J	インターンシップⅡ-C	村瀬洋											2	1・2・3年	通年	○	○
		GSI-20-7004-J	★グローバルチャレンジⅡ－A	武田一哉	井手一郎										2	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-7005-J	★グローバルチャレンジⅡ－B	武田一哉	井手一郎										3	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-7006-J	★グローバルチャレンジⅡ－C	武田一哉	井手一郎										4	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-7007-J	★グローバルチャレンジⅡ－D	武田一哉	井手一郎										5	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-7008-J	★グローバルチャレンジⅡ－E	武田一哉	井手一郎										6	1・2年	通年	○	○
研究指導																			
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目																

★は「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」参加者のみ履修可

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

知能システム学専攻

博士前期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名											単位数	開講時期		開講年度	
																学年	クォータ	31	32
共通科目	講義	GSI-00-5001-J	情報学特論Ⅰ	村瀬洋	北栄輔	有田隆也	武田浩一	武田一哉							1	1年	春1	○	○
		GSI-00-5002-J	情報倫理Ⅰ	戸田山和久											1	1年	春2	○	○
		GSI-00-5003-J	情報学特別講義Ⅰ	村瀬洋	北栄輔	有田隆也									2	1年	春1	○	○
		GSI-00-5004-J	実世界データ循環システム特論Ⅰ-1	武田一哉	井手一郎	長尾確	村瀬洋								1	2年	春1	○	○
		GSI-00-5005-J	実世界データ循環システム特論Ⅰ-2	武田一哉	森健策	間瀬健二	石川佳治								1	2年	春2	○	○
		GSI-00-5006-J	実世界データ解析学特論A	村瀬洋	間瀬健二										1	1年	秋1	○	○
	演習	GSI-00-5007-J	実世界データ解析学特論B	村瀬洋	間瀬健二										1	1年	秋1	○	○
		GSI-00-5008-J	実世界データ解析学特論C	村瀬洋	間瀬健二										1	1年	秋2	○	○
主専攻科目	セミナー	GSI-16-6001-J	基盤知能情報学セミナーⅠ-a	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二朗	出口大輔	川西康友	非常勤講師				1	1年	春1	○	○
		GSI-16-6002-J	基盤知能情報学セミナーⅠ-b	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二朗	出口大輔	川西康友	非常勤講師				1	1年	春2	○	○
		GSI-16-6003-J	基盤知能情報学セミナーⅠ-c	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二朗	出口大輔	川西康友	非常勤講師				1	1年	秋1	○	○
		GSI-16-6004-J	基盤知能情報学セミナーⅠ-d	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二朗	出口大輔	川西康友	非常勤講師				1	1年	秋2	○	○
		GSI-16-6005-J	基盤知能情報学セミナーⅠ-e	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二朗	出口大輔	川西康友	非常勤講師				1	2年	春1	○	○
		GSI-16-6006-J	基盤知能情報学セミナーⅠ-f	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二朗	出口大輔	川西康友	非常勤講師				1	2年	春2	○	○
		GSI-16-6007-J	基盤知能情報学セミナーⅠ-g	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二朗	出口大輔	川西康友	非常勤講師				1	2年	秋1	○	○
		GSI-16-6008-J	基盤知能情報学セミナーⅠ-h	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二朗	出口大輔	川西康友	非常勤講師				1	2年	秋2	○	○
		GSI-16-6009-J	システム知能情報学セミナーⅠ-a	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕		1	1年	春1	○	○
		GSI-16-6010-J	システム知能情報学セミナーⅠ-b	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕		1	1年	春2	○	○
		GSI-16-6011-J	システム知能情報学セミナーⅠ-c	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕		1	1年	秋1	○	○
		GSI-16-6012-J	システム知能情報学セミナーⅠ-d	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕		1	1年	秋2	○	○
		GSI-16-6013-J	システム知能情報学セミナーⅠ-e	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕		1	2年	春1	○	○
		GSI-16-6014-J	システム知能情報学セミナーⅠ-f	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕		1	2年	春2	○	○
		GSI-16-6015-J	システム知能情報学セミナーⅠ-g	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕		1	2年	秋1	○	○
		GSI-16-6016-J	システム知能情報学セミナーⅠ-h	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕		1	2年	秋2	○	○
		GSI-16-6017-J	フィールド知能情報学セミナーⅠ-a	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	大平茂輝	榎堀優							1	1年	春1	○	○
		GSI-16-6018-J	フィールド知能情報学セミナーⅠ-b	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	大平茂輝	榎堀優							1	1年	春2	○	○
		GSI-16-6019-J	フィールド知能情報学セミナーⅠ-c	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	大平茂輝	榎堀優							1	1年	秋1	○	○
		GSI-16-6020-J	フィールド知能情報学セミナーⅠ-d	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	大平茂輝	榎堀優						3	1	1年	秋2	○	○
		GSI-16-6021-J	フィールド知能情報学セミナーⅠ-e	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	大平茂輝	榎堀優							1	2年	春1	○	○
		GSI-16-6022-J	フィールド知能情報学セミナーⅠ-f	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	大平茂輝	榎堀優							1	2年	春2	○	○
		GSI-16-6023-J	フィールド知能情報学セミナーⅠ-g	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	大平茂輝	榎堀優							1	2年	秋1	○	○
		GSI-16-6024-J	フィールド知能情報学セミナーⅠ-h	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	大平茂輝	榎堀優							1	2年	秋2	○	○
	特論	GSI-16-6025-J	データアナリティクス1	石川佳治	武田浩一	笹野遼平									1	1・2年	春1	○	○
		GSI-16-6026-J	データアナリティクス2	石川佳治	武田浩一	笹野遼平									1	1・2年	春2	○	○
		GSI-16-6027-J	画像映像情報処理1	村瀬洋	森健策										1	1・2年	秋1	○	○
		GSI-16-6028-J	画像映像情報処理2	村瀬洋	森健策										1	1・2年	秋2	○	○
		GSI-16-6029-J	音声行動情報処理1	武田一哉	戸田智基	竹内栄二朗									1	1・2年	春1	○	○
		GSI-16-6030-J	音声行動情報処理2	武田一哉	戸田智基	竹内栄二朗									1	1・2年	春2	○	○
		GSI-16-6031-J	自然言語処理1	外山勝彦	小川泰弘										1	1・2年	秋1	○	○
		GSI-16-6032-J	自然言語処理2	外山勝彦	小川泰弘										1	1・2年	秋2	○	○
		GSI-16-6033-J	人工知能システム1	長尾確	武田浩一	出口大輔	笹野遼平								1	1・2年	春1	○	○
		GSI-16-6034-J	人工知能システム2	長尾確	武田浩一	出口大輔	笹野遼平								1	1・2年	春2	○	○
		GSI-16-6035-J	マルチメディア情報処理1	井手一郎	松原茂樹										1	1・2年	秋1	○	○
		GSI-16-6036-J	マルチメディア情報処理2	井手一郎	松原茂樹										1	1・2年	秋2	○	○
		GSI-16-6037-J	知的インタフェース1	間瀬健二	工藤博章										1	1・2年	春1	○	○
		GSI-16-6038-J	知的インタフェース2	間瀬健二	工藤博章										1	1・2年	春2	○	○
		GSI-16-6039-J	知能ロボティクス1	長尾確	間瀬健二	竹内栄二朗									1	1・2年	秋1	○	○
		GSI-16-6040-J	知能ロボティクス2	長尾確	間瀬健二	竹内栄二朗									1	1・2年	秋2	○	○
		GSI-16-6041-J	知能システムA1	森健策	武田浩一	工藤博章	笹野遼平								1	1・2年	春1	○	○
		GSI-16-6042-J	知能システムA2	森健策	武田浩一	工藤博章	笹野遼平								1	1・2年	春2	○	○
		GSI-16-6043-J	知能システムB1	村瀬洋	武田一哉	竹内栄二朗									1	1・2年	秋1	○	○
		GSI-16-6044-J	知能システムB2	村瀬洋	武田一哉	竹内栄二朗									1	1・2年	秋2	○	○
	演習	GSI-16-6045-J	知能システム学演習a	専攻の全教員											1	1年	春1	○	○
		GSI-16-6046-J	知能システム学演習b	専攻の全教員											1	1年	春2	○	○
		GSI-16-6047-J	知能システム学演習c	専攻の全教員											1	1年	秋1	○	○
		GSI-16-6048-J	知能システム学演習d	専攻の全教員											1	1年	秋2	○	○
		GSI-16-6049-J	知能システム学演習e	専攻の全教員											1	2年	春1	○	○
		GSI-16-6050-J	知能システム学演習f	専攻の全教員											1	2年	春2	○	○
		GSI-16-6051-J	知能システム学演習g	専攻の全教員											1	2年	秋1	○	○
		GSI-16-6052-J	知能システム学演習h	専攻の全教員											1	2年	秋2	○	○
		GSI-16-6053-J	データ処理ツール演習1	松本哲也	榎堀優	駒水孝裕									1	1年	春1	○	○
		GSI-16-6054-J	データ処理ツール演習2	松本哲也	榎堀優	駒水孝裕									1	1年	春2	○	○
		GSI-16-6055-J	数理科学基礎演習1	川西康友											1	1年	春1	○	○
		GSI-16-6056-J	数理科学基礎演習2	川西康友											1	1年	春2	○	○
実践的教育科目		GSI-20-6001-J	インターンシップⅠ-A	村瀬洋											2	1年	通年	○	○
		GSI-20-6002-J	インターンシップⅠ-B	村瀬洋											1	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6003-J	インターンシップⅠ-C	村瀬洋											2	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6004-J	産学連携実習A	高田広章	本田晋也	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮						2	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6005-J	産学連携実習B	高田広章	本田晋也	吉田則裕	松原豊	山本雅基	倉地亮						4	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-6006-J	★グローバルチャレンジⅠ	武田一哉	井手一郎										2	1・2年	通年	○	○
他専攻科目				本研究科の他専攻の主専攻科目															
研究指導																			
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目																

★は「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」参加者のみ履修可

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

知能システム学専攻

博士後期課程

科目区分	授業形態	ナンバリング	授業科目名	担当教員名										単位数	開講時期		開講年度	
															学年	クォータ	31	32
共通科目	講義	GSI-00-7001-J	情報学特論Ⅱ	武田一哉	戸田山和久	長岡正隆	三輪和久	安田孝美	村瀬洋	北栄輔				1	1年	春1	○	○
		GSI-00-7002-J	情報倫理Ⅱ	戸田山和久										1	1年	春2	○	○
		GSI-00-7003-J	リーダーシップ特論	安田孝美	村瀬洋	北栄輔								2	1年	春1	○	○
		GSI-00-7004-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-1	武田一哉										1	1年	秋1	○	○
		GSI-00-7005-J	実世界データ循環システム特論Ⅱ-2	武田一哉										1	1年	秋2	○	○
主専攻科目	セミナー	GSI-16-7001-J	基盤知能情報学セミナーⅡ-a	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二朗	出口大輔	川西康友	非常勤講師			1	1年	春1	○	○
		GSI-16-7002-J	基盤知能情報学セミナーⅡ-b	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二朗	出口大輔	川西康友	非常勤講師			1	1年	春2	○	○
		GSI-16-7003-J	基盤知能情報学セミナーⅡ-c	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二朗	出口大輔	川西康友	非常勤講師			1	1年	秋1	○	○
		GSI-16-7004-J	基盤知能情報学セミナーⅡ-d	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二朗	出口大輔	川西康友	非常勤講師			1	1年	秋2	○	○
		GSI-16-7005-J	基盤知能情報学セミナーⅡ-e	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二朗	出口大輔	川西康友	非常勤講師			1	2年	春1	○	○
		GSI-16-7006-J	基盤知能情報学セミナーⅡ-f	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二朗	出口大輔	川西康友	非常勤講師			1	2年	春2	○	○
		GSI-16-7007-J	基盤知能情報学セミナーⅡ-g	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二朗	出口大輔	川西康友	非常勤講師			1	2年	秋1	○	○
		GSI-16-7008-J	基盤知能情報学セミナーⅡ-h	村瀬洋	武田一哉	戸田智基	井手一郎	竹内栄二朗	出口大輔	川西康友	非常勤講師			1	2年	秋2	○	○
		GSI-16-7009-J	システム知能情報学セミナーⅡ-a	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕	1	1年	春1	○	○
		GSI-16-7010-J	システム知能情報学セミナーⅡ-b	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕	1	1年	春2	○	○
		GSI-16-7011-J	システム知能情報学セミナーⅡ-c	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕	1	1年	秋1	○	○
		GSI-16-7012-J	システム知能情報学セミナーⅡ-d	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕	1	1年	秋2	○	○
		GSI-16-7013-J	システム知能情報学セミナーⅡ-e	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕	1	2年	春1	○	○
		GSI-16-7014-J	システム知能情報学セミナーⅡ-f	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕	1	2年	春2	○	○
		GSI-16-7015-J	システム知能情報学セミナーⅡ-g	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕	1	2年	秋1	○	○
		GSI-16-7016-J	システム知能情報学セミナーⅡ-h	森健策	武田浩一	石川佳治	外山勝彦	工藤博章	小川泰弘	笹野遼平	松本哲也	小田昌宏	駒水孝裕	1	2年	秋2	○	○
		GSI-16-7017-J	フィールド知能情報学セミナーⅡ-a	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	大平茂輝	榎堀優						1	1年	春1	○	○
		GSI-16-7018-J	フィールド知能情報学セミナーⅡ-b	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	大平茂輝	榎堀優						1	1年	春2	○	○
		GSI-16-7019-J	フィールド知能情報学セミナーⅡ-c	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	大平茂輝	榎堀優						1	1年	秋1	○	○
		GSI-16-7020-J	フィールド知能情報学セミナーⅡ-d	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	大平茂輝	榎堀優						1	1年	秋2	○	○
		GSI-16-7021-J	フィールド知能情報学セミナーⅡ-e	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	大平茂輝	榎堀優						1	2年	春1	○	○
		GSI-16-7022-J	フィールド知能情報学セミナーⅡ-f	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	大平茂輝	榎堀優						1	2年	春2	○	○
		GSI-16-7023-J	フィールド知能情報学セミナーⅡ-g	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	大平茂輝	榎堀優						1	2年	秋1	○	○
		GSI-16-7024-J	フィールド知能情報学セミナーⅡ-h	長尾確	間瀬健二	松原茂樹	大平茂輝	榎堀優						1	2年	秋2	○	○
実践的教育科目		GSI-20-7001-J	インターンシップⅡ-A	村瀬洋										2	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-7002-J	インターンシップⅡ-B	村瀬洋										1	1・2・3年	通年	○	○
		GSI-20-7003-J	インターンシップⅡ-C	村瀬洋										2	1・2・3年	通年	○	○
		GSI-20-7004-J	★グローバルチャレンジⅡ－A	武田一哉	井手一郎									2	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-7005-J	★グローバルチャレンジⅡ－B	武田一哉	井手一郎									3	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-7006-J	★グローバルチャレンジⅡ－C	武田一哉	井手一郎									4	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-7007-J	★グローバルチャレンジⅡ－D	武田一哉	井手一郎									5	1・2年	通年	○	○
		GSI-20-7008-J	★グローバルチャレンジⅡ－E	武田一哉	井手一郎									6	1・2年	通年	○	○
研究指導																		
随意科目	講義		大学院共通科目規程に定める科目															

★は「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」参加者のみ履修可

※修了要件については、各自の入学年度の学生便覧を参照すること。

実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム　開講科目表

科目区分	授業形態	科目名または科目群名	担当教員名					単位数	開講時期	
									学年	クォータ
	講義	実世界データ取得科目群(主領域)	リーディング大学院事業推進担当者					別途指定する		
共通	講義	実世界データ解析学特論A	村瀬洋	間瀬健二				1	修士1年	3
	演習	実世界データ解析学特論B	村瀬洋	間瀬健二				1	修士1年	3
	演習	実世界データ解析学特論C	村瀬洋	間瀬健二				1	修士1年	4
	講義	実世界データ循環システム特論Ⅰ-1	武田一哉	井手一郎	長尾確	村瀬洋		1	修士2年	1
	講義	実世界データ循環システム特論Ⅰ-2	武田一哉	森健策	間瀬健二	石川佳治		1	修士2年	2
	講義	領域基礎科目群(副領域)	リーディング大学院事業推進担当者					別途指定する		
	講義	実世界データ取得科目群(副領域)	リーディング大学院事業推進担当者					別途指定する		
共通	講義	実世界データ循環システム特論Ⅱ-1	武田一哉					1	博士1年	3
	講義	実世界データ循環システム特論Ⅱ-2	武田一哉					1	博士1年	4
実践的教育科目	演習	グローバルチャレンジⅠ	武田一哉	井手一郎				2	修士1・2年	通年
	演習	グローバルチャレンジⅡ	武田一哉	井手一郎				2～6	博士1・2年	通年

コースナンバリングシステム

本学ではカリキュラムの体系性を明示し、国際通用性を高めるために全ての科目に１０桁の英数字を付しています。情報学研究科のコースナンバーは、本研究科の Web シラバスにて確認することができます。(https://syllabus.i.nagoya-u.ac.jp/gsi/)

ABC-DE-klmn-F
①　②　③　④

① 部局名（英字）

授業科目を提供する部局名の英語名称の略を表します。

② 部局指定（英数字）

部局ごとに指定方法が異なります。

③ 科目レベル（数字）

授業科目の学修段階を表します。

0000 - 0999 ： 全学教育（基礎的レベル）
1000 - 1999 ： 全学教育（発展的レベル）
2000 - 2999 ： 学部専門科目（基礎的レベル）
3000 - 3999 ： 学部専門科目（発展的レベル）
4000 - 4999 ： 学部専門科目（卒業研究・医学部医学科 5-6 年次）
5000 - 5999 ： 大学院前期課程科目（基礎的レベル）
6000 - 6999 ： 大学院前期課程科目（発展的レベル）
7000 - 7999 ： 大学院後期課程科目
8000 - 8999 ： その他（教職科目など）

④ 使用言語（英字）

授業科目の使用言語を表します。

Ｊ：日本語
Ｅ：英語
Ｂ：２言語併用
Ｏ：その他の言語

6. 教育職員免許状の取得

本研究科では、免許状取得に必要な課程の認定を受けている。
希望者は、必要な単位を修得することによって、中学校及び高等学校の専修免許状の取得が可能である。
ただし、学部卒業時に基礎免許（一種免許状）を取得している場合とそうでない場合とでは、単位取得状況に相当の差が生じるので注意すること。

(1) 学部卒業時に基礎免許（一種免許状）を取得している場合
この場合には、大学院において 24 単位分の大学が独自に設定する科目を修得し、修士の学位を授与されると、専修免許が取得できる。

(2) 学部卒業時に基礎免許（一種免許状）を取得していない場合
この場合には、大学院において 24 単位分の大学が独自に設定する科目のほか、専修免許状に必要な基礎免許（一種免許状取得に必要な単位を充足すること）を得なければならない。
ただし、一種免許状取得に必要な単位は、すでに学部において修得した単位のうち、基礎免許と定められた科目の単位になっている場合があるので、各自確認すること。
詳細については、入学年度の「名古屋大学学生便覧」内［教育職員免許状取得］の欄を参照すること。

情報学研究科で取得できる免許状の種類

専攻	中学校専修	高等学校専修
数理情報学専攻	数学	数学
複雑系科学専攻	−	情報

基礎資格及び最低修得単位数

免許状種類	基礎資格	大学院における 最低修得単位数
中学校教諭専修	修士の学位を有すること	24
高等学校教諭専修	修士の学位を有すること	24

大学が独自に設定する科目（この表以外の科目については修了認定科目であっても、教職科目としては認められないので注意すること。）

（数学）

数理情報学専攻

数理情報学モデル論セミナー I-a
数理情報学モデル論セミナー I-b
数理情報学モデル論セミナー I-c
数理情報学モデル論セミナー I-d
数理情報学演習 a
数理情報学演習 b
数理情報学演習 c
数理情報学演習 d
数理情報学演習 e
数理情報学演習 f
数理情報学演習 g
数理情報学演習 h
数理情報学基礎論セミナー I-a
数理情報学基礎論セミナー I-b
数理情報学基礎論セミナー I-c
数理情報学基礎論セミナー I-d
離散数学特論 1
離散数学特論 2
数論アルゴリズム特論 1
数論アルゴリズム特論 2
数理論理学特論 1
数理論理学特論 2
最適化特論 1
最適化特論 2
計算量理論特論 1
計算量理論特論 2
数学基礎論特論 1
数学基礎論特論 2
数理情報学基礎論概論 1
数理情報学基礎論概論 2
数理情報学モデル論概論 1
数理情報学モデル論概論 2

（情報）

複雑系科学専攻

創発システム論セミナー I-a
創発システム論セミナー I-b
創発システム論セミナー I-c
創発システム論セミナー I-d
創発システム論セミナー I-e
創発システム論セミナー I-f
創発システム論セミナー I-g
創発システム論セミナー I-h

人工生命特論 1
人工生命特論 2
創発コンピューティング特論 1
創発コンピューティング特論 2
複雑系計算特論 1
複雑系計算特論 2
生体センシング特論
最適設計特論 1
最適設計特論 2
流体情報学特論
流体移動現象特論
複雑系プログラミング特論 1
複雑系プログラミング特論 2
可視化情報特論 1
感覚情報処理特論
バイオインフォマティクス特論 1
バイオインフォマティクス特論 2
計算量子物質情報特論 1
計算量子物質情報特論 2
物質情報ダイナミクス特論 1
物質情報ダイナミクス特論 2
環境情報特論 1
環境情報特論 2

7. 学生生活にかかわる心得

7－1　各種願・届の提出と各種証明書の発行

(1) 各種願・届の提出

次の事由が生じた場合は、願・届をその都度、提出しなければなりません。

① 休学するとき	休　学　願
② 休学を延長するとき	休学期間延長願
③ 復学するとき	復　学　願
④ 退学するとき	退　学　願
⑤ 住所を変更したとき	住所変更届
⑥ 本籍地、氏名を変更したとき	本籍地変更届・改　姓　届
⑦ 海外へ渡航をするとき	海外渡航願

①～④の願い出については、1か月前までに指導教員及び専攻長の所定の認印をもらった上で教務学生係へ提出してください。手続きをしないと授業料の納入義務が存続することになり、授業料が徴収されるので注意してください。

(2) 学生証の交付

学生証は、入学・進学の際、教務学生係において交付を受け、常に携帯してください。交付を受けた学生証を汚損・紛失した場合は、学生証再交付願により、再交付を受けてください。ただし、学生証の再交付には手数料が必要になる場合がありますのでご注意ください。

(3) 各種証明書の交付

次の証明書が必要な場合は、教務学生係にある証明書発行願に必要事項を記入の上、申請してください。なお、証明書発行は申請してから、和文証明書は3日、英文証明書は7日かかります。

① 在学証明書（証明書自動発行機）
② 学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）（証明書自動発行機）
③ 修了（見込）証明書（証明書自動発行機、修士2年次）
④ 学業成績証明書（窓口）
⑤ 免許状取得見込証明書（窓口）
⑥ 学位証明書（窓口）
⑦ 健康診断証明書［証明書自動発行機、定期健康診断（4月及び6月）を受診した者のみ］

その他、就職等に必要な証明書は証明書発行願に必要事項を記入のうえ、申請してください。

《自動発行機設置場所》（自動発行機は全学共通です。どの発行機を使っても証明書が発行できます。）

- 全学教育棟1階学生ホール
- 全学教育棟1階情報学部事務室前
- 文学部130、131室前
- 法・経済学部連絡通路1階ロビー
- 文系総合館1階文系教務課事務室前
- 理学部C館1階教務学生係
- 工学部IB電子情報館西棟2階教務課
- 工学部IB電子情報館中棟1階東側
- 工学部1号館2階エントランスホール
- 農学部講義棟2階教務学生係
- 環境総合館2階大学院係
- 本部2号館1階教育企画課

(4) 学割証について

① 学校学生生徒旅客運賃割引証（以下「学割証」という。）は、特に教育奨励の見地から、実習又は帰省旅行の便宜を図るために設けられた制度で、現在、旅客鉄道株式会社（航路、自動車線を含む）は101キロ以上の区間について２割引で運賃の適用を行っています。（急行・特急料金は割引されません。）

② 101キロ以上の旅行、帰省、実習などの場合に限られます。

③ 学割証の無効について

学割証は次の場合は無効として回収されます。

1. 記入事項が不鮮明なものを使用したとき。
2. 記入事項をぬり消し、又は改変したものを使用したとき。
3. 有効期間（発行の日から３ヶ月）を経過したものを使用したとき。
4. 有効期間内であっても使用資格を失った者が使用したとき。
5. 記名人以外の者が使用したとき。

学割証を不正に使用した学生に対しては、それ以後の交付を停止することがあります。

なお、不正使用した場合、多額の追徴金が課されることもあります。

７－２ 奨学金等

奨学金には、日本学生支援機構奨学金のほか、地方公共団体や民間の奨学事業団体の奨学金があります。また、本学独自の名古屋大学学術奨励賞の授与もあります。

これらは、いずれも人物、学業成績ともに優秀で、かつ健康であって学資の支弁が困難と認められる学生に貸与又は支給されるものです。

(1) 日本学生支援機構

① 奨学金の種類と貸与月額

（平成30年４月１日入学者）

種　　類	対　象　者	貸与月額
1. 大学院第一種奨学金（無利子） 〔対象者毎に希望する月額を右欄から選ぶことができます。〕	(1) 博士（前期課程）	50,000円 88,000
	(2) 博士（後期課程）	80,000 122,000
2. 大学院第二種奨学金（有利子） 〔希望する月額を右欄から選ぶことができます。〕	博士 （前・後期課程共通）	50,000 80,000 100,000 130,000 150,000

（備考）第一種の貸与を受けることによっても、なお、その就学を維持することが困難な者については、希望により第二種奨学金についても併せて貸与申請することができます。

② 奨学生の募集及び採用

奨学金の貸与を希望する者は、教務学生係で交付する所定の書類を提出しなければなりません。

なお、願書等の提出期日については、その都度、掲示により通知します。

推薦は成績に重点を置いていますので、心得ておくとよいでしょう。

③ 奨学金の受領

奨学金は、毎月定められた日に日本学生支援機構から直接奨学生の銀行口座に振込まれます。

④ 適格認定

毎年１月頃に「適格認定」が行われます。奨学生は教務学生係で適格認定の書類を受け取ってください。

⑤ 奨学生の異動の報告

休学、退学、復学、奨学金振込口座の変更、保証人の変更等の異動が生じた場合は速やかに教務学生係へ連絡してください。

７－３ 授業料の納付と免除

(1) 授業料の納付

授業料は、次の期限までに会計係へ納付しなければなりません。

春学期分授業料	４月末日まで
秋学期分授業料	10月末日まで

(2) 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合又は特別な事情により授業料の納付が著しく困難であると認められる場合には、本人の申請に基づき選考の上、授業料が免除されることがあります。

① 申請の時期

申請の時期･申請方法等については､事前に掲示で周知しますので､掲示板を注意して見てください。

原則として、春学期分及び秋学期分を一括し、年１回の申請となりますので、注意してください。

② 免除の額

各期分の授業料について、その全額あるいは半額が免除されます。

③ 徴収の猶予等

1. 授業料の免除申請を行った者については、免除の許可・不許可を通知するまでの間は授業料の徴収を猶予しますが、当該決定により免除を許可されなかった者及び半額免除になった者は、研究科が指定する日までに所定の授業料を納入しなければなりません。

2. 免除申請の結果が通知される前に休学又は退学を願い出た場合は、申請を取り下げ、所定の授業料を納入しなければなりません。

④ 必要書類

免除を受けようとする者は､下記の書類を所定の期日までに教務学生係へ提出しなければなりません。

なお、書類作成に、市区町村長の証明を必要とし相当日数を要するので注意してください。

ア.授業料免除申請書

イ.所得に関する市区町村長の証明書

ウ.その他適宜指示する書類

7－4　研究助成について

本研究科に対して、各財団から研究助成の応募書類が送付されてきます。これらの情報は、工学研究科ホームページ（http://jimu.engg.nagoya-u.ac.jp/josei/josei.php）に掲載し更新していますので、注意して見てください。応募の際には、募集対象者を必ず確認してください。

7－5　健康管理

学生生活を充実したものにするために、まず自らの健康に注意する必要があります。身体を良いコンディションで維持するためには、睡眠、食事、運動など生活習慣の基本を学び、身につけることはいうまでもありませんが、定期的に健康診断を受け自分の身体のチェックをすることも大切です。また、自らの健康管理をするうえで、身体的、精神的な問題がある場合には、学内の施設として保健管理室、全学教育棟の保健室、学生相談総合センター、ハラスメント相談センターが開設されていますので気軽に利用してください。

1．保健管理室（総合保健体育科学センター）の利用

保健管理室には、内科医師、精神科医師、看護師、保健師、診療放射線技師、臨床検査技師が配置され、定期の健康診断、健康相談と応急処置、精神健康相談、スポーツ競技参加のためのメディカルチェック、健康の保持増進に関する指導、環境衛生並びに感染症予防に関する指導、環境衛生並びに感染症の予防に関する指導援助などを行っています。

全学教育棟の保健室では、外傷等の処置と健康相談を行っています。

(1) 健康診断

① 定期健康診断

健康診断は、無自覚の疾病の早期発見や生活習慣病を予防するための年に一度の身体をチェックする大切な機会です。異常があった場合は、さらに精密検査を実施して授業や日常生活の指導を行います。受診して各自の健康管理に役立ててください。

なお、健康診断書発行サービスを受けられるのは、その年度の定期健康診断を受診した人だけです。他機関での健康診断書作成は大変手間も費用もかかりますので、必ず定期健康診断を受けるようにしましょう。

② 特殊健康診断

放射線業務（RI・X 線装置を取り扱う実験・実習）に従事する学生は、放射線障害防止法により健康診断が義務づけられています。未受診の場合は放射線従事者資格取得のための講習と、実験・実習を受けることができません。

また、有害物質を取り扱う実験･実習に従事する学生を対象にした健康診断も実施しています。なお、特殊健康診断受診者は定期健康診断を受診する必要があります。

定期健康診断

対　象　者	検　　査　　項　　目	実 施 時 期	実 施 場 所
学部学生 大学院生 研究生等	尿　検　査 胸部X線検査 血　圧　検　査 身　体　計　測 （身長・体重） 視　力　検　査 内　科　診　察 健　康　調　査 感 染 症 調 査　（1年生）	4月	保　健 管理室

特殊健康診断

種　　類	対　象　者	検 査 項 目	実 施 時 期	実 施 場 所
放射線従事者	実験・実習等で初めて放射線を取り扱う学生 また、次年度以降継続して取り扱う学生は問診を受け、必要に応じて検査を受ける。	血液検査 皮膚検査 眼の検査	5月 7月 10月 12月	保　健 管理室
有害物質取扱者	実験・実習等で有害物質を取り扱う学生	取扱い状況調査及び必要に応じた検査	10月	

(2) 健康相談及び応急処置

内科医師による健康相談及び病気、けが等の応急処置（初期治療）を行っています。さらに専門的な診断や治療を要する場合には、医学部附属病院等に紹介しています。健康相談（応急処置含む）は、保健管理室1階で受付をしています。

(3) 救急措置

実験、実習等で救急処置を要する事態が生じた場合は、次のことを参照の上適切な措置を取ってください。

① 保健管理室（内線3969・3970）に連絡をし、指示を求めてください。

② 救急車の依頼は119番へ。守衛室（内線4917）に救急車を依頼したことを連絡し、守衛室から現場へ救急車を誘導してもらってください。

③ 速やかに指導教員へ連絡するとともに、教務学生係へ連絡してください。

④ 医療機関で治療を受けた場合は、初診時に必ず「被保険者証」又は「遠隔地被保険者証」（遠隔地在住者）を医療機関に提出してください。健康保険の適用を受けていない者は、早急に国民健康保険に加入してください。

２．学生相談総合センターの利用

学生相談総合センターには、学生相談部門、メンタルヘルス部門、就職相談部門の３部門と障害学生支援室があります。相談の申込み、問い合わせ方法は以下のとおりです。

直接来所して申込む	
学生相談部門	工学部７号館Ｂ棟 2F　学生相談総合センター
メンタルヘルス部門	保健管理室
就職相談部門	学生相談総合センター　就職支援室
障害学生支援室	障害学生支援室・全学教育棟本館学生相談室
電話で申込む	
学生相談部門	(052) － 789 － 5805
メンタルヘルス部門	(052) － 788 － 6276
就職相談部門	(052) － 789 － 2176
障害学生支援室	(052) － 789 － 4756
メールで申込む	
学生相談総合センターホームページに申込み方法が掲載されています。 詳しくはセンターホームページをご覧ください。	
ホームページ：http://gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp/	
E-mail：soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp 障害学生支援室の E-mail：sg-sien@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp	

３．ハラスメント相談センターの利用

もし、自分がハラスメントにより被害を受けた場合、あるいは他の者がハラスメントを受けているのを見て不快に感じた場合等は、名古屋大学に置かれているハラスメント相談センターで相談を受けることができます。ハラスメント相談センターにおいて相談を受けるための受付窓口は、各部局に置かれています。情報学研究科のハラスメント相談受付窓口担当員に相談を希望する人は、相談受付窓口担当員に随時連絡してください。

また、相談総合案内（052-789-5806）も、気軽にご利用ください。

７－６　各種保険制度

１．学生教育研究災害傷害保険制度

名古屋大学では、学生が教育研究活動中に不慮の災害事故により身体に傷害を被ったときに備えての災害救済措置として「学生教育研究災害傷害保険制度」があり、情報科学研究科の学生のみなさんには入学時にこの保険に加入してもらっております。

また、近年通学途上等の交通事故をはじめ、通学途上等にいろいろな事故の発生が多いことから、「通学中等傷害危険担保特約」を付帯させております。

保険の概要は次のとおりです。

（１）保険の対象となる活動範囲

①　国内外における本学の教育研究活動中の急激かつ偶然な外来の事故により身体に傷害を被った場合。この保険における傷害は、「身体外部から有毒ガス又は有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸収又は摂取した場合に急激に生ずる中毒症状」及び「日射又は熱射による身体の傷害」を含みます。（※「病気」はこの保険の対象となりません。）

「教育研究活動中」とは次の場合を言います。

1. 正課中

2. 学校行事中
3. 1.2. 以外で学校施設内にいる間
4. 学校施設外で大学に届け出た課外活動中

② 通学中、学校施設等相互間の移動中に発生した事故によって身体に傷害を被った場合。

1. 通学中
2. 学校施設等相互間の移動中

（２）保険金の種類

① 死亡保険金：事故の発生の日からその日を含めて 180 日以内に死亡した場合、補償範囲の区分により支払われます。

② 後遺障害保険金：事故の発生の日からその日を含めて 180 日以内に後遺障害が生じた場合、後遺障害の程度に応じて補償範囲の区分により支払われます。

③ 医療保険金：傷害を被り、平常の業務に従事すること又は平常の生活ができなくなり、かつ医師の治療を受けた場合、平常の生活を営むことができる程度に治った日までの治療日数に応じて補償範囲の区分により支払われます。

④ 入院加算金：医療保険金の治療日数の中に、医師の指示に基づき病院又は診療所に入院することによる治療日数が含まれている場合には、医療保険金とは別に、180 日を限度としてその入院日数 1 日目から入院加算金が支払われます。

（３）保険料と保険期間

保険期間	保険料
1 年間	1,000 円
2 年間	1,750 円
3 年間	2,600 円

（４）加入申込期間

新入生については、入学手続きの際に加入の受付を行います。留年等で在学期間を延長した学生については、在学期間の延長が決定した時点で教務学生係に保険期間の延長を申し出てください。

（５）その他

上記のほか、詳しくは「学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり」等を参照するか、教務学生係にお問い合わせください。

なお、保険の対象となる事故が発生したら、ただちに事故の日時、場所、状況、傷害の程度を教務学生係に連絡してください。

２．学生教育研究賠償責任保険

（１）保険の内容

日本国内外において、正課、学校行事又は課外活動及びその往復で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について補償します。

（２）対象となる活動範囲

正課、学校行事又は課外活動及びその往復。この中には、本学が正課、学校行事、課外活動として認めたインターンシップ、介護体験活動、教育実習、保育実習、ボランティア活動及びその往復を含みます。

（３）加入の対象者

学生教育研究災害傷害保険に加入している学生に限ります。情報科学研究科の学生のみなさんには入学時にこの保険に加入してもらっております。

（４）保険料（1 年間） 340 円

（５）その他

上記のほか、詳しくは「学研災付帯賠償責任保険加入者のしおり」等を参照するか、教務学生係にお問い合わせください。

３．大学生協の学生総合共済　学生賠償責任保険

（１）保険の内容及び対象となる活動範囲

①　日常生活（正課の講義等を含む）における賠償事故【国内・国外】

他人に対する賠償責任

他人から借用したものに対する賠償責任

②　正課の講義等における賠償事故（人格権侵害）・費用損害【国内・国外】

他人のプライバシー侵害や名誉毀損に対する賠償責任

医療関連実習等で発生した事故に伴う感染予防措置・治療に要した費用（感染事故損害防止費用）

他人に対するお見舞い（被害者のケガの程度によります）

（２）加入の対象者

情報学研究科の留学生のみなさんには入学時にこの保険に加入してもらっております。

（３）保険料

学生賠償責任保険	卒業予定年まで一括払
１年	1,780 円
２年	3,120 円
３年	4,470 円
４年	5.800 円
５年	7,150 円
６年	8,070 円

（４）その他

上記のほか、詳しくは「大学生協の学生総合共済」のパンフレットを参照するか、教務学生係にお問い合わせください。

７－７　自然災害等に伴う授業及び定期試験の取扱い

台風等又は地震による災害が発生した場合、若しくは発生の恐れがあり警報又は注意情報が発令された場合の授業及び定期試験（追試験及び再試験を含む。以降「授業等」という。）の対応は次のとおりです。

（１）台風に伴い、名古屋市に暴風警報が発令された場合

台風に伴い名古屋市に暴風警報が発令された場合は、暴風警報発令後に開始される授業等は休講となります。ただし、暴風警報が解除された場合の授業等の実施については、別表のとおりです。

［注意事項等］

・暴風警報が発令された際、既に大学に登校している場合は、危険な状況になる前に帰宅してください。

・登校途中に暴風警報が発令された場合は、登校せず、帰宅してください。

・授業等の最中に暴風警報が発令された場合は、当該授業終了後、経路の安全を確保し、帰宅してください。

（２）地震・火災が発生した場合

授業等の最中に地震等が発生した時は、地震等の規模や周りの状況を冷静に判断し、まず身の安全を図ってください。その後、授業等を速やかに中断し、授業担当教員の指示に従って指定された一次避難場所へ避難してください。避難後は、大学の指示に従ってください。

（３）「東海地震注意情報」又は「警戒宣言」が発表された後、観測データの異常が終息に向かい解除情報が発表された場合は、その後の授業の実施については、大学の指示に従ってください。

（４）その他、災害が発生した場合若しくは発生の恐れがある場合

上記以外の場合において、授業等を実施することが困難であると判断されるときは、休講措置等の情報をホームページ及び提示等により通知します。

（５）代替措置

上記により中止となった授業又は試験の代替措置については、掲示等により通知します。

【別表】［暴風警報の解除後の授業の実施］

警報解除時刻	授業等開始時限
6 時 45 分まで	第 1 限
以後 11 時 00 分まで	第 3 限

７－８ 学生の懲戒及び教育的措置について

学生が犯罪や不法行為を行った場合は、一般の社会人の場合と同様に法的な処分の対象になることはいうまでもありませんが、大学では、それとは別に教育的指導の観点から、そうした学生に対し以下に従った懲戒又は教育的措置（以下「懲戒等」という）を行います。

（１）懲戒の種類及び内容

退　　学……学生としての身分を喪失させること。

停　　学……６月未満の期間を定めて、又は期間を定めずに、登校を禁じること。

訓　　告……学生に対して文書により注意を与え、将来を戒めること。

（２）教育的措置の種類及び内容

厳重注意……口頭により注意を与え、反省を強く求めること。

注　　意……口頭により注意を促すこと。

（３）定期試験の不正行為

不正行為があったときには、懲戒等に加えて当該学生が当該学期において修得した全授業科目の単位を不認定にする。

（４）懲戒等の対象となる行為

懲戒等の対象となる行為は次のとおりです。

１．本学の教育研究活動を妨害する行為

２．ハラスメントに該当する行為

３．不正アクセス等情報倫理に反する行為
４．守秘義務違反等専門職倫理に反する行為
５．その他大学の名誉・信用を著しく失墜させる行為

７－９　学内の業務に従事する場合の注意事項

本学では、学生に対しティーチング・アシスタント（TA）、リサーチ・アシスタント（RA）、その他、本学の教育・研究に関わる業務を依頼した場合、業務に対する報酬を本学からあなたの銀行口座に振り込みます。

学生に対して作業実態に基づき適性に支給した報酬の全部又は一部を研究室等が回収する環流行為は禁止されています。万一、研究室等から当該報酬の返還又は拠出を求められた場合は、事実確認が必要であるため、教務学生係まで相談してください。

７－10　伝達事項

学生への周知は、掲示により行います。

情報学部事務室前掲示板・情報学研究科棟玄関の掲示板・工学部 IB 電子情報館中棟１階掲示板及び、情報学研究科ホームページ内の電子掲示板に掲示します。

情報学研究科ホームページ
https://www.i.nagoya-u.ac.jp/

電子掲示板
情報学研究科ホームページ→大学院情報学研究科→在学生向け関連情報→掲示板
https://keiji.i.nagoya-u.ac.jp/student_gakugai/

８．教員組織、事務組織

教員組織

専攻名	講座名	教授	准教授	講師	助教
数理情報学	基幹講座 **数理情報基礎論**	松原　洋 吉信　康夫 小野　廣隆	佐藤　潤也	木原　貴行	
	基幹講座 **数理情報モデル論**	柳浦　睦憲 西村　治道	ﾌﾞｼｪｰﾐ ﾌﾗﾝﾁｪｽｺ		胡　艶楠
複雑系科学	基幹講座 **多自由度システム情報論**	杉山　雄規 谷村　省吾 時田恵一郎	中村　泰之		泉田　勇輝
	基幹講座 **生命情報論**	太田　元規 吉田　久美	青木　摂之	▲塚本　眞幸	小池亮太郎
	基幹講座 **物質情報論**	古賀　伸明 長岡　正隆	張　　賀東		井内　哲
	基幹講座 **創発システム論**	有田　隆也 北　　栄輔	永峰康一郎 鈴木　麗璽	▲笹原　和俊	
	基幹講座 **複雑系計算論**	畔上　秀幸 大岡　昌博 渡邉　　崇	鈴木　泰博		
	協力講座 **情報可視化論** （未来材料･システム研究所）	内山　知実	安田　耕二		髙牟禮　光太郎

社会情報学	基幹講座 **情報哲学**	戸田山和久	秋庭　史典 小池　直人 久木田　水生		
	（協力教員：博物館）		新美　倫子		
	基幹講座 **情報社会設計論**	安田　孝美	遠藤　守	浦田　真由	
	基幹講座 **グローバルメディア論**	中村　登志哉（兼務） 山本　竜大	井原　伸浩（兼務） 小川　明子		
	（協力教員：情報基盤センター）		後藤　明史		
心理・認知科学	基幹講座 **認知科学**	三輪　和久	川合　伸幸 小林　哲生		光松　秀倫
	基幹講座 **心理学**	唐沢　穣 大平　英樹 田邊　宏樹	北神　慎司 片平　健太郎 石井　敬子		

情報システム学	基幹講座 **計算論**	酒井　正彦 番原　睦則	西田　直樹		橋本　健二
	基幹講座 **情報プラットフォーム論**	枝廣　正人 ◆高田　広章 石原　亨 大山　博司	本田　晋也 吉田　則裕（兼務） 松原　豊 大谷　寿賀子		齋藤　理史 増田　豊（兼務）
	（協力教員：組込みシステム研究センター） （協力教員：未来社会創造機構）	山本　雅基（兼務）	倉地　亮 渡邉　陽介		
	基幹講座 **ソフトウェア論**	山本　修一郎 関　浩之 結縁　祥治 田所　幸浩	森崎　修司 中澤　巧爾		濱口　　毅
	（協力教員：情報戦略室）	楫　勇一			
	協力講座 **情報ネットワークシステム論** （情報基盤センター）	村瀬　勉 片桐　孝洋	嶋田　創		山口由紀子 永井　　亨
知能システム学	基幹講座 **基盤知能情報学**	村瀬　洋 ◆武田　一哉	井手　一郎 竹内　栄二朗 小川　厚徳		川西　康友 藤井　慶輔
	（協力教員：情報基盤センター） （協力教員：情報戦略室） （協力教員：未来社会創造機構）	戸田　智基 二宮　芳樹	出口　大輔 石黒　祥生		
	基幹講座 **システム知能情報学**	武田　浩一（兼務） 石川　佳治 森　健策	工藤　博章 笹野　遼平（兼務）		松本　哲也 小田　昌宏
	（協力教員：情報基盤センター）	外山　勝彦	小川　泰弘		駒水　孝裕
	基幹講座 **フィールド知能情報学**	間瀬　健二 長尾　確			榎堀　優
	（協力教員：情報基盤センター） （協力教員：情報戦略室）	松原　　茂樹			大平　茂輝

附属組込みシステム研究センター	【センター長】 ◆高田　広章（兼務）	吉田　則裕		
附属グローバルメディア研究センター	【センター長】 中村　登志哉	井原　伸浩 小川　明子（兼務）		
附属価値創造研究センター	【センター長】 武田　浩一	笹野　遼平		

◆未来社会創造機構所属，情報学研究科兼務(総長発令)　　▲助教（ﾃﾆｭｱ付）

特任教員（大学院担当教員のみ）

専攻・講座	氏名	職名	所属
情報システム学専攻 情報プラットフォーム論	山本　雅基	特任教授	組込みシステム研究センター
	倉地　亮	特任准教授	組込みシステム研究センター
	渡邉　陽介	特任准教授	未来社会創造機構
知能システム学専攻 基盤知能情報学	二宮　芳樹	特任教授	未来社会創造機構
	石黒　祥生	特任准教授	未来社会創造機構

事務組織

【技術部】

部　門　名	電　　話
情 報 技 術	052 － 789 － 4705
	052 － 789 － 4769
	052 － 789 － 5190
材 料 技 術	052 － 789 － 4775
	052 － 789 － 5185
	052 － 789 － 4812
	052 － 789 － 4811

【事務部】

係　　名	電　　話
庶　務　係	052 － 789 － 4716
会　計　係	052 － 789 － 4718
教務学生係	052 － 789 － 4721
図　書　係	052 － 789 － 4729

＊電話番号の下４桁が内線

名古屋大学大学院情報学研究科規程

（趣旨）

第１条　名古屋大学大学院情報学研究科（以下「本研究科」という。）における目的並びに入学，進学，転学，転科及び転専攻（以下「入学等」という。）並びに教育課程，授業，研究指導，成績評価等（以下「教育課程等」という。）については，名古屋大学大学院通則（平成16年度通則第２号。以下「通則」という。）及び名古屋大学大学院共通科目規程（平成22年度規程第47号。以下「大学院共通科目規程」という。）に定めるもののほか，この規程の定めるところによる。

２　この規程に定めるもののほか，入学等及び教育課程等に関し必要な事項は，教授会の議を経て，研究科長が定める。

（目的）

第２条　本研究科は，情報学における学術の理論及び応用を教授研究し，その深奥を究め，高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことにより，文化の進展に寄与するとともに，情報学における学術の研究者，高度の専門技術者及び教授者を養成することを目的とする。

（入学及び進学）

第３条　入学又は進学の手続及びその選抜方法その他必要な事項は，教授会の議を経て，研究科長が定める。

２　入学試験又は進学試験の合格者の決定は，教授会の議を経て，行う。

（転学，転科及び転専攻）

第４条　研究科長は，通則第17条第１項第２号の規定により本研究科に転学を志願する者について，教授会の議を経て，転学を許可する。

２　研究科長は，通則第17条の２第１項の規定により本研究科に転科を志願する者について，教授会の議を経て，転科を許可する。

３　研究科長は，通則第17条の２第２項の規定により本研究科の他の専攻に転専攻を志願する者について，教授会の議を経て，転専攻を許可する。

４　前３項において転学，転科及び転専攻を許可された者の修業年限は，教授会の議を経て，研究科長が定める。

（授業科目及び単位数）

第５条　各専攻の授業科目及び単位数は，別表第１のとおりとする。

（単位の計算）

第６条　各授業科目の単位数の計算は，15時間をもって１単位とする。

（履修基準）

第７条　各専攻の履修基準は，別表第２のとおりとする。

（指導教員）

第８条　入学又は進学した者に対する指導教員は，教授会の議を経て，研究科長が定める。

２　指導教員は，１名以上とし，必要に応じて，他の研究科の教授等を加えることができる。

（研究指導）

第９条　前期課程及び後期課程の研究指導については，教授会の議を経て，研究科長が定める。

（学修計画）

第10条　入学又は進学した者は，指導教員の指導の下に，入学又は進学後１月以内に学修計画を作成し，研究科長に提出しなければならない。

２　研究科長は，前項の学修計画について，教授会の議を経て承認する。

（入学前の既修得単位の認定）

第11条　学生が本研究科に入学する前に大学院において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）については，教授会の議を経て，研究科長が教育上有益と認める場合は，10単位を超えない範囲で，本研究科で修得したものとして認定することができる。

２　単位の認定方法その他必要な事項は，教授会の議を経て，研究科長が定める。

（他の研究科等の授業科目の履修）

第12条　学生が指導教員の指導の下に，他の研究科の授業科目を履修し修得した単位は，教授会の議を経て課程修了に必要な単位として認定することができる。

２　学生は，指導教員の指導の下に，大学院共通科目規程に定める授業科目を履修することができる。

（他の大学院の授業科目の履修）

第13条　教授会の議を経て，研究科長が教育上有益と認めた場合は，学生が他の大学院において授業科目を履修し修得した単位は，10単位を超えない範囲で，本研究科で修得したものとして認定することができる。

２　単位の認定方法その他必要な事項は，教授会の議を経て，研究科長が定める。

（他の大学院等における研究指導）

第14条　他の大学院又は研究所等において研究指導を受けた場合の認定方法は，教授会の議を経て，研究科長が定める。

（留学）

第15条　前２条の規定は，学生が外国の大学院に留学する場合に準用する。

（成績評価）

第16条　成績は，授業科目の試験によって評価し，その結果に基づき単位を認定する。この場合の評価の区分は，A，B，C及びDとし，A，B及びCを合格とする。ただし，この区分により難いものについては，合格及び不合格とすることができる。

２　前項の規定にかかわらず，授業科目によっては平常の成績評価をもって単位の認定をすることができる。

３　授業科目の試験の日程その他必要な事項は，あらかじめ公示する。

（学位試験）

第17条　論文審査及び学位試験は，名古屋大学学位規程（平成16年度規程第104号）の定めるところにより行う。

２　学位論文の提出時期，方法その他必要な事項は，教授会の議を経て，研究科長が定め，あらかじめ公示する。

（研究の成果の審査）

第18条　特定の課題についての研究の成果の審査及び試験の合格をもって前期課程の修了要件とすることを

希望する者は，指導教員を経て，教授会に申し出るものとする。
2　審査の方法その他必要な事項は，教授会の議を経て，研究科長が定める。
（追試験）
第 19 条　病気その他やむを得ない事由により授業科目の試験又は学位試験を受けることができなかった者は，別に定めるところにより，追試験を受けることができる。
（再試験）
第 20 条　授業科目の成績評価又は学位試験で不合格となった者は，別に定めるところにより，再試験を受けることができる。
（転学者，転科者及び転専攻者の既修得単位の認定）
第 21 条　他の大学院からの転学者，他の研究科からの転科者及び転専攻者の既修得単位の認定については，教授会の議を経て，研究科長が定める。
（大学院特別聴講学生）
第 22 条　大学院特別聴講学生の入学は，教授会において選考の上，研究科長が許可する。
（科目等履修生）
第 23 条　科目等履修生の入学は，教授会において選考の上，研究科長が許可する。
2　科目等履修生の履修科目における単位の認定は，第 5 条及び第 16 条の規定を準用する。
（特別研究学生）
第 24 条　特別研究学生の入学は，教授会において選考の上，研究科長が許可する。
（大学院研究生の定員）
第 25 条　大学院研究生の定員は，50 名とする。
（大学院研究生の入学資格）
第 26 条　大学院研究生の入学資格は，次のとおりとする。
一　修士の学位を有する者
二　教授会において，前号と同等以上の学力があると認められた者
三　その他特別の理由によって教授会が適当と認めた者
2　大学院研究生の入学は，教授会において選考の上，研究科長が許可する。
（大学院研究生の在学期間）
第 27 条　大学院研究生の在学期間は，1 年とする。ただし，学年の途中において入学した場合における在学期間は，当該学年末までとする。
2　在学期間が満了しても研究のため，なお引き続き在学しようとする者は，その旨を研究科長に願い出なければならない。
3　前項の場合，研究科長は，教授会の議を経て許可する。

附　則
この規程は，平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附　則
この規程は，平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附　則
この規程は，平成 31 年 4 月 1 日から施行する。ただし，平成 30 年度以前に入学した者については，なお従前の例による。

別表第１（第５条関係）

数理情報学専攻

博士前期課程

共通科目

情報学特論Ⅰ	１単位
情報倫理Ⅰ	１単位
情報学特別講義Ⅰ	２単位
実世界データ循環システム特論Ⅰ－１	１単位
実世界データ循環システム特論Ⅰ－２	１単位
実世界データ解析学特論Ａ	１単位
実世界データ解析学特論Ｂ	１単位
実世界データ解析学特論Ｃ	１単位

主専攻科目（セミナー）

数理情報学基礎論セミナーⅠ－ａ	１単位
数理情報学基礎論セミナーⅠ－ｂ	１単位
数理情報学基礎論セミナーⅠ－ｃ	１単位
数理情報学基礎論セミナーⅠ－ｄ	１単位
数理情報学基礎論セミナーⅠ－ｅ	１単位
数理情報学基礎論セミナーⅠ－ｆ	１単位
数理情報学基礎論セミナーⅠ－ｇ	１単位
数理情報学基礎論セミナーⅠ－ｈ	１単位
数理情報学モデル論セミナーⅠ－ａ	１単位
数理情報学モデル論セミナーⅠ－ｂ	１単位
数理情報学モデル論セミナーⅠ－ｃ	１単位
数理情報学モデル論セミナーⅠ－ｄ	１単位
数理情報学モデル論セミナーⅠ－ｅ	１単位
数理情報学モデル論セミナーⅠ－ｆ	１単位
数理情報学モデル論セミナーⅠ－ｇ	１単位
数理情報学モデル論セミナーⅠ－ｈ	１単位

主専攻科目（特論）

数理論理学特論１	１単位
数理論理学特論２	１単位
離散数学特論１	１単位
離散数学特論２	１単位
量子情報特論１	１単位
量子情報特論２	１単位
数論アルゴリズム特論１	１単位
数論アルゴリズム特論２	１単位
計算可能性理論特論１	１単位
計算可能性理論特論２	１単位
最適化特論１	１単位
最適化特論２	１単位
計算量理論特論１	１単位
計算量理論特論２	１単位
数学基礎論特論１	１単位
数学基礎論特論２	１単位
数理情報学基礎論概論１	１単位
数理情報学基礎論概論２	１単位
数理情報学モデル論概論１	１単位
数理情報学モデル論概論２	１単位

主専攻科目（演習）

数理情報学演習ａ	１単位
数理情報学演習ｂ	１単位
数理情報学演習ｃ	１単位
数理情報学演習ｄ	１単位
数理情報学演習ｅ	１単位
数理情報学演習ｆ	１単位
数理情報学演習ｇ	１単位
数理情報学演習ｈ	１単位

実践的教育科目

インターンシップⅠ－Ａ	２単位
インターンシップⅠ－Ｂ	１単位
インターンシップⅠ－Ｃ	２単位
産学連携実習Ａ	２単位
産学連携実習Ｂ	４単位
グローバルチャレンジⅠ	２単位

研究指導

博士後期課程

共通科目

情報学特論Ⅱ	１単位
情報倫理Ⅱ	１単位
リーダーシップ特論	１単位
実世界データ循環システム特論Ⅱ－１	１単位
実世界データ循環システム特論Ⅱ－２	１単位

主専攻科目（セミナー）

数理情報学基礎論セミナーⅡ－ａ	１単位
数理情報学基礎論セミナーⅡ－ｂ	１単位
数理情報学基礎論セミナーⅡ－ｃ	１単位
数理情報学基礎論セミナーⅡ－ｄ	１単位
数理情報学基礎論セミナーⅡ－ｅ	１単位
数理情報学基礎論セミナーⅡ－ｆ	１単位
数理情報学基礎論セミナーⅡ－ｇ	１単位
数理情報学基礎論セミナーⅡ－ｈ	１単位
数理情報学モデル論セミナーⅡ－ａ	１単位
数理情報学モデル論セミナーⅡ－ｂ	１単位
数理情報学モデル論セミナーⅡ－ｃ	１単位
数理情報学モデル論セミナーⅡ－ｄ	１単位
数理情報学モデル論セミナーⅡ－ｅ	１単位
数理情報学モデル論セミナーⅡ－ｆ	１単位
数理情報学モデル論セミナーⅡ－ｇ	１単位
数理情報学モデル論セミナーⅡ－ｈ	１単位

実践的教育科目

インターンシップⅡ－Ａ	２単位
インターンシップⅡ－Ｂ	１単位
インターンシップⅡ－Ｃ	２単位

グローバルチャレンジⅡ－Ａ	２単位
グローバルチャレンジⅡ－Ｂ	３単位
グローバルチャレンジⅡ－Ｃ	４単位
グローバルチャレンジⅡ－Ｄ	５単位
グローバルチャレンジⅡ－Ｅ	６単位

研究指導

複雑系科学専攻

博士前期課程

共通科目

情報学特論Ⅰ	１単位
情報倫理Ⅰ	１単位
情報学特別講義Ⅰ	２単位
実世界データ循環システム特論Ⅰ－１	１単位
実世界データ循環システム特論Ⅰ－２	１単位
実世界データ解析学特論Ａ	１単位
実世界データ解析学特論Ｂ	１単位
実世界データ解析学特論Ｃ	１単位

主専攻科目（セミナー）

多自由度システム情報論セミナーⅠ－ａ	１単位
多自由度システム情報論セミナーⅠ－ｂ	１単位
多自由度システム情報論セミナーⅠ－ｃ	１単位
多自由度システム情報論セミナーⅠ－ｄ	１単位
多自由度システム情報論セミナーⅠ－ｅ	１単位
多自由度システム情報論セミナーⅠ－ｆ	１単位
多自由度システム情報論セミナーⅠ－ｇ	１単位
多自由度システム情報論セミナーⅠ－ｈ	１単位
生命情報論セミナーⅠ－ａ	１単位
生命情報論セミナーⅠ－ｂ	１単位
生命情報論セミナーⅠ－ｃ	１単位
生命情報論セミナーⅠ－ｄ	１単位
生命情報論セミナーⅠ－ｅ	１単位
生命情報論セミナーⅠ－ｆ	１単位
生命情報論セミナーⅠ－ｇ	１単位
生命情報論セミナーⅠ－ｈ	１単位
物質情報論セミナーⅠ－ａ	１単位
物質情報論セミナーⅠ－ｂ	１単位
物質情報論セミナーⅠ－ｃ	１単位
物質情報論セミナーⅠ－ｄ	１単位
物質情報論セミナーⅠ－ｅ	１単位
物質情報論セミナーⅠ－ｆ	１単位
物質情報論セミナーⅠ－ｇ	１単位
物質情報論セミナーⅠ－ｈ	１単位
創発システム論セミナーⅠ－ａ	１単位
創発システム論セミナーⅠ－ｂ	１単位
創発システム論セミナーⅠ－ｃ	１単位
創発システム論セミナーⅠ－ｄ	１単位
創発システム論セミナーⅠ－ｅ	１単位
創発システム論セミナーⅠ－ｆ	１単位
創発システム論セミナーⅠ－ｇ	１単位
創発システム論セミナーⅠ－ｈ	１単位
複雑系計算論セミナーⅠ－ａ	１単位
複雑系計算論セミナーⅠ－ｂ	１単位
複雑系計算論セミナーⅠ－ｃ	１単位
複雑系計算論セミナーⅠ－ｄ	１単位
複雑系計算論セミナーⅠ－ｅ	１単位
複雑系計算論セミナーⅠ－ｆ	１単位
複雑系計算論セミナーⅠ－ｇ	１単位
複雑系計算論セミナーⅠ－ｈ	１単位
情報可視化論セミナーⅠ－ａ	１単位
情報可視化論セミナーⅠ－ｂ	１単位
情報可視化論セミナーⅠ－ｃ	１単位
情報可視化論セミナーⅠ－ｄ	１単位
情報可視化論セミナーⅠ－ｅ	１単位
情報可視化論セミナーⅠ－ｆ	１単位
情報可視化論セミナーⅠ－ｇ	１単位
情報可視化論セミナーⅠ－ｈ	１単位

主専攻科目（特論）

複雑系科学特論１	１単位
複雑系科学特論２	１単位
多自由度システム特論Ａ	１単位
多自由度システム特論Ｂ	１単位
現代数学と力学特論	１単位
情報物理学特論	１単位
物質情報ダイナミクス特論１	１単位
物質情報ダイナミクス特論２	１単位
計算量子物質情報特論１	１単位
計算量子物質情報特論２	１単位
マイクロ・ナノ物質情報特論１	１単位
マイクロ・ナノ物質情報特論２	１単位
生物有機科学特論Ａ	１単位
生物有機科学特論Ｂ	１単位
化学情報学特論	１単位
遺伝情報システム特論１	１単位
遺伝情報システム特論２	１単位
バイオインフォマティクス特論１	１単位
バイオインフォマティクス特論２	１単位
人工生命特論１	１単位
人工生命特論２	１単位
創発コンピューティング特論１	１単位
創発コンピューティング特論２	１単位
環境情報特論１	１単位
環境情報特論２	１単位
複雑系プログラミング特論１	１単位
複雑系プログラミング特論２	１単位
複雑系計算特論１	１単位

複雑系計算特論２	１単位
生体センシング特論	１単位
感覚情報処理特論	１単位
最適設計特論１	１単位
最適設計特論２	１単位
流体移動現象特論	１単位
流体情報学特論	１単位
可視化情報特論１	１単位
可視化情報特論２	１単位
大規模複雑系計算特論１	１単位
大規模複雑系計算特論２	１単位
計算科学フロンティア連続講義	２単位
大規模並列数値計算特論	２単位

主専攻科目（演習）

複雑系科学演習ａ	１単位
複雑系科学演習ｂ	１単位
複雑系科学演習ｃ	１単位
複雑系科学演習ｄ	１単位
複雑系科学演習ｅ	１単位
複雑系科学演習ｆ	１単位
複雑系科学演習ｇ	１単位
複雑系科学演習ｈ	１単位

実践的教育科目

インターンシップⅠ－Ａ	２単位
インターンシップⅠ－Ｂ	１単位
インターンシップⅠ－Ｃ	２単位
産学連携実習Ａ	２単位
産学連携実習Ｂ	４単位
グローバルチャレンジⅠ	２単位

研究指導

博士後期課程

共通科目

情報学特論Ⅱ	１単位
情報倫理Ⅱ	１単位
リーダーシップ特論	１単位
実世界データ循環システム特論Ⅱ－１	１単位
実世界データ循環システム特論Ⅱ－２	１単位

主専攻科目（セミナー）

多自由度システム情報論セミナーⅡ－ａ	１単位
多自由度システム情報論セミナーⅡ－ｂ	１単位
多自由度システム情報論セミナーⅡ－ｃ	１単位
多自由度システム情報論セミナーⅡ－ｄ	１単位
多自由度システム情報論セミナーⅡ－ｅ	１単位
多自由度システム情報論セミナーⅡ－ｆ	１単位
多自由度システム情報論セミナーⅡ－ｇ	１単位
多自由度システム情報論セミナーⅡ－ｈ	１単位
生命情報論セミナーⅡ－ａ	１単位
生命情報論セミナーⅡ－ｂ	１単位
生命情報論セミナーⅡ－ｃ	１単位
生命情報論セミナーⅡ－ｄ	１単位
生命情報論セミナーⅡ－ｅ	１単位
生命情報論セミナーⅡ－ｆ	１単位
生命情報論セミナーⅡ－ｇ	１単位
生命情報論セミナーⅡ－ｈ	１単位
物質情報論セミナーⅡ－ａ	１単位
物質情報論セミナーⅡ－ｂ	１単位
物質情報論セミナーⅡ－ｃ	１単位
物質情報論セミナーⅡ－ｄ	１単位
物質情報論セミナーⅡ－ｅ	１単位
物質情報論セミナーⅡ－ｆ	１単位
物質情報論セミナーⅡ－ｇ	１単位
物質情報論セミナーⅡ－ｈ	１単位
創発システム論セミナーⅡ－ａ	１単位
創発システム論セミナーⅡ－ｂ	１単位
創発システム論セミナーⅡ－ｃ	１単位
創発システム論セミナーⅡ－ｄ	１単位
創発システム論セミナーⅡ－ｅ	１単位
創発システム論セミナーⅡ－ｆ	１単位
創発システム論セミナーⅡ－ｇ	１単位
創発システム論セミナーⅡ－ｈ	１単位
複雑系計算論セミナーⅡ－ａ	１単位
複雑系計算論セミナーⅡ－ｂ	１単位
複雑系計算論セミナーⅡ－ｃ	１単位
複雑系計算論セミナーⅡ－ｄ	１単位
複雑系計算論セミナーⅡ－ｅ	１単位
複雑系計算論セミナーⅡ－ｆ	１単位
複雑系計算論セミナーⅡ－ｇ	１単位
複雑系計算論セミナーⅡ－ｈ	１単位
情報可視化論セミナーⅡ－ａ	１単位
情報可視化論セミナーⅡ－ｂ	１単位
情報可視化論セミナーⅡ－ｃ	１単位
情報可視化論セミナーⅡ－ｄ	１単位
情報可視化論セミナーⅡ－ｅ	１単位
情報可視化論セミナーⅡ－ｆ	１単位
情報可視化論セミナーⅡ－ｇ	１単位
情報可視化論セミナーⅡ－ｈ	１単位

実践的教育科目

インターンシップⅡ－Ａ	２単位
インターンシップⅡ－Ｂ	１単位
インターンシップⅡ－Ｃ	２単位
グローバルチャレンジⅡ－Ａ	２単位
グローバルチャレンジⅡ－Ｂ	３単位
グローバルチャレンジⅡ－Ｃ	４単位
グローバルチャレンジⅡ－Ｄ	５単位
グローバルチャレンジⅡ－Ｅ	６単位

研究指導

社会情報学専攻

博士前期課程

共通科目

情報学特論Ⅰ	1単位
情報倫理Ⅰ	1単位
情報学特別講義Ⅰ	2単位
実世界データ循環システム特論Ⅰ－1	1単位
実世界データ循環システム特論Ⅰ－2	1単位
実世界データ解析学特論Ａ	1単位
実世界データ解析学特論Ｂ	1単位
実世界データ解析学特論Ｃ	1単位

主専攻科目（セミナー）

情報哲学セミナーⅠ－ａ	1単位
情報哲学セミナーⅠ－ｂ	1単位
情報哲学セミナーⅠ－ｃ	1単位
情報哲学セミナーⅠ－ｄ	1単位
情報哲学セミナーⅠ－ｅ	1単位
情報哲学セミナーⅠ－ｆ	1単位
情報哲学セミナーⅠ－ｇ	1単位
情報哲学セミナーⅠ－ｈ	1単位
情報社会設計論セミナーⅠ－ａ	1単位
情報社会設計論セミナーⅠ－ｂ	1単位
情報社会設計論セミナーⅠ－ｃ	1単位
情報社会設計論セミナーⅠ－ｄ	1単位
情報社会設計論セミナーⅠ－ｅ	1単位
情報社会設計論セミナーⅠ－ｆ	1単位
情報社会設計論セミナーⅠ－ｇ	1単位
情報社会設計論セミナーⅠ－ｈ	1単位
グローバルメディア論セミナーⅠ－ａ	1単位
グローバルメディア論セミナーⅠ－ｂ	1単位
グローバルメディア論セミナーⅠ－ｃ	1単位
グローバルメディア論セミナーⅠ－ｄ	1単位
グローバルメディア論セミナーⅠ－ｅ	1単位
グローバルメディア論セミナーⅠ－ｆ	1単位
グローバルメディア論セミナーⅠ－ｇ	1単位
グローバルメディア論セミナーⅠ－ｈ	1単位

主専攻科目（特論）

社会情報学Ａ	1単位
社会情報学Ｂ	1単位
科学技術社会論特論	1単位
道徳科学特論	1単位
芸術コミュニケーション論特論	1単位
社会システムデザイン論特論	1単位
オープンデータ特論	1単位
ソーシャルメディアと社会制度設計	1単位
メディア制度論特論	1単位
公共性変容特論	1単位
グローバル・コミュニケーション特論	1単位
アジア・コミュニケーション特論	1単位
メディア・リテラシー特論	1単位
メディア・コンテンツ制作特論	1単位
文化情報学特論	1単位

主専攻科目（演習）

社会情報学演習ａ	1単位
社会情報学演習ｂ	1単位
社会情報学演習ｃ	1単位
社会情報学演習ｄ	1単位
社会情報学演習ｅ	1単位
社会情報学演習ｆ	1単位
社会情報学演習ｇ	1単位
社会情報学演習ｈ	1単位

実践的教育科目

インターンシップⅠ－Ａ	2単位
インターンシップⅠ－Ｂ	1単位
インターンシップⅠ－Ｃ	2単位
産学連携実習Ａ	2単位
産学連携実習Ｂ	4単位
グローバルチャレンジⅠ	2単位

研究指導

博士後期課程

共通科目

情報学特論Ⅱ	1単位
情報倫理Ⅱ	1単位
リーダーシップ特論	1単位
実世界データ循環システム特論Ⅱ－1	1単位
実世界データ循環システム特論Ⅱ－2	1単位

主専攻科目（セミナー）

情報哲学セミナーⅡ－ａ	1単位
情報哲学セミナーⅡ－ｂ	1単位
情報哲学セミナーⅡ－ｃ	1単位
情報哲学セミナーⅡ－ｄ	1単位
情報哲学セミナーⅡ－ｅ	1単位
情報哲学セミナーⅡ－ｆ	1単位
情報哲学セミナーⅡ－ｇ	1単位
情報哲学セミナーⅡ－ｈ	1単位
情報社会設計論セミナーⅡ－ａ	1単位
情報社会設計論セミナーⅡ－ｂ	1単位
情報社会設計論セミナーⅡ－ｃ	1単位
情報社会設計論セミナーⅡ－ｄ	1単位
情報社会設計論セミナーⅡ－ｅ	1単位
情報社会設計論セミナーⅡ－ｆ	1単位
情報社会設計論セミナーⅡ－ｇ	1単位
情報社会設計論セミナーⅡ－ｈ	1単位
グローバルメディア論セミナーⅡ－ａ	1単位
グローバルメディア論セミナーⅡ－ｂ	1単位

グローバルメディア論セミナーII－c	1単位
グローバルメディア論セミナーII－d	1単位
グローバルメディア論セミナーII－e	1単位
グローバルメディア論セミナーII－f	1単位
グローバルメディア論セミナーII－g	1単位
グローバルメディア論セミナーII－h	1単位

実践的教育科目

インターンシップII－A	2単位
インターンシップII－B	1単位
インターンシップII－C	2単位
グローバルチャレンジII－A	2単位
グローバルチャレンジII－B	3単位
グローバルチャレンジII－C	4単位
グローバルチャレンジII－D	5単位
グローバルチャレンジII－E	6単位

研究指導

心理・認知科学専攻

博士前期課程

共通科目

情報学特論I	1単位
情報倫理I	1単位
情報学特別講義I	2単位
実世界データ循環システム特論I－1	1単位
実世界データ循環システム特論I－2	1単位
実世界データ解析学特論A	1単位
実世界データ解析学特論B	1単位
実世界データ解析学特論C	1単位

主専攻科目（セミナー）

認知科学セミナーI－a	1単位
認知科学セミナーI－b	1単位
認知科学セミナーI－c	1単位
認知科学セミナーI－d	1単位
認知科学セミナーI－e	1単位
認知科学セミナーI－f	1単位
認知科学セミナーI－g	1単位
認知科学セミナーI－h	1単位
心理学セミナーI－a	1単位
心理学セミナーI－b	1単位
心理学セミナーI－c	1単位
心理学セミナーI－d	1単位
心理学セミナーI－e	1単位
心理学セミナーI－f	1単位
心理学セミナーI－g	1単位
心理学セミナーI－h	1単位

主専攻科目（特論）

情報意味論	1単位
認知モデル論	1単位
認知行動論	1単位
認知心理学A	1単位
認知心理学B	1単位
社会的認知論A	1単位
社会的認知論B	1単位
社会・感情過程論	1単位
認知神経科学A	1単位
認知神経科学B	1単位
知覚・学習機構論A	1単位
知覚・学習機構論B	1単位

主専攻科目（演習）

心理・認知科学演習a	1単位
心理・認知科学演習b	1単位
心理・認知科学演習c	1単位
心理・認知科学演習d	1単位
心理・認知科学演習e	1単位
心理・認知科学演習f	1単位
心理・認知科学演習g	1単位
心理・認知科学演習h	1単位

実践的教育科目

インターンシップI－A	2単位
インターンシップI－B	1単位
インターンシップI－C	2単位
産学連携実習A	2単位
産学連携実習B	4単位
グローバルチャレンジI	2単位

研究指導

博士後期課程

共通科目

情報学特論II	1単位
情報倫理II	1単位
リーダーシップ特論	1単位
実世界データ循環システム特論II－1	1単位
実世界データ循環システム特論II－2	1単位

主専攻科目（セミナー）

認知科学セミナーII－a	1単位
認知科学セミナーII－b	1単位
認知科学セミナーII－c	1単位
認知科学セミナーII－d	1単位
認知科学セミナーII－e	1単位
認知科学セミナーII－f	1単位
認知科学セミナーII－g	1単位
認知科学セミナーII－h	1単位
心理学セミナーII－a	1単位
心理学セミナーII－b	1単位
心理学セミナーII－c	1単位
心理学セミナーII－d	1単位

心理学セミナーII－e　1単位
心理学セミナーII－f　1単位
心理学セミナーII－g　1単位
心理学セミナーII－h　1単位

実践的教育科目

インターンシップII－A　2単位
インターンシップII－B　1単位
インターンシップII－C　2単位
グローバルチャレンジII－A　2単位
グローバルチャレンジII－B　3単位
グローバルチャレンジII－C　4単位
グローバルチャレンジII－D　5単位
グローバルチャレンジII－E　6単位

研究指導

情報システム学専攻

博士前期課程

共通科目

情報学特論I　1単位
情報倫理I　1単位
情報学特別講義I　2単位
実世界データ循環システム特論I－1　1単位
実世界データ循環システム特論I－2　1単位
実世界データ解析学特論A　1単位
実世界データ解析学特論B　1単位
実世界データ解析学特論C　1単位

主専攻科目（セミナー）

計算論セミナーI－a　1単位
計算論セミナーI－b　1単位
計算論セミナーI－c　1単位
計算論セミナーI－d　1単位
計算論セミナーI－e　1単位
計算論セミナーI－f　1単位
計算論セミナーI－g　1単位
計算論セミナーI－h　1単位
情報プラットフォーム論セミナーI－a　1単位
情報プラットフォーム論セミナーI－b　1単位
情報プラットフォーム論セミナーI－c　1単位
情報プラットフォーム論セミナーI－d　1単位
情報プラットフォーム論セミナーI－e　1単位
情報プラットフォーム論セミナーI－f　1単位
情報プラットフォーム論セミナーI－g　1単位
情報プラットフォーム論セミナーI－h　1単位
ソフトウェア論セミナーI－a　1単位
ソフトウェア論セミナーI－b　1単位
ソフトウェア論セミナーI－c　1単位
ソフトウェア論セミナーI－d　1単位
ソフトウェア論セミナーI－e　1単位
ソフトウェア論セミナーI－f　1単位
ソフトウェア論セミナーI－g　1単位
ソフトウェア論セミナーI－h　1単位
情報ネットワークシステム論セミナーI－a　1単位
情報ネットワークシステム論セミナーI－b　1単位
情報ネットワークシステム論セミナーI－c　1単位
情報ネットワークシステム論セミナーI－d　1単位
情報ネットワークシステム論セミナーI－e　1単位
情報ネットワークシステム論セミナーI－f　1単位
情報ネットワークシステム論セミナーI－g　1単位
情報ネットワークシステム論セミナーI－h　1単位

主専攻科目（特論）

情報セキュリティ特論1　1単位
情報セキュリティ特論2　1単位
システムプログラム特論A　1単位
システムプログラム特論B　1単位
情報ネットワーク特論A　1単位
情報ネットワーク特論B　1単位
プログラミング言語特論1　1単位
プログラミング言語特論2　1単位
ソフトウェア基礎論特論A　1単位
ソフトウェア基礎論特論B　1単位
ソフトウェア工学特論A　1単位
ソフトウェア工学特論B　1単位
情報システム開発実践特論1　1単位
情報システム開発実践特論2　1単位
計算機アーキテクチャ特論A　1単位
計算機アーキテクチャ特論B　1単位
大規模計算特論A　1単位
大規模計算特論B　1単位
並行分散計算特論1　1単位
並行分散計算特論2　1単位
オートマトン・形式言語特論　1単位
計算モデル特論　1単位
計算論基礎特論A　1単位
計算論基礎特論B　1単位
知能表現・推論特論1　1単位
知能表現・推論特論2　1単位
暗号学特論　1単位

主専攻科目（演習）

情報システム学演習a　1単位
情報システム学演習b　1単位
情報システム学演習c　1単位
情報システム学演習d　1単位
情報システム学演習e　1単位
情報システム学演習f　1単位
情報システム学演習g　1単位
情報システム学演習h　1単位

実践的教育科目

インターンシップⅠ－Ａ	２単位
インターンシップⅠ－Ｂ	１単位
インターンシップⅠ－Ｃ	２単位
産学連携実習Ａ	２単位
産学連携実習Ｂ	４単位
グローバルチャレンジⅠ	２単位

研究指導

博士後期課程

共通科目

情報学特論Ⅱ	１単位
情報倫理Ⅱ	１単位
リーダーシップ特論	１単位
実世界データ循環システム特論Ⅱ－１	１単位
実世界データ循環システム特論Ⅱ－２	１単位

主専攻科目（セミナー）

計算論セミナーⅡ－ａ	１単位
計算論セミナーⅡ－ｂ	１単位
計算論セミナーⅡ－ｃ	１単位
計算論セミナーⅡ－ｄ	１単位
計算論セミナーⅡ－ｅ	１単位
計算論セミナーⅡ－ｆ	１単位
計算論セミナーⅡ－ｇ	１単位
計算論セミナーⅡ－ｈ	１単位
情報プラットフォーム論セミナーⅡ－ａ	１単位
情報プラットフォーム論セミナーⅡ－ｂ	１単位
情報プラットフォーム論セミナーⅡ－ｃ	１単位
情報プラットフォーム論セミナーⅡ－ｄ	１単位
情報プラットフォーム論セミナーⅡ－ｅ	１単位
情報プラットフォーム論セミナーⅡ－ｆ	１単位
情報プラットフォーム論セミナーⅡ－ｇ	１単位
情報プラットフォーム論セミナーⅡ－ｈ	１単位
ソフトウェア論セミナーⅡ－ａ	１単位
ソフトウェア論セミナーⅡ－ｂ	１単位
ソフトウェア論セミナーⅡ－ｃ	１単位
ソフトウェア論セミナーⅡ－ｄ	１単位
ソフトウェア論セミナーⅡ－ｅ	１単位
ソフトウェア論セミナーⅡ－ｆ	１単位
ソフトウェア論セミナーⅡ－ｇ	１単位
ソフトウェア論セミナーⅡ－ｈ	１単位
情報ネットワークシステム論セミナーⅡ－ａ	１単位
情報ネットワークシステム論セミナーⅡ－ｂ	１単位
情報ネットワークシステム論セミナーⅡ－ｃ	１単位
情報ネットワークシステム論セミナーⅡ－ｄ	１単位
情報ネットワークシステム論セミナーⅡ－ｅ	１単位
情報ネットワークシステム論セミナーⅡ－ｆ	１単位
情報ネットワークシステム論セミナーⅡ－ｇ	１単位
情報ネットワークシステム論セミナーⅡ－ｈ	１単位

実践的教育科目

インターンシップⅡ－Ａ	２単位
インターンシップⅡ－Ｂ	１単位
インターンシップⅡ－Ｃ	２単位
グローバルチャレンジⅡ－Ａ	２単位
グローバルチャレンジⅡ－Ｂ	３単位
グローバルチャレンジⅡ－Ｃ	４単位
グローバルチャレンジⅡ－Ｄ	５単位
グローバルチャレンジⅡ－Ｅ	６単位

研究指導

知能システム学専攻

博士前期課程

共通科目

情報学特論Ⅰ	１単位
情報倫理Ⅰ	１単位
情報学特別講義Ⅰ	２単位
実世界データ循環システム特論Ⅰ－１	１単位
実世界データ循環システム特論Ⅰ－２	１単位
実世界データ解析学特論Ａ	１単位
実世界データ解析学特論Ｂ	１単位
実世界データ解析学特論Ｃ	１単位

主専攻科目（セミナー）

基盤知能情報学セミナーⅠ－ａ	１単位
基盤知能情報学セミナーⅠ－ｂ	１単位
基盤知能情報学セミナーⅠ－ｃ	１単位
基盤知能情報学セミナーⅠ－ｄ	１単位
基盤知能情報学セミナーⅠ－ｅ	１単位
基盤知能情報学セミナーⅠ－ｆ	１単位
基盤知能情報学セミナーⅠ－ｇ	１単位
基盤知能情報学セミナーⅠ－ｈ	１単位
システム知能情報学セミナーⅠ－ａ	１単位
システム知能情報学セミナーⅠ－ｂ	１単位
システム知能情報学セミナーⅠ－ｃ	１単位
システム知能情報学セミナーⅠ－ｄ	１単位
システム知能情報学セミナーⅠ－ｅ	１単位
システム知能情報学セミナーⅠ－ｆ	１単位
システム知能情報学セミナーⅠ－ｇ	１単位
システム知能情報学セミナーⅠ－ｈ	１単位
フィールド知能情報学セミナーⅠ－ａ	１単位
フィールド知能情報学セミナーⅠ－ｂ	１単位
フィールド知能情報学セミナーⅠ－ｃ	１単位
フィールド知能情報学セミナーⅠ－ｄ	１単位
フィールド知能情報学セミナーⅠ－ｅ	１単位
フィールド知能情報学セミナーⅠ－ｆ	１単位
フィールド知能情報学セミナーⅠ－ｇ	１単位
フィールド知能情報学セミナーⅠ－ｈ	１単位

主専攻科目（特論）

データアナリティクス１	１単位
データアナリティクス２	１単位
画像映像情報処理１	１単位
画像映像情報処理２	１単位
音声行動情報処理１	１単位
音声行動情報処理２	１単位
自然言語処理１	１単位
自然言語処理２	１単位
人工知能システム１	１単位
人工知能システム２	１単位
マルチメディア情報処理１	１単位
マルチメディア情報処理２	１単位
知的インタフェース１	１単位
知的インタフェース２	１単位
知能ロボティクス１	１単位
知能ロボティクス２	１単位
知能システム A1	１単位
知能システム A2	１単位
知能システム B1	１単位
知能システム B2	１単位

主専攻科目（演習）

知能システム学演習ａ	１単位
知能システム学演習ｂ	１単位
知能システム学演習ｃ	１単位
知能システム学演習ｄ	１単位
知能システム学演習ｅ	１単位
知能システム学演習ｆ	１単位
知能システム学演習ｇ	１単位
知能システム学演習ｈ	１単位
データ処理ツール演習１	１単位
データ処理ツール演習２	１単位
数理科学基礎演習１	１単位
数理科学基礎演習２	１単位

実践的教育科目

インターンシップⅠ－Ａ	２単位
インターンシップⅠ－Ｂ	１単位
インターンシップⅠ－Ｃ	２単位
産学連携実習Ａ	２単位
産学連携実習Ｂ	４単位
グローバルチャレンジⅠ	２単位

研究指導

博士後期課程

共通科目

情報学特論Ⅱ	１単位
情報倫理Ⅱ	１単位
リーダーシップ特論	１単位
実世界データ循環システム特論Ⅱ－１	１単位
実世界データ循環システム特論Ⅱ－２	１単位

主専攻科目（セミナー）

基盤知能情報学セミナーⅡ－ａ	１単位
基盤知能情報学セミナーⅡ－ｂ	１単位
基盤知能情報学セミナーⅡ－ｃ	１単位
基盤知能情報学セミナーⅡ－ｄ	１単位
基盤知能情報学セミナーⅡ－ｅ	１単位
基盤知能情報学セミナーⅡ－ｆ	１単位
基盤知能情報学セミナーⅡ－ｇ	１単位
基盤知能情報学セミナーⅡ－ｈ	１単位
システム知能情報学セミナーⅡ－ａ	１単位
システム知能情報学セミナーⅡ－ｂ	１単位
システム知能情報学セミナーⅡ－ｃ	１単位
システム知能情報学セミナーⅡ－ｄ	１単位
システム知能情報学セミナーⅡ－ｅ	１単位
システム知能情報学セミナーⅡ－ｆ	１単位
システム知能情報学セミナーⅡ－ｇ	１単位
システム知能情報学セミナーⅡ－ｈ	１単位
フィールド知能情報学セミナーⅡ－ａ	１単位
フィールド知能情報学セミナーⅡ－ｂ	１単位
フィールド知能情報学セミナーⅡ－ｃ	１単位
フィールド知能情報学セミナーⅡ－ｄ	１単位
フィールド知能情報学セミナーⅡ－ｅ	１単位
フィールド知能情報学セミナーⅡ－ｆ	１単位
フィールド知能情報学セミナーⅡ－ｇ	１単位
フィールド知能情報学セミナーⅡ－ｈ	１単位

実践的教育科目

インターンシップⅡ－Ａ	２単位
インターンシップⅡ－Ｂ	１単位
インターンシップⅡ－Ｃ	２単位
グローバルチャレンジⅡ－Ａ	２単位
グローバルチャレンジⅡ－Ｂ	３単位
グローバルチャレンジⅡ－Ｃ	４単位
グローバルチャレンジⅡ－Ｄ	５単位
グローバルチャレンジⅡ－Ｅ	６単位

研究指導

別表第２（第７条関係）

各専攻履修基準

１　博士前期課程

博士前期課程は，次の表に定める各専攻の履修基準により合計 30 単位以上を修得し，かつ，教授会の議を経て研究科長が定める研究指導を受けなければならない。

○数理情報学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	1.　共通科目の中から２単位以上 2.　主専攻科目の中から， 一　セミナーを６単位以上 二　特論を 14 単位以上（ただし，数理情報学基礎論講座に所属する学生は，数理情報学基礎論概論１及び数理情報学基礎論概論２を，数理情報学モデル論講座に所属する学生は，数理情報学モデル論概論１及び数理情報学モデル論概論２を含むこと。また，他専攻の特論を６単位まで含めることができる。） 三　演習を４単位以上 3.　2. の二には、単位互換協定を結ぶ他の大学院の単位互換の単位を含めることができる。 4.　実践的教育科目の単位は，主専攻科目の演習の単位に含めることができる。 5.　他研究科の講義及びセミナーは，４単位を上限として修了要件に含めることができる。
研究指導	専攻において定めるところにより，指導教員の指示による。

○複雑系科学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	1.　共通科目の中から２単位以上 2.　主専攻科目の中から， 一　セミナーを６単位以上 二　特論を 12 単位以上（他専攻の特論を６単位まで含めることができる。） 三　演習を６単位以上 3.　実践的教育科目の単位は，主専攻科目の演習の単位に含めることができる。 4.　他研究科の講義及びセミナーは，４単位を上限として修了要件に含めることができる。
研究指導	専攻において定めるところにより，指導教員の指示による。

○社会情報学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	1.　共通科目の中から２単位以上 2.　主専攻科目の中から， 一　セミナーを６単位以上 二　特論を 12 単位以上（他専攻の特論を６単位まで含めることができる。） 三　演習を６単位以上 3.　実践的教育科目の単位は，主専攻科目の演習の単位に含めることができる。 4.　他研究科の講義及びセミナーは，４単位を上限として修了要件に含めることができる。
研究指導	専攻において定めるところにより，指導教員の指示による。

○心理・認知科学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	1.　共通科目の中から 2 単位以上 2.　主専攻科目の中から， 一　セミナーを 6 単位以上 二　特論を 12 単位以上（他専攻の特論を 6 単位まで含めることができる。） 三　演習を 4 単位以上 3.　実践的教育科目の単位は，主専攻科目の演習の単位に含めることができる。 4.　他研究科の講義及びセミナーは，4 単位を上限として修了要件に含めることができる。
研究指導	専攻において定めるところにより，指導教員の指示による。

○情報システム学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	1.　共通科目の中から 2 単位以上 2.　主専攻科目の中から， 一　セミナーを 6 単位以上 二　特論を 14 単位以上（ただし，計算論基礎特論 A，計算論基礎特論 B，システムプログラム特論 A，システムプログラム特論 B，計算機アーキテクチャ特論 A，計算機アーキテクチャ特論 B，ソフトウェア基礎論特論 A，ソフトウェア基礎論特論 B，ソフトウェア工学特論 A，ソフトウェア工学特論 B，大規模計算特論 A，大規模計算特論 B, 情報ネットワーク特論 A 又は情報ネットワーク特論 B から 8 単位以上を含むこと。また，他専攻の特論を 6 単位まで含めることができる。） 三　演習を 4 単位 (4 単位を超えて取得した演習の単位は，随意科目の単位として扱う。) 3.　実践的教育科目の単位は，主専攻科目の演習の単位に含めることができる。 4.　他研究科の講義及びセミナーは，4 単位を上限として修了要件に含めることができる。
研究指導	専攻において定めるところにより，指導教員の指示による。

○知能システム学専攻

科目区分	条件等
共通科目 主専攻科目 実践的教育科目	1.　共通科目の中から 2 単位以上 2.　主専攻科目の中から， 一　セミナーを 6 単位以上 二　特論を 14 単位以上（他専攻の特論を 6 単位まで含めることができる。） 三　演習を 4 単位以上 3.　実践的教育科目の単位は，主専攻科目の演習の単位に含めることができる。 4.　他研究科の講義及びセミナーは，4 単位を上限として修了要件に含めることができる。
研究指導	専攻において定めるところにより，指導教員の指示による。

2　博士後期課程

博士後期課程の主専攻科目（セミナー）から 6 単位以上を含む合計 8 単位以上を修得し，かつ，教授会の議を経て研究科長が定める研究指導を受けなければならない。

○名古屋大学学位規程

（平成16年4月　1日規程第104号）

改正　平成16年　7月20日規程第285号　平成18年　1月23日規程第　49号
平成18年　2月27日通則第　6号　平成20年　3月24日規程第109号
平成24年　3月21日規程第　91号　平成24年10月16日規程第　39号
平成25年　9月17日規程第　39号　平成26年　3月　4日規程第　92号
平成27年　9月15日規程第　57号　平成28年　2月15日規程第108号
平成29年　2月21日規程第　91号　平成29年　4月18日規程第　4号

（学位の種類）

第１条　名古屋大学（以下「本学」という。）において授与する学位は，学士，修士，博士及び専門職とする。

（学位の専攻分野等の名称）

第２条　名古屋大学通則（平成16年度通則第１号）第32条第１項の規定により卒業を認定された者に学士の学位を授与し，その学位記には，学部又は学科の区分に従い，次の専攻分野の名称を付記するものとする。

学部	学科名	学士
文学部		文学
教育学部		教育学
法学部		法学
経済学部		経済学
情報学部		情報学
理学部		理学
医学部	医学科	医学
	保健学科	看護学　保健学 リハビリテーション学
工学部		工学
農学部		農学

2　名古屋大学大学院通則（平成16年度通則第２号。以下「大学院通則」という。）第34条第１項の定めるところにより本学大学院の課程を修了した者に修士，博士又は専門職の学位を授与し，その学位記には，研究科の区分に従い，次の専攻分野の名称を付記するものとする。

研究科名	修士	博士	専門職
人文学研究科	文学	文学	
	歴史学	歴史学	
	学術	学術	
教育発達科学研究科	教育学	教育学	
	教育	教育	
	心理学	心理学	
	臨床心理学		
法学研究科	法学	法学	法務博士（専門職）
	比較法学	比較法学	
	現代法学	現代法学	
経済学研究科	経済学	経済学	
	経営管理学		
情報学研究科	情報学	情報学	
	学術	学術	
理学研究科	理学	理学	
医学系研究科	医科学	医学	
	医療行政学		
	公衆衛生学	看護学	
	看護学	医療技術学	
	医療技術学	リハビリテーション療法学	
	リハビリテーション療法学		
工学研究科	工学	工学	
生命農学研究科	農学	農学	
国際開発研究科	国際開発学	国際開発学	
多元数理科学研究科	数理学	数理学	
環境学研究科	環境学	環境学	
	社会学	社会学	
	地理学	地理学	
	法学	法学	
	経済学	経済学	
	理学	理学	
	工学	工学	
	建築学	建築学	
創薬科学研究科	創薬科学	創薬科学	

3　前２項に規定する専攻分野の名称の英文表記については，別に定める。

（学位授与の要件）

第３条　前条第２項に定めるもののほか，本学大学院研究科に論文を提出して，博士論文の審査及び試験に合格し，かつ，博士課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認された者にも博士の学位を授与することができる。

（課程による者の論文等の提出）

第４条　本学大学院の課程による論文（前期課程及び医学系研究科の修士課程にあっては特定の課題についての研究の成果を含む。）は，各研究科で定める授業科目を履修し，所定の単位を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，当該研究科長に提出するものとする。

（課程によらない者の学位授与の申請）

第５条　第３条により学位を得ようとする者は，論文に履歴書及び学位審査手数料を添え，学位の種類を指定した願書を当該研究科教授会又は当該研究科教授会が学位審査を委任している委員会等（以下「研究科教授会等」という。）の承認を得て，総長に提出するものとする。

（論文等）

第６条　主論文は１編とし，博士論文にあってはその要旨を添付して提出するものとする。この場合，必要により，参考論文を添付することができる。

2　特定の課題についての研究の成果は，各研究科で定めるところにより提出するものとする。

第７条　提出した論文（前期課程及び医学系研究科の修士課程にあっては特定の課題についての研究の成果を含む。）及び納入した審査手数料は，返納しない。

（学位審査委員会）

第８条　博士論文を受理したときは，研究科教授会等は，教授２名以上を含む審査委員を選出し，学位審査委員会を組織する。ただし，国際連携専攻における博士論文を受理したときは，当該国際連携専攻を設ける研究科と連携して教育研究を実施する外国の大学院（以下「連携外国大学院」という。）と協議の上，教授２名以上を含む審査委員を選出し，連携外国大学院の教授その他の者を加えて，連携外国大学院と合同の学位審査委員会を組織する。

2　修士論文若しくは特定の課題についての研究の成果を受理したとき，又は第11条に規定する博士論文研究基礎力審査を行うときは，研究科教授会等は，教授，准教授又は講師２名以上を含む審査委員を選出し，学位審査委員会を組織する。ただし，当該委員会の委員には少なくとも教授を１名含まなければならない。

3　前２項の場合において，必要あるときは，本学の他の研究科若しくは研究所，他の大学院若しくは研究所等又は外国の大学院若しくは研究所等の教授その他の者を学位審査委員会に委員として加えることができる。

4　学位審査委員会は，論文及び特定の課題についての研究の成果の審査並びに試験並びに第11条に規定する博士論文研究基礎力審査に関する事項を担当する。

（審査期間）

第９条　博士論文は，受理した後，１年以内に審査を終了するものとする。ただし，特別の事情があるときは，研究科教授会等の議決を経て，審査期間を延長することができる。

2　修士論文又は特定の課題についての研究の成果は，在学中に提出させ，審査を終了するものとする。

3　第11条に規定する博士論文研究基礎力審査は，在学中に行い，審査を終了するものとする。

（試験及び学力審査）

第10条　試験は，論文（前期課程及び医学系研究科の修士課程にあっては特定の課題についての研究の成果を含む。）の審査終了後に，筆記又は口頭で行う。

2　博士の試験は，論文の内容及びこれに関連ある専門分野の学識及び研究者として自立して研究活動を行い，又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力について，修士の試験は，論文又は特定の課題についての研究の成果の内容を中心として学識及び研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力について，審査するものとする。

3　第３条による論文提出者に対しては，前項のほか，更に専攻学術に関し，大学院博士課程を修了した者と同等以上の学力を有するか否かについて，審査するものとする。

第11条　大学院通則第31条の２に規定する博士論文研究基礎力審査は，前期課程又は医学系研究科の修士課程において修得し，又は涵養すべき専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養について筆記等による試験を行うとともに，博士論文に係る研究を主体的に遂行するために必要な能力について研究報告の提出及び口頭試問等による審査を行うものとする。

（審査結果の報告及び学位授与の議決）

第12条　学位審査委員会は，審査の結果を研究科教授会等に報告する。ただし，博士の学位試験については，その要旨を書面で報告しなければならない。

2　研究科教授会等は，前項の報告に基づいて合否を審議決定する。

3　学位審査の研究科教授会等における議決の方法は，各研究科が定める。ただし，その開会定足数は，当該研究科教授会委員全員（海外旅行中又は休職中の者を除く。）の３分の２以上であることを要し，合格の決定は，無記名投票により，出席者の３分の２以上の賛成を必要とする。

（合格者の報告）

第13条　研究科長は，学位試験に合格した者を合格決定の日から20日以内に，総長に報告しなければならない。この場合，博士の学位試験に合格した者については，論文の要旨，論文審査及び試験の結果の要旨並びに履歴書各１通を提出するものとする。

（学位の授与及び学位記の様式）

第14条　学部の定める卒業の資格を認定された者には，当該学部長の報告に基づき，又は学位試験に合格した者には，当該研究科長の報告に基づき，総長は，所定の学位を授与する。

2　学位記は，別記様式1-1から別記様式6-2までに定めるとおりとする。ただし，別記様式3-3（課程修了によるもの（国際連携専攻））における和文に併記する英文等及び大学長名，大学長印等については，連携外国大学院との協議により記載することとする。

（論文要旨等の公表）

第15条　本学は，博士の学位を授与したときは，当該博士の学位を授与した日から３月以内に，当該博士の学位の授与に係る論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

（学位論文の公表）

第16条　博士の学位を授与された者は，当該博士の学位を授与された日から１年以内に，当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表するものとする。ただし，当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは，この限りでない。

2　前項の規定にかかわらず，博士の学位を授与された者は，やむを得ない事由がある場合には，当該博士の学

位を授与した研究科の承認を受け，当該博士の学位の授与に係る論文の全文に代えて，その内容を要約したものを公表することができる。この場合において，当該研究科は，その論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。

3　博士の学位を授与された者が行う前2項の規定による公表は，当該博士の学位を授与した研究科の協力を得て，附属図書館が実施する名古屋大学学術機関リポジトリを活用し，インターネットの利用により行うものとする。

4　学位授与後に公表する場合は，名古屋大学審査学位論文と明記することを要する。

（学位授与の取消し）

第17条　修士，博士又は専門職の学位を授与された者で，次の各号のいずれかに該当するときは，教育研究評議会の議を経て，授与した学位を取り消すものとする。

一　不正の方法により学位を受けた事実が判明したとき。

二　修士，博士又は専門職の学位を授与された者に，その名誉を汚辱する行為があったとき。

（学位審査手数料）

第18条　第5条の学位審査手数料の額は，名古屋大学授業料等の料金に関する規程（平成16年度規程第87号）に規定する額とする。

（雑則）

第19条　この規程に定めるもののほか，論文の審査及び試験に関し必要な事項は，各研究科において定める。

附　則

この規程は，平成16年4月1日から施行する。

附　則（平成16年7月20日規程第285号）

1　この規程は，平成16年10月1日から施行する。

2　法学研究科の専攻分野の名称は，改正後の第2条第2項の規定にかかわらず，平成16年4月以前に入学し，当該専攻分野に係る課程を履修している者については，なお従前の例による。

附　則（平成18年1月23日規程第49号）

1　この規程は，平成18年3月27日から施行する。ただし，改正後の第2条第2項の規定は，平成18年4月1日から施行する。

2　国際開発研究科の専攻分野の名称は，改正後の第2条第2項の規定にかかわらず，平成17年度以前に入学し，当該専攻分野に係る課程を履修しているものについては，なお従前の例による。

附　則（平成18年2月27日通則第6号）

この規程は，平成18年4月1日から施行する。

附　則（平成20年3月24日規程第109号）

この規程は，平成20年4月1日から施行する。

附　則（平成24年3月21日規程第91号）

この規程は，平成24年4月1日から施行する。

附　則（平成24年10月16日規程第39号）

この規程は，平成24年10月16日から施行し，平成24年4月1日から適用する。

附　則（平成25年9月17日規程第39号）

1　この規程は，平成25年9月17日から施行し，平成25年4月1日から適用する。

2　前項の規定にかかわらず，改正後の第15条の規定は，平成25年4月1日以後に博士の学位を授与した場合について適用し，同日前に博士の学位を授与した場合については，なお従前の例による。

3　第1項の規定にかかわらず，改正後の第16条の規定は，平成25年4月1日以後に博士の学位を授与された者について適用し，同日前に博士の学位を授与された者については，なお従前の例による。

附　則（平成26年3月4日規程第92号）

この規程は，平成26年4月1日から施行する。

附　則（平成27年9月15日規程第57号）

この規程は，平成27年10月1日から施行する。

附　則（平成28年2月15日規程第108号）

この規程は，平成28年4月1日から施行する。ただし，改正後の第8条第1項の規定にかかわらず，平成27年度以前に受理した博士論文に係る学位審査委員会の組織については，なお従前の例による。

附　則（平成29年2月21日規程第91号）

1　この規程は，平成29年4月1日から施行する。

2　情報文化学部の専攻分野の名称は，改正後の第2条第1項の規定にかかわらず，改正前の当該専攻分野に係る卒業の資格を認定された者については，なお従前の例による。

3　文学研究科，国際開発研究科，国際言語文化研究科，環境学研究科及び情報科学研究科の専攻分野の名称は，改正後の第2条第2項の規定にかかわらず，改正前の当該専攻分野に係る課程を修了した者については，なお従前の例による。

附　則（平成29年4月18日規程第4号）

この規程は，平成29年5月1日から施行する。ただし，改正後の第8条第2項の規定にかかわらず，施行日以前に受理した修士論文又は特定の課題についての研究の成果に係る学位審査委員会の組織については，なお従前の例による。

参　考

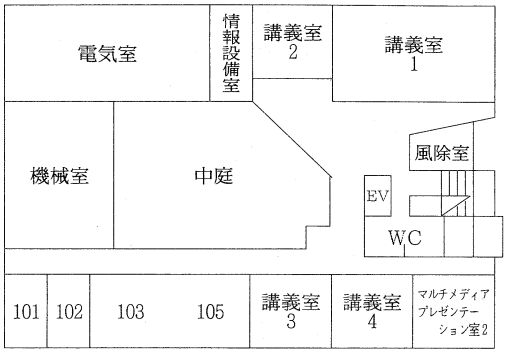
名古屋大学授業料等の料金に関する規程に定める額

学位審査手数料	57,000 円

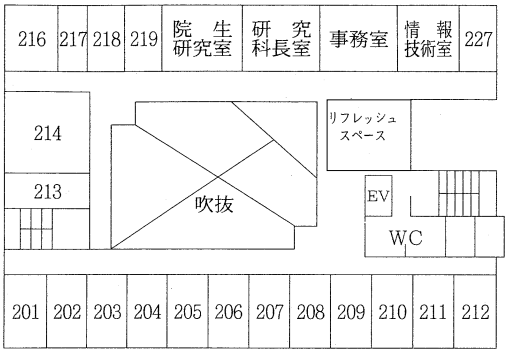
別記様式 1-1
［別紙参照］
別記様式 1-2（英文）
［別紙参照］
別記様式 2-1（修士論文の審査によるもの）
［別紙参照］
別記様式 2-2（修士論文の審査によるもの（英文））
［別紙参照］
別記様式 3-1（課程修了によるもの）
［別紙参照］
別記様式 3-2（課程修了によるもの（リーディングプログラム））
［別紙参照］
別記様式 3-3（課程修了によるもの（国際連携専攻））
［別紙参照］
別記様式 3-4（課程修了によるもの（英文））
［別紙参照］
別記様式 3-5（課程修了によるもの（リーディングプログラム）（英文））
［別紙参照］
別記様式 4-1（研究成果の審査及び博士論文研究基礎力審査によるもの）
［別紙参照］
別記様式 4-2（研究成果の審査及び博士論文研究基礎力審査によるもの（英文）
［別紙参照］
別記様式 5-1（法科大学院専門職学位課程修了によるもの）
［別紙参照］
別記様式 5-2（法科大学院専門職学位課程修了によるもの（英文））
［別紙参照］
別記様式 6-1（論文提出によるもの）
［別紙参照］
別記様式 6-2（論文提出によるもの（英文））
［別紙参照］

情報学研究科棟

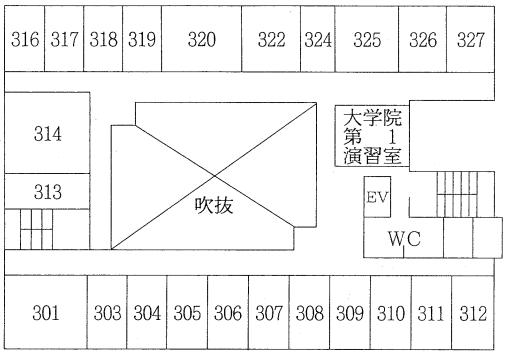
1F



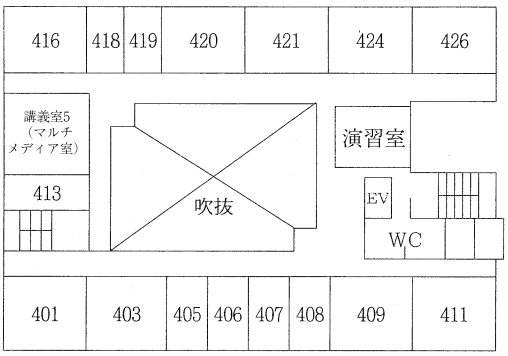
2F



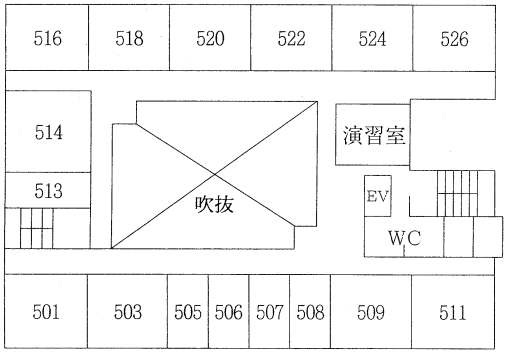
3F



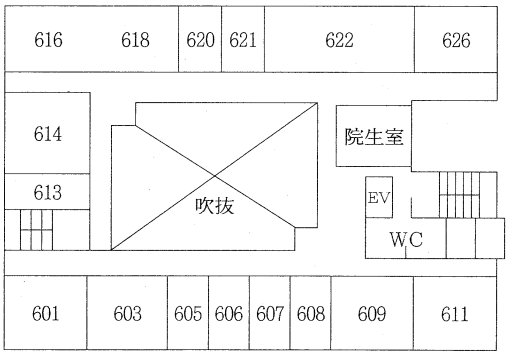
4F



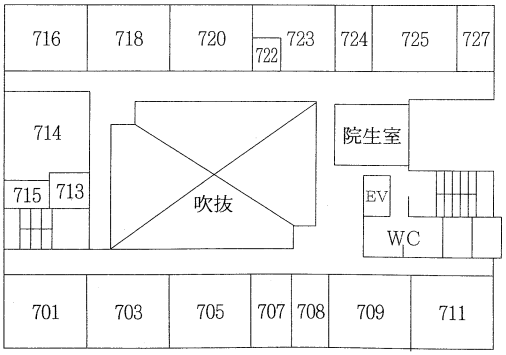
5F



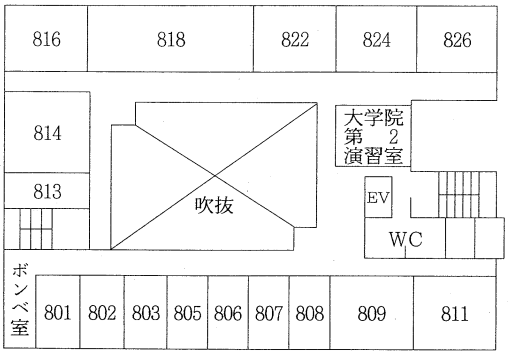
6F



7F



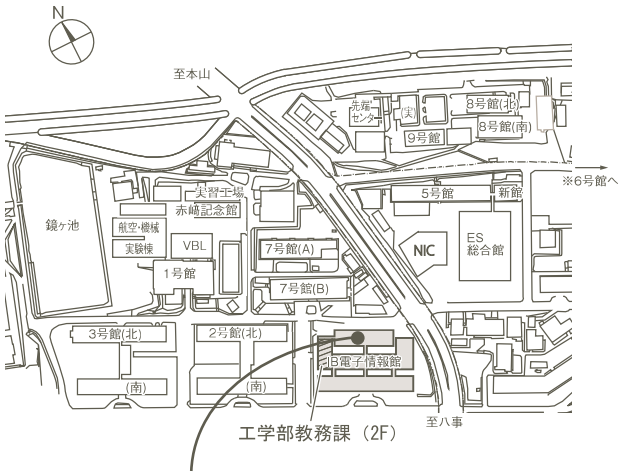
8F

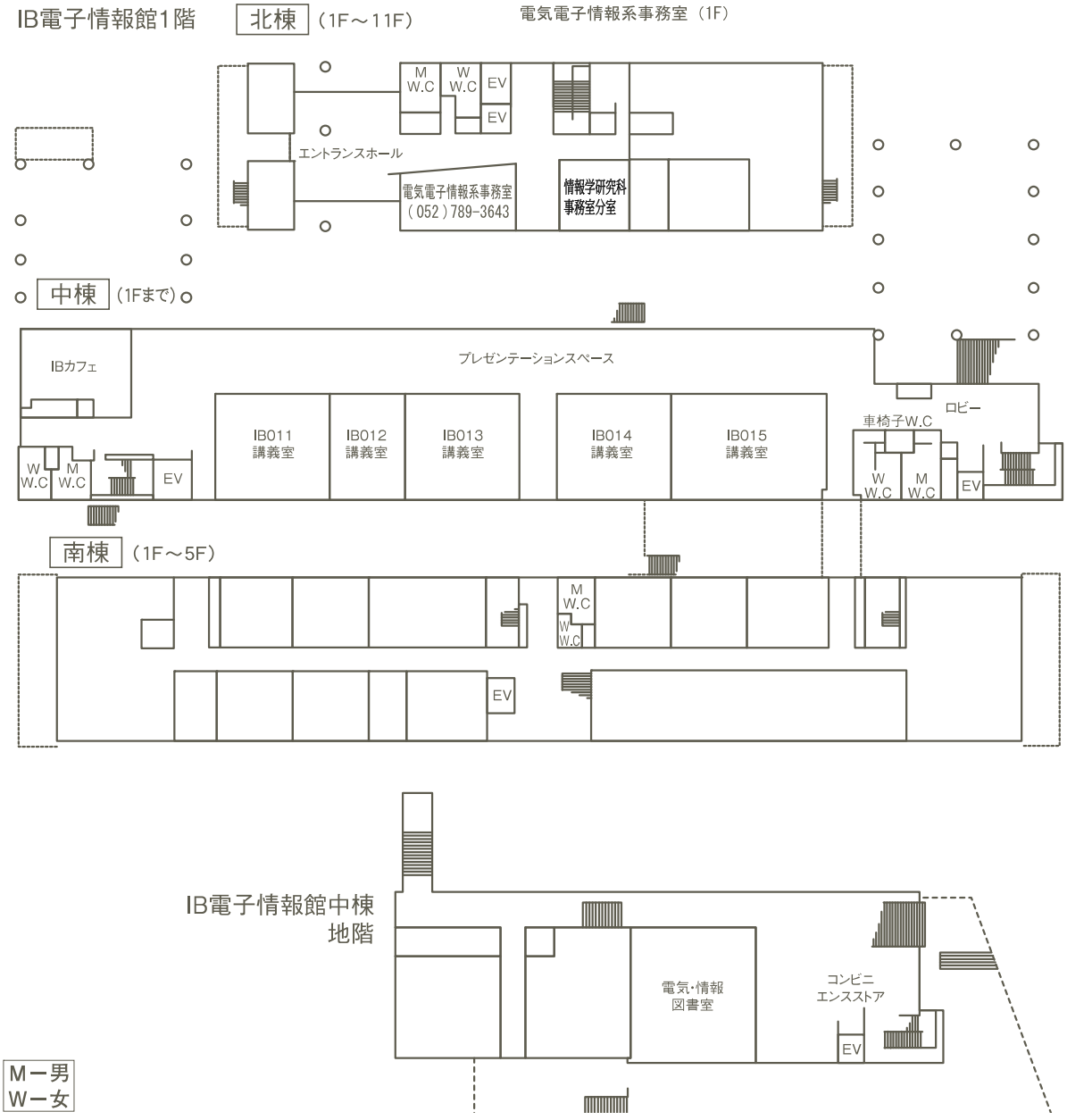


＜全学教育棟本館（情報学部）＞



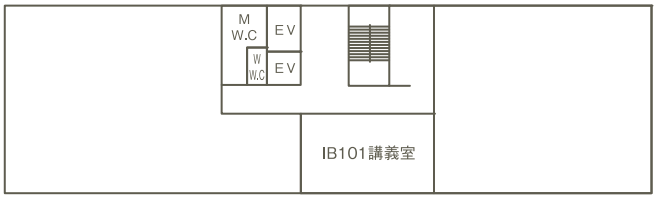
IB 電子情報館教室等配置図



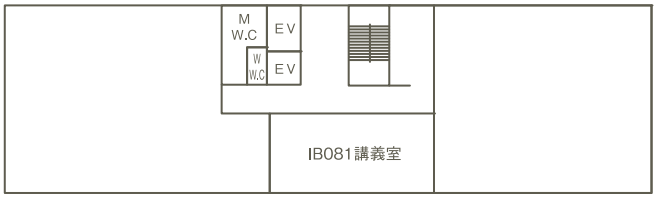


M－男
W－女

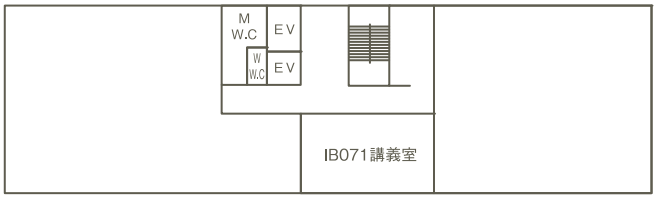
IB電子情報館北棟 10階



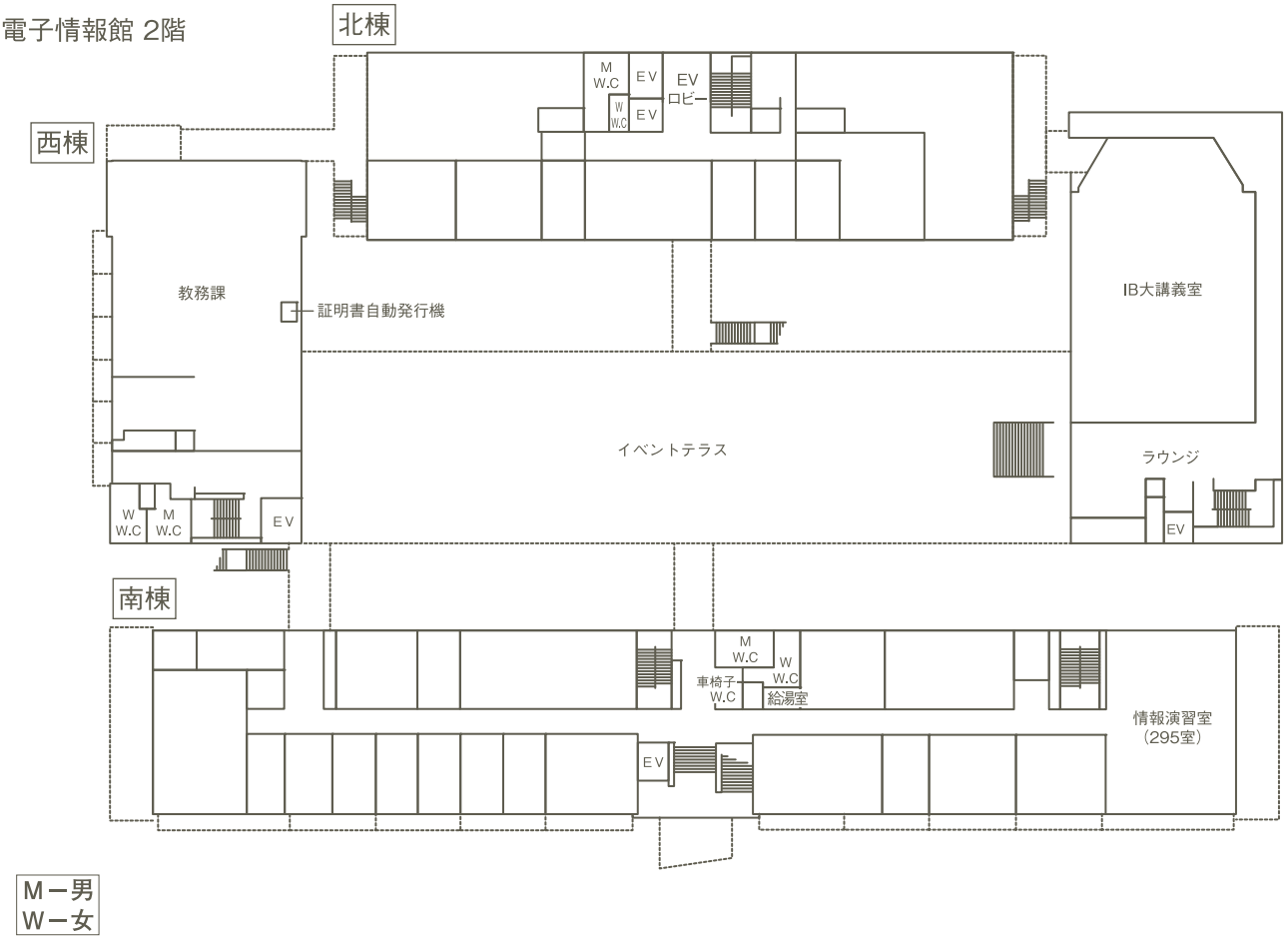
IB電子情報館北棟 8階



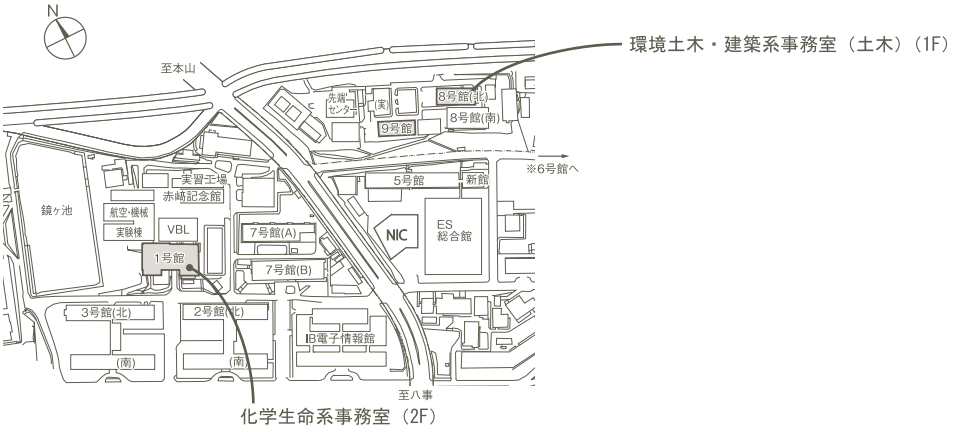
IB電子情報館北棟 7階



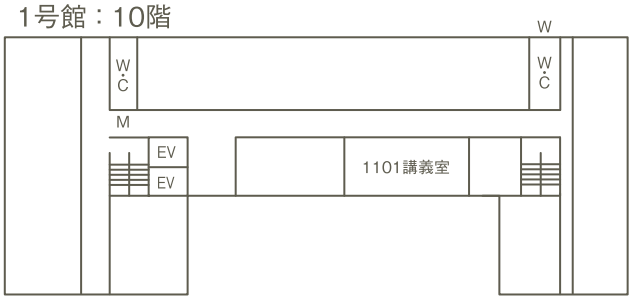
IB電子情報館 2階



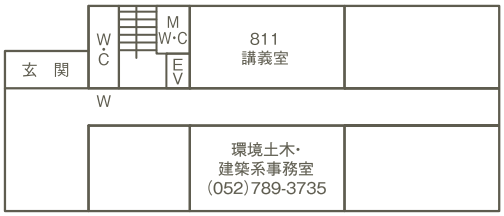
工学研究科１，８，９号館教室等配置図



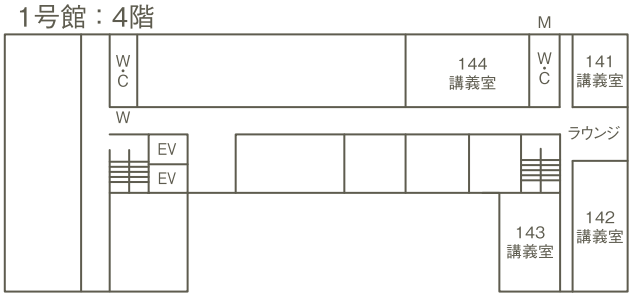
1号館：10階



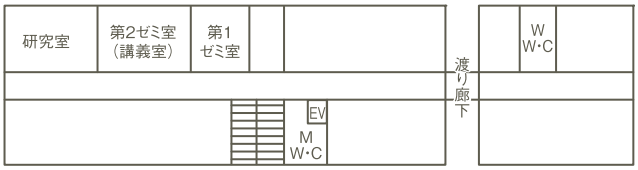
8号館(北棟)：1階



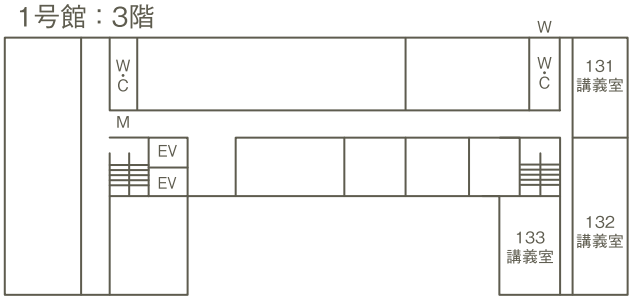
1号館：4階



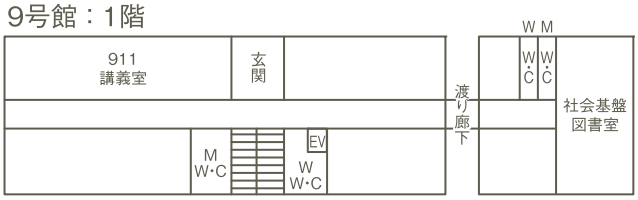
9号館：2階



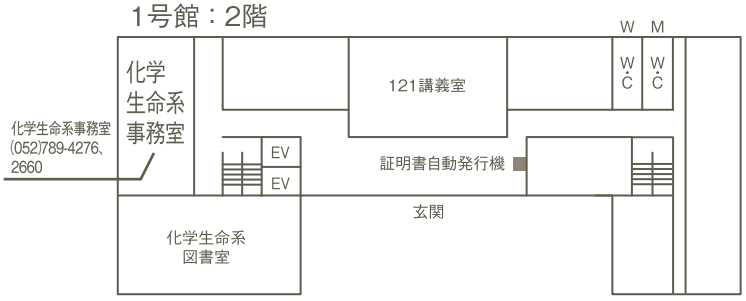
1号館：3階



9号館：1階

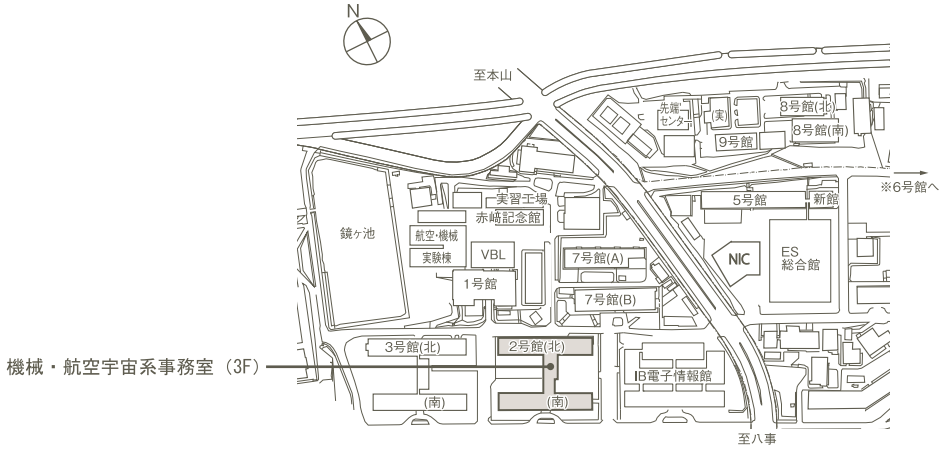


1号館：2階

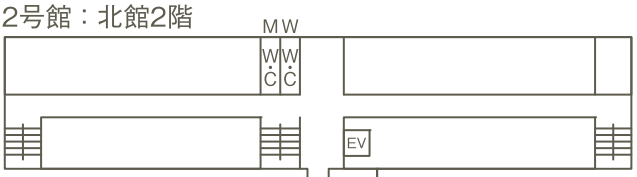


M－男
W－女

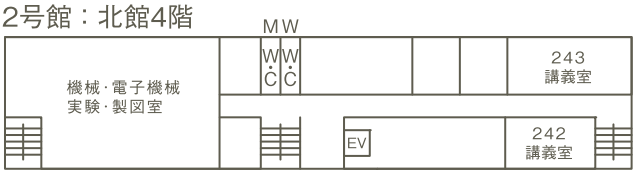
工学研究科２号館教室等配置図

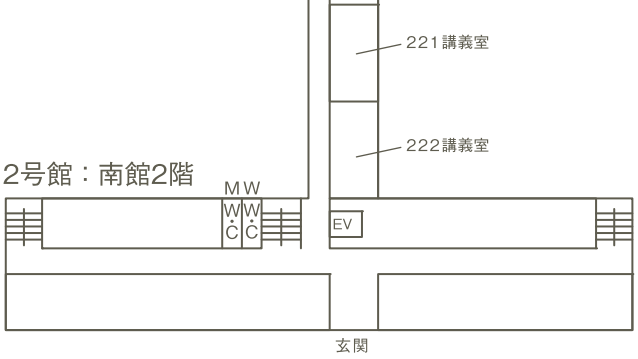


2号館：北館2階



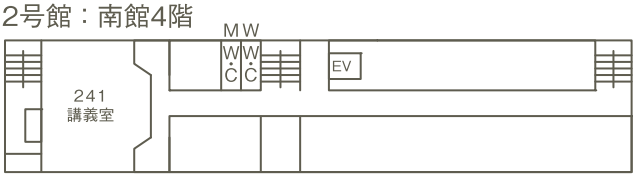
2号館：北館4階



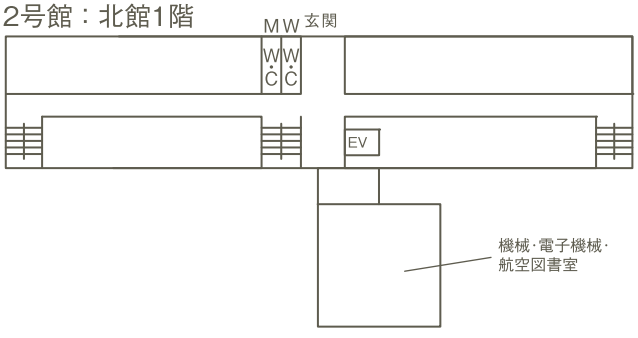


2号館：南館2階

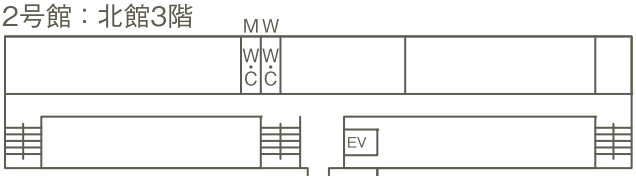
2号館：南館4階

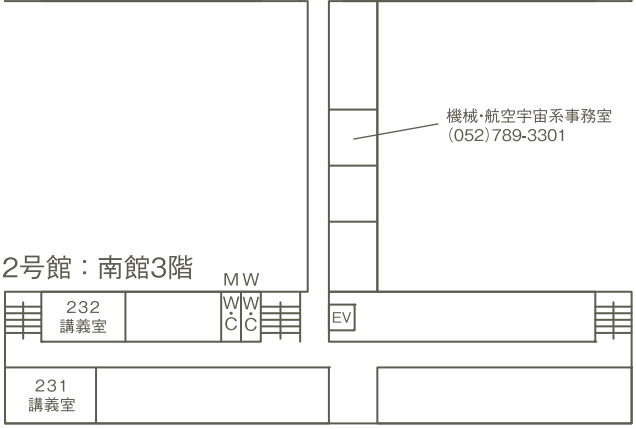


2号館：北館1階



2号館：北館3階

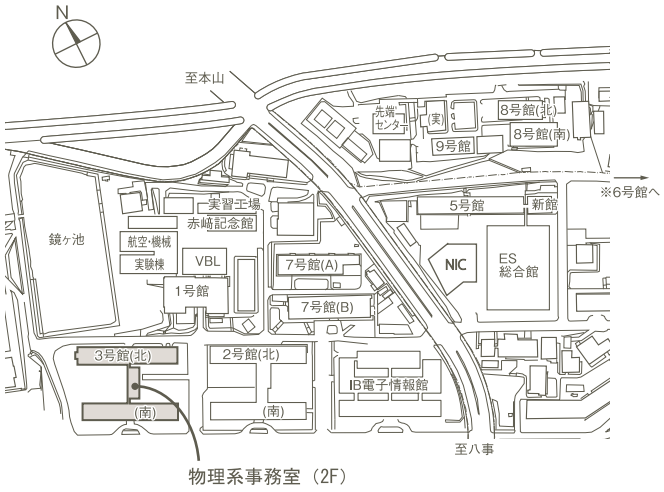




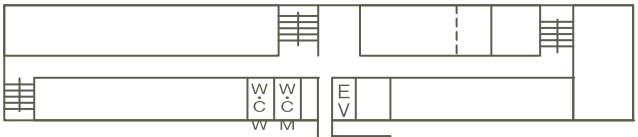
2号館：南館3階

Ｍ－男
Ｗ－女

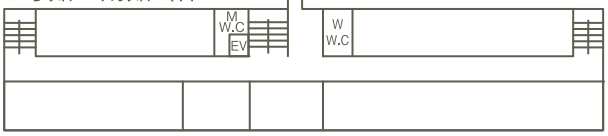
工学研究科３号館教室等配置図



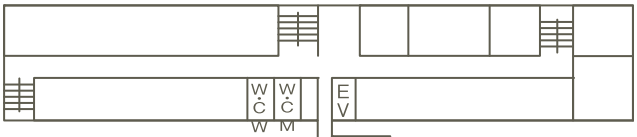
3号館：北館3階



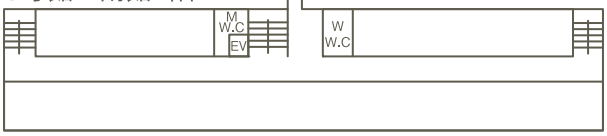
3号館：南館3階



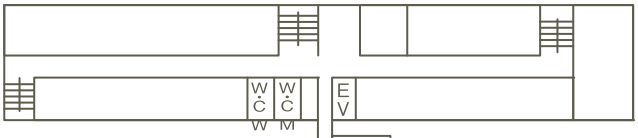
3号館：北館4階



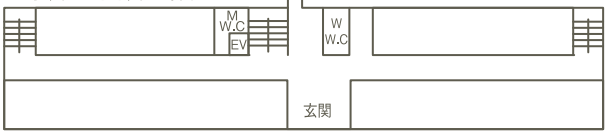
3号館：南館4階



3号館：北館2階

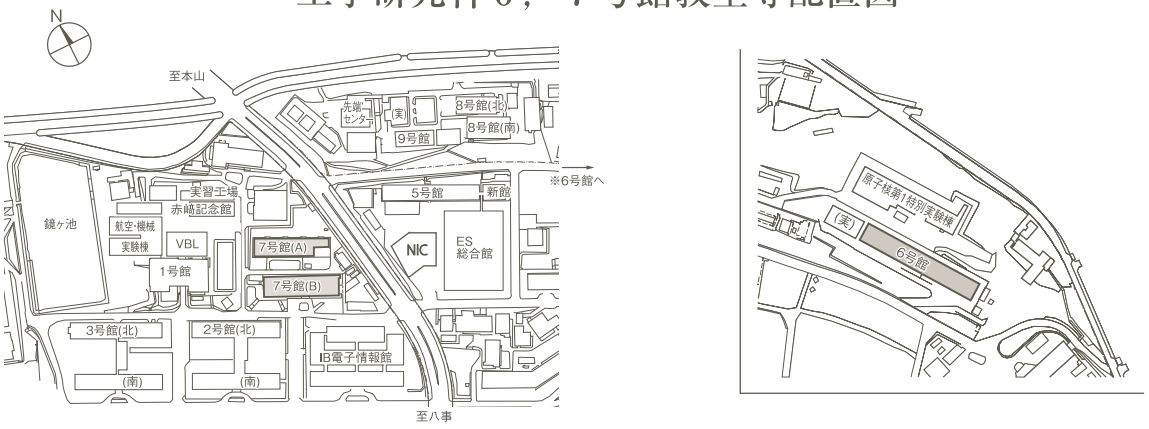


3号館：南館2階

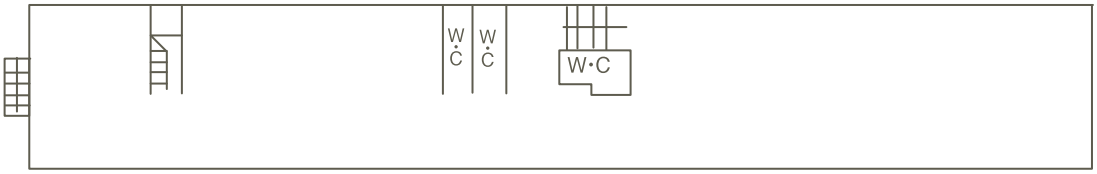


Ｍ－男
Ｗ－女

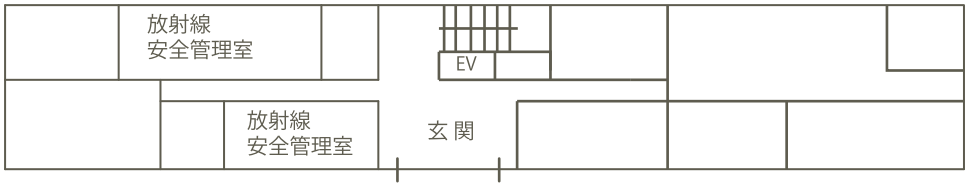
工学研究科６，７号館教室等配置図



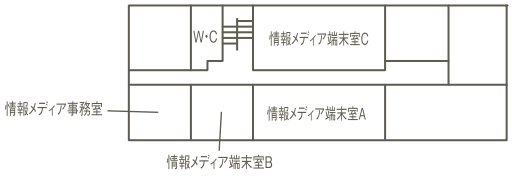
6号館：1階



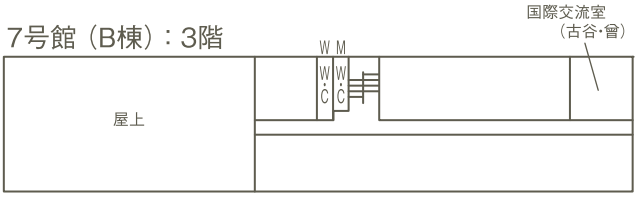
6号館：地階



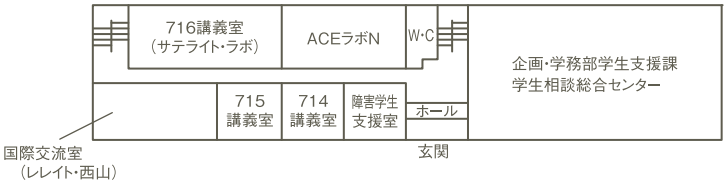
7号館（B棟）：4階



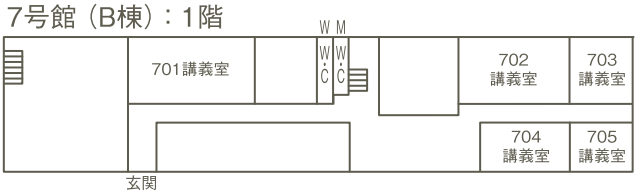
7号館（B棟）：3階



7号館（B棟）：2階

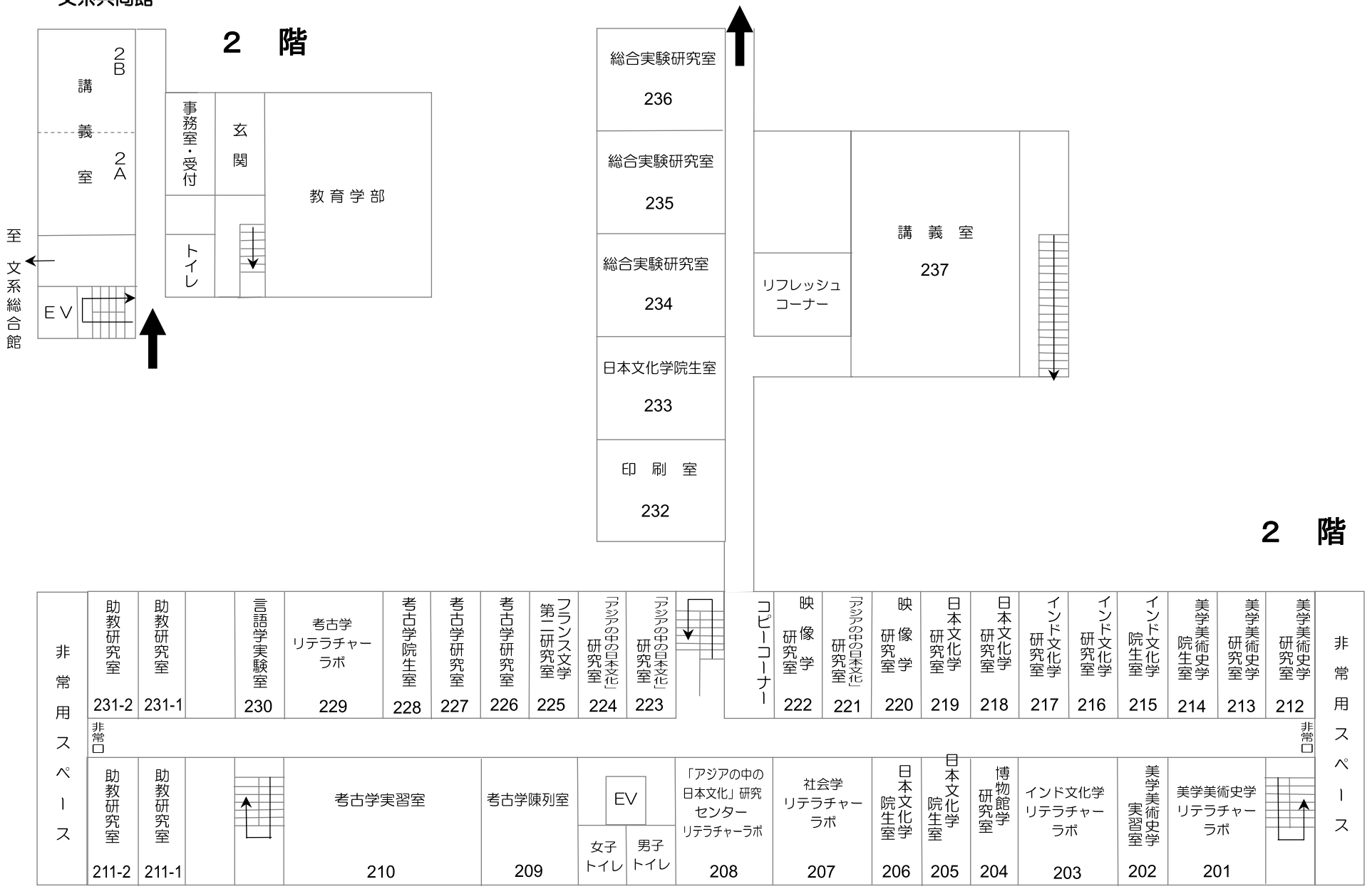


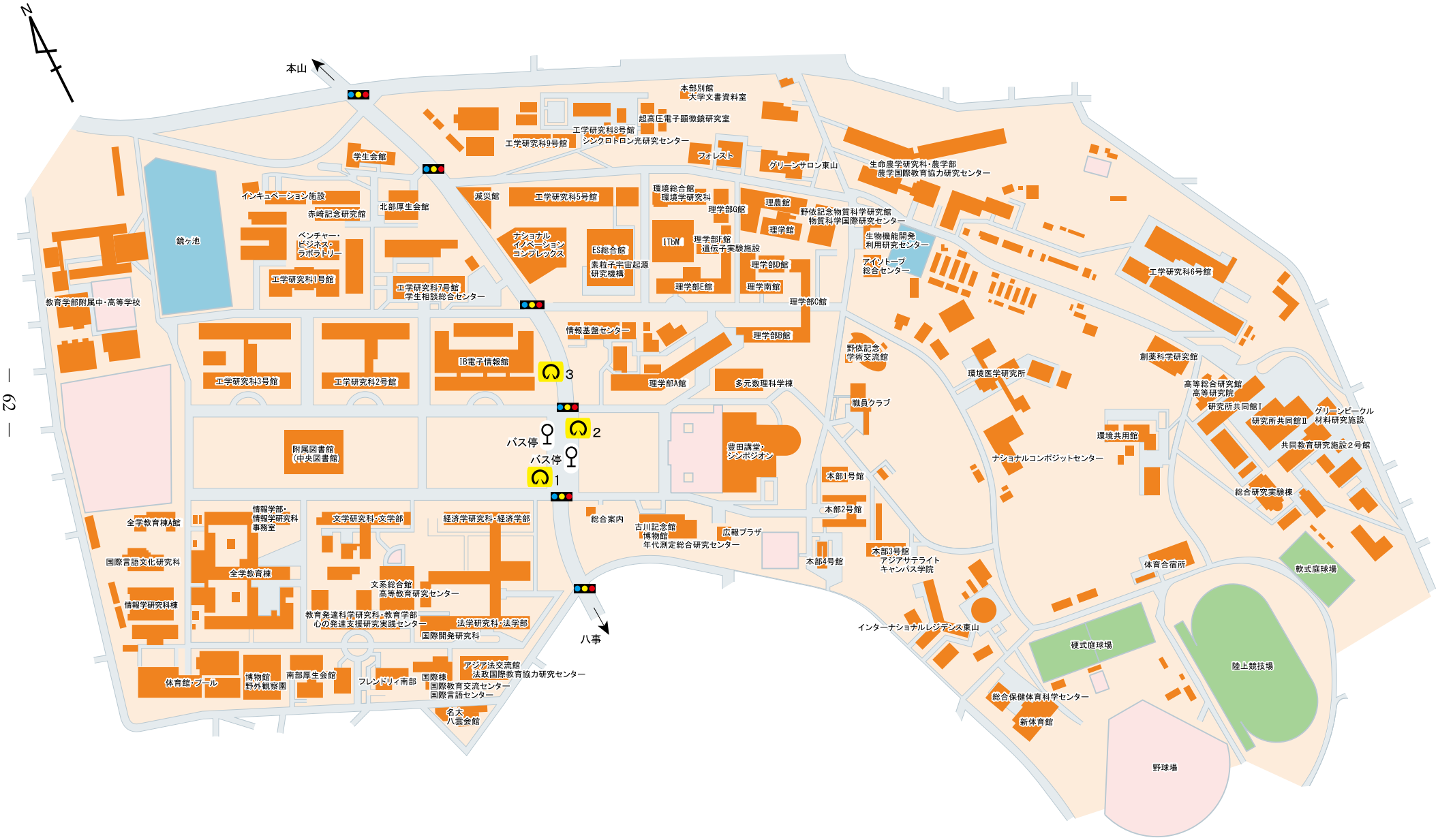
7号館（B棟）：1階



M－男
W－女

文学部本館　平面図


文系共同館
2　階
2B
講義室
2A
事務室・受付
玄関
教育学部
トイレ
至 文系総合館
EV
総合実験研究室 236
総合実験研究室 235
総合実験研究室 234
日本文化学院生室 233
印刷室 232
リフレッシュコーナー
講義室 237
2　階
非常用スペース
助教研究室 231-2
助教研究室 231-1
言語学実験室 230
考古学リテラチャーラボ 229
考古学院生室 228
考古学研究室 227
考古学研究室 226
フランス文学第二研究室 225
「アジアの中の日本文化」研究室 224
「アジアの中の日本文化」研究室 223
コピーコーナー
映像学研究室 222
「アジアの中の日本文化」研究室 221
映像学研究室 220
日本文化学研究室 219
日本文化学研究室 218
インド文化学研究室 217
インド文化学研究室 216
インド文化学院生室 215
美学美術史学院生室 214
美学美術史学研究室 213
美学美術史学研究室 212
非常用スペース
非常口
非常口
助教研究室 211-2
助教研究室 211-1
考古学実習室 210
考古学陳列室 209
EV
女子トイレ
男子トイレ
「アジアの中の日本文化」研究センターリテラチャーラボ 208
社会学リテラチャーラボ 207
日本文化学院生室 206
日本文化学院生室 205
博物館学研究室 204
インド文化学リテラチャーラボ 203
美学美術史学実習室 202
美学美術史学リテラチャーラボ 201


N
本山
八事
本部別館
大学文書資料室
超高圧電子顕微鏡研究室
工学研究科8号館
シンクロトロン光研究センター
工学研究科9号館
学生会館
フォレスト
グリーンサロン東山
生命農学研究科・農学部
農学国際教育協力研究センター
インキュベーション施設
赤崎記念研究館
北部厚生会館
減災館
工学研究科5号館
環境総合館
環境学研究科
理学部G館
理農館
理学館
野依記念物質科学研究館
物質科学国際研究センター
鏡ヶ池
ベンチャー・
ビジネス・
ラボラトリー
ナショナル
イノベーション
コンプレックス
ES総合館
素粒子宇宙起源
研究機構
ITbM
理学部F館
遺伝子実験施設
生物機能開発
利用研究センター
アイソトープ
総合センター
理学部D館
理学南館
理学部E館
工学研究科6号館
工学研究科1号館
工学研究科7号館
学生相談総合センター
教育学部附属中・高等学校
理学部C館
情報基盤センター
理学部B館
野依記念
学術交流館
創薬科学研究館
環境医学研究所
IB電子情報館
3
工学研究科3号館
工学研究科2号館
理学部A館
多元数理科学棟
高等総合研究館
高等研究院
職員クラブ
研究所共同館Ⅰ
グリーンビークル
材料研究施設
研究所共同館Ⅱ
2
バス停
バス停
附属図書館
(中央図書館)
豊田講堂・
シンポジオン
環境共用館
共同教育研究施設２号館
ナショナルコンポジットセンター
本部1号館
1
総合研究実験棟
本部2号館
情報学部・
情報学研究科
事務室
文学研究科・文学部
経済学研究科・経済学部
総合案内
古川記念館
博物館
年代測定総合研究センター
広報プラザ
全学教育棟A館
国際言語文化研究科
全学教育棟
本部4号館
本部3号館
アジアサテライト
キャンパス学院
体育合宿所
軟式庭球場
情報学研究科棟
文系総合館
高等教育研究センター
教育発達科学研究科・教育学部
心の発達支援研究実践センター
法学研究科・法学部
国際開発研究科
インターナショナルレジデンス東山
硬式庭球場
陸上競技場
体育館・プール
博物館
野外観察園
南部厚生会館
フレンドリィ南部
国際棟
国際教育交流センター
国際言語センター
アジア法交流館
法政国際教育協力研究センター
総合保健体育科学センター
新体育館
名大
八雲会館
野球場